



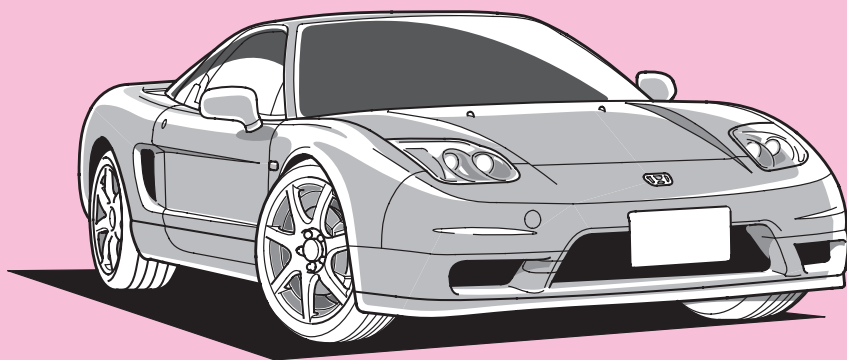
取扱説明書

ご使用前に
よくお読みください。

NSX

このたびはHonda車をお買い上げいただき、 ありがとうございます。

この本は **NSX** の取り扱いについて
必要事項を説明しています。
安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、
ご使用前に必ずお読みください。



<ul style="list-style-type: none">● 運転はルールを守り、マナーよく。・ シートベルトを着用しましょう。・ 法定速度を守りましょう。・ 子供やお年寄りをいたわりましょう。・ 駐停車は、ルールに従いましょう。・ 迷惑運転はやめましょう。・ 自然環境保護に気をくばりましょう。	<ul style="list-style-type: none">● 取扱説明書はメンテナンスノートと共に、いつもお車に保管してください。
<ul style="list-style-type: none">● 保証や点検整備に関することはメンテナンスノートに記載しておりますので、ご使用前に必ずお読みください。	<ul style="list-style-type: none">● お車をゆずられるときは、つぎに所有されるかたのためにこの取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。● ご不明な点は、担当セールスマンにおたずねください。

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

本書の読みかた

この本はドライバーの動作に沿って各部の取り扱いを説明しています。
また、装備、万一のときの応急処置、お車の手入れなど、必要な情報を説明しています。

「安全ドライブのための必読6ポイント」

重要ですので、しっかりお読みください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

お車のために守っていただきたいこと
(車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、異常事態の処置方法を記載しています)

知識

知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

タイトル

階層ごとにデザインを変えています

ヘッダー

ページの内容を示しています

ページ

インデックス
(→4ページ)

7.車との上手なつきあい方

積雪・寒冷時の取り扱い



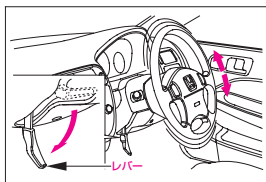
ハンドル・バックミラーの調節

チルトステアリング

ハンドルの高さを適切な位置に変えることができます。



レバーを押し下げ、ハンドルの高さを適切な位置にして、レバーを元の位置まで確実に引き上げて固定します。



△注意

●走行中に調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、ハンドルに上下方向の力を加え固定されていることを確認してください。

ルームミラー

知識

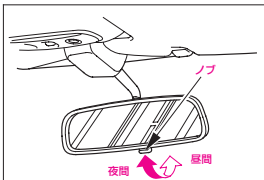
●走行中はミラーの調節を行わないでください。

●防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。



ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置に行ってください。

●長期間使わないで 屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

△注意

●格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、ラジエーターのまわりに段ボールや新聞紙はさみ込んだりしないでください。そのまま走行すると、火災のおそれがあります。

193

44

説明文

装置／機構について

解説



操作方法

安全に関する表示

に分けて記載しています。

※このページはサンプルページですので、記載されている内容と実車は異なります。

本書の上手な使いかた

知りたい項目の説明がすぐ探せるように、いろいろな引きかたが用意されています。



タイトルから探すとき



目次(P.5)

ページインデックス:

目次に対応しているので、目的のページが辞書を引くように探せます。



スイッチ類などの名称が
わからないとき



ビジュアル目次
(P.6~10)



名称から探すとき



さくいん
(P.262~271)

目次

◆安全ドライブのための必読 6 ポイント

1. お出かまえに 12 2. お子さまに思いやりを 14
3. 正しい知識で最適運転 18 4. オートマチック車の注意ポイント 20
5. 駐車や停車はしっかりと 24 6. こんなことにも注意をしよう 26

11

1. 車を運転する前に

- ・各部の開閉 32 ・シートの調節 56
・ハンドル・バックミラーの調節 60 ・シートベルト 64

31



2. 車を運転するときに

- ・メーター 70 ・表示灯 74 ・警告灯 78
・スイッチの使いかた 86 ・運転のしかた 96

69



3. 安全装備

- ・SRSエアバッグシステム 124 ・シートベルトプリテンショナー 132
・アンチロックブレーキシステム(ABS) 134 ・トラクションコントロールシステム(TCS) 136
・その他の安全装備 138

123



4. ドライブを快適にする装備

- ・エアコン 140 ・オーディオ 150 ・セキュリティシステム 172
・室内装備品 176

139



5. 万 one のとき

- ・工具・スペアタイヤ・発炎筒 184 ・故障したとき 186 ・事故が起きたとき 188
・けん引 190 ・パンクしたとき 194 ・オーバーヒートしたとき 206
・電気系統が異常のとき 208

183



6. 車の手入れ

- ・点検・整備について 226 ・日常の手入れ 228 ・車にあった部品の使用 236

225



7. 車との上手なつきあいかた

- ・積雪・寒冷時の取り扱い 238 ・こんなときは 248
・環境にやさしい省エネドライブをするために 252

237



・サービスデータ

256

・さくいん

262

・こんなことでお困りのとき

巻末

ビジュアル目次

ライトスイッチ 88

イルミネーションコントロールツマミ 94

メーター 70

表示灯 74

警告灯 78

シフトスイッチ オートマチック車 104

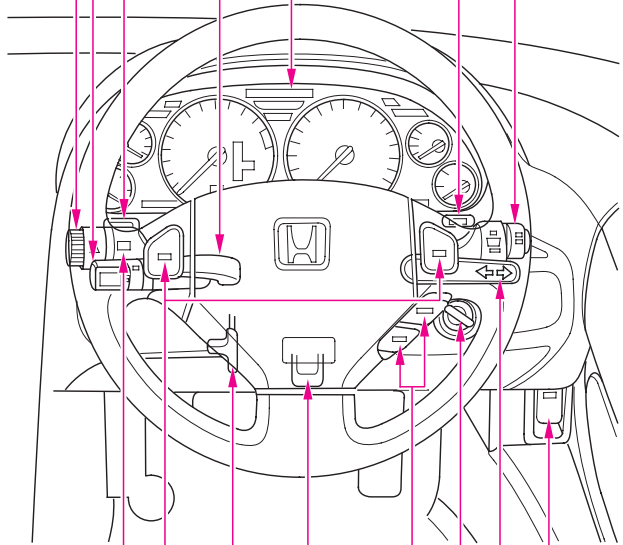
トラクションコントロールシステム(TCS)

スイッチ タイプ別注文装備 136

ワイパー/ウォッシャースイッチ 90

非常点滅表示灯(ハザード)

スイッチ 89



リヤデフロスター

スイッチ 93

ホーンスイッチ 94

テレスコピックステアリングレバー 60

チルトステアリングレバー 60

クルーズコントロールスイッチ タイプ別注文装備 118

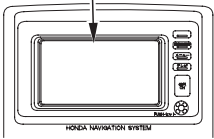
エンジンスイッチ 86

方向指示器スイッチ 89

ボンネット解錠ノブ 38

ナビゲーションシステム装備車

ナビゲーションシステム※



SRSエアバッグシステム(助手席用) **タイプ別注文装備 124**

オーディオ **150**

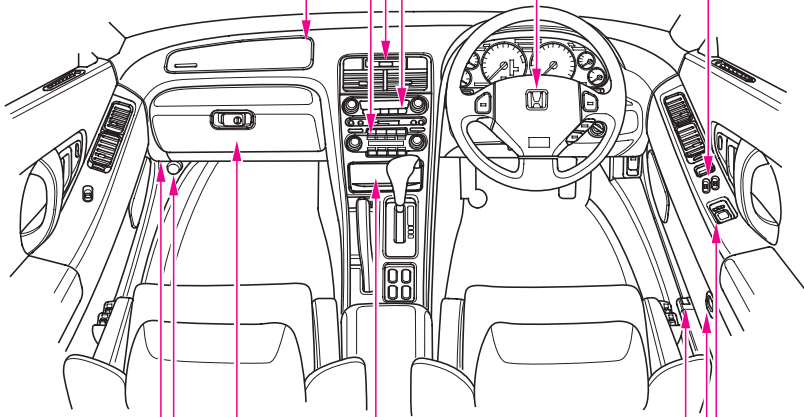
時計 **ナビゲーションシステム非装備車 176**

エアコン **140**

SRSエアバッグシステム(運転席用)

タイプ別注文装備 124

パワーウィンドースイッチ **46**



ドアミラー調節

スイッチ **62**

電動トランクオープナー **40**

フューエルリッドオープナー **45**

シガレットライター **179**

灰皿 **178**

グローブボックス **181**

発炎筒 **185**

ヒューズボックス **213**

※：ナビゲーションシステム装備車については、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をご覧ください。

ビジュアル目次

室内灯 **type T** 177

シートベルト 64

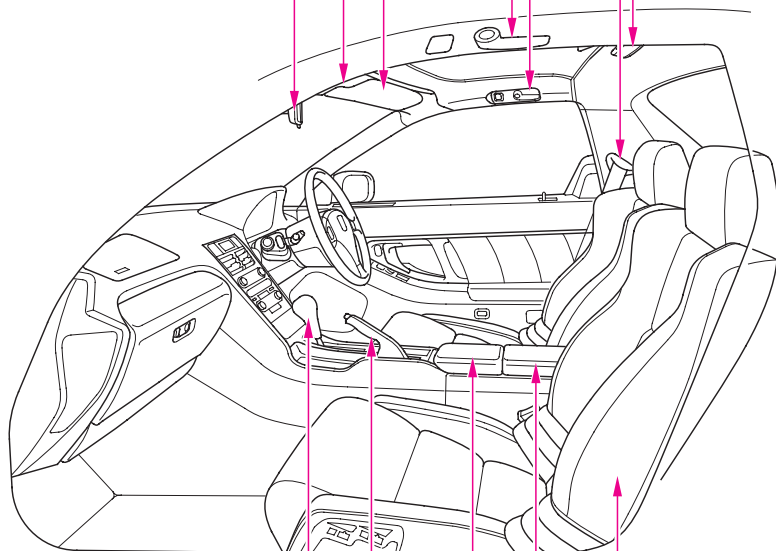
ルーフサイドロック **type T** 48

サンバイザー 180

室内灯/スポットランプ

タイプ別装備 177

ルームミラー 61



セレクトレバー

オートマチック車 102

チェンジレバー

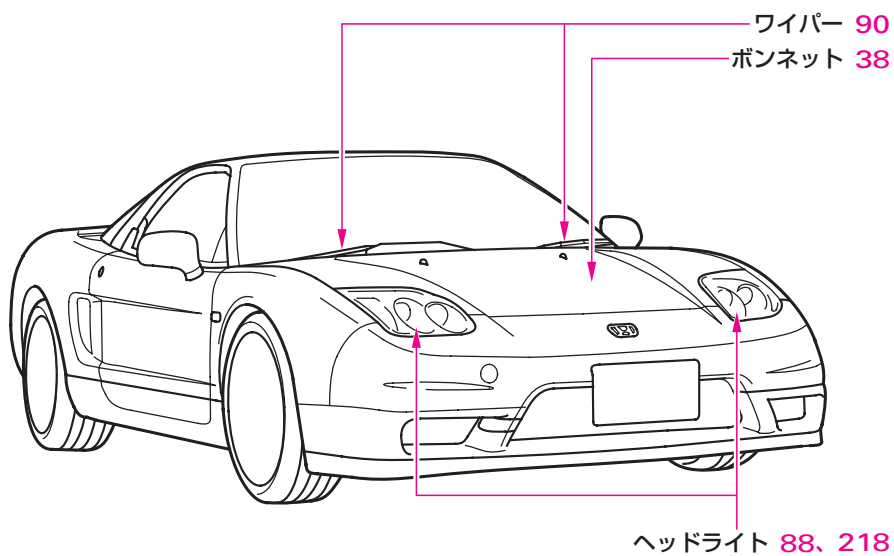
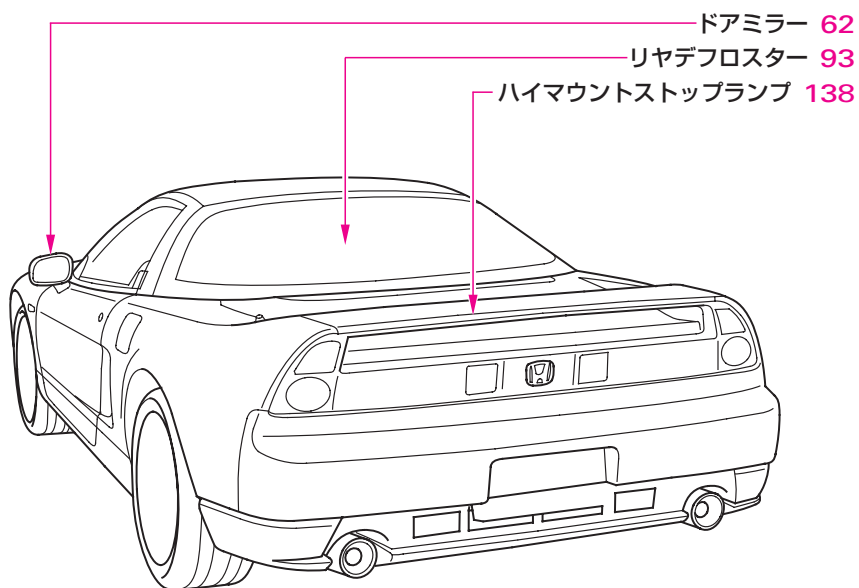
マニュアル車 100

パーキングブレーキ 99

コインホルダー **タイプ別装備** 181

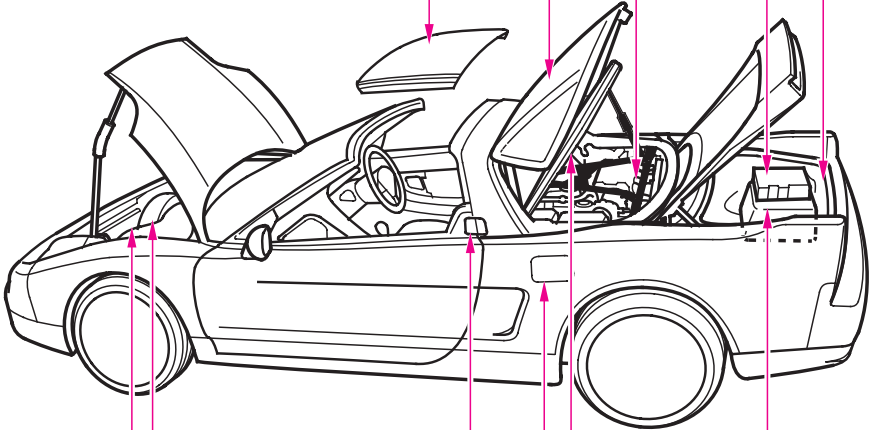
カップホルダー **タイプ別装備** 182

シート 56



ビジュアル目次

トランク	40
CDチェンジャー	167
エンジンルーム	42
リヤガラス	42
脱着式ルーフ <small>type T</small>	48



フロント コンパート メント	38
スペアタイヤ	196
ドアの施錠・解錠	36
燃料補給口	44
ルーフホルダー <small>type T</small>	48
エンジンカバー <small>タイプ別装備</small>	42
ナビゲーションシステム本体*	

※：ナビゲーションシステム装備車については、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をご覧ください。

安全ドライブのための 必読6ポイント

ご使用の前に知っておいていただきたいこと、
守っていただきたいことをまとめてあります。



- お出かけまえに…………… 12
- お子さまに思いやりを…………… 14
- 正しい知識で最適運転…………… 18
- オートマチック車の注意ポイント… 20
- 駐車や停車はしっかりと…………… 24
- こんなことにも注意をしよう…………… 26

安全ドライブのための必読6ポイント

1 お出かけまえに…

点検をわすれずに。

<メンテナンスノート参照>

- 道路運送車両法により、法定定期点検と日常点検が義務づけられています。

安全・快適にお使いいただくために、Hondaの点検要領に従って必ず点検してください。

日常点検は車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

- 普段と違う点に気づいたら、ホンダベルノ店で点検を受けてください。(音、におい、ブレーキ液の不足、地面に油のあとが残っている時…)
- 走行中も車の状態に気を配り、いつもと違う音やにおい、運転感覚などを感じたら早めに点検しましょう。

シートベルトを正しく着用。

<64ページ参照>

- 運転する人はもちろん、同乗する人にも必ず着用させてください。
- シートに深く腰かけてください。
- 腰骨のできるだけ低い位置に着用してください。



- ベルトにねじれがないか確かめてください。

CHECK



- ベルトがくび、あご、顔などに当たらないようにしてください。



- 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。



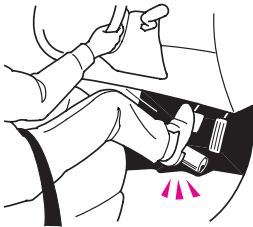
燃料の入った容器やスプレー缶などはのせないで。

引火、爆発のおそれがあります。



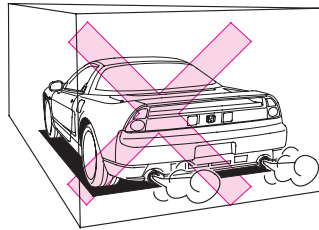
運転のさまたげになるものには注意を。

- 運転者の足もとに、物を置かないでください。
- フロアマットが、ペダルに引っかからないように注意してください。ブレーキやアクセルのペダル操作が、確実にできないおそれがあります。



排気ガスには十分に気をつけて。

- 排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが充満し一酸化炭素中毒のおそれがあります。



- 排気管に穴や亀裂があったり、排気音の異常に気づいたらホンダベルノ店で点検を受けてください。
車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

お子さまに思いやりを

お子さまは後席のある車に。
＜この車にお子さまを乗せることはおすすめしません＞

- 不意の動作が気になったり、スイッチ・レバー類のいたずらなど運転のさまたげになるおそれがあります。また、事故が起きた場合、後席のほうが安全といわれています。
- SRSエアバッグシステム装備車では、インストルメントパネルに手をついたり、顔や胸を近づけた状態での乗車は、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあり危険です。

やむをえずお子さまを乗せるときは。

●SRSエアバッグシステム装備車は、インストルメントパネルに顔や胸などが近づかないようにシートを後ろに下げてください。また、インストルメントパネルに手や足などを置かないでください。

●お子さまにも必ずシートベルトを着用させるか、チャイルドシート*をお使いください。

お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず危険です。

※：乳児用シート、幼児用シート、学童用シートをまとめた総称として「チャイルドシート」と呼んでいます。

●お子さまのくびやあごにシートベルトがあたる場合や腰骨にかからない場合は、幼児用シートや学童用シートを使用してください。

・シートベルトをそのまま使うと衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。

・チャイルドシートは安全装備です。国土交通大臣が型式を指定または認定したマークが付いているもの、もしくはアメリカやヨーロッパなどの安全基準に合格しているものを必ず選んでください。

・車両のタイプによって幼児用シートが取り付けられない場合があります。

・チャイルドシートの形状などによっては、正しく取り付けできないものがあります。この車に合ったチャイルドシートを使用してください。

・ご購入、ご使用に際してはホンダベルノ店にご相談ください。

安全ドライブのための必読6ポイント

- チャイルドシートは確実に取り付けてください。

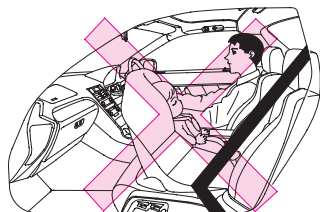
お子さまを乗せるときは、チャイルドシートが車に確実に取り付けられていることを確認してください。

また、お子さまの体をチャイルドシートにきちんと固定してください。シートベルトの種類やチャイルドシートの種類によっては、固定金具(ロッキングクリップ)が必要になることがあります。

シートベルトの種類 →66ページ
詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

- SRSエアバッグシステム装備車には乳児用シートを取り付けしないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けしないでください。

- ・SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け危険です。
- ・幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。



- シートベルトが正しく着用できないようなお子さまと一緒にいるときは、乳児用シートや幼児用シート(後ろ向き装着)を取り付けられる別の車をお使いください。

- チャイルドシートを取り外したまま車内に放置しないでください。

ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

お子さまを乗せないときでも確実に取り付けるか、家などに保管してください。

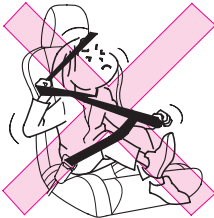
ドア、ウィンドー、シートの操作は必ず大人が。

- 手、足、くびなどをはさまないように、気をつけてください。
- パワーウィンドーのメインスイッチは、“OFF”にしておきましょう。
<46ページ参照>
- 走行中、一時停止のときなど、手や頭、物などを出さないよう、注意してください。

思わぬ障害物で事故のおそれがあります。

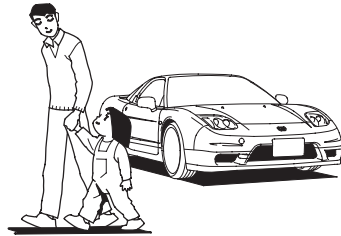
お子さまをシートベルトで遊ばせないで。

- チャイルドシート固定機構付きシートベルトでは、ベルトをすべて引き出すと完全にベルトを戻すまでは引き出し方向には動きません。ベルトを身体に巻きつけたりして遊んでいると、固定機構が作動してベルトがゆるまなくなり、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。万ーベルトをゆるめることができなくなった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。



車から離れるときは、お子さまも一緒に連れて。

- お子さまだけを車内に残さないでください。
 - ・炎天下の車内は、高温になり危険です。
 - ・お子さまのいたずらにより車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。



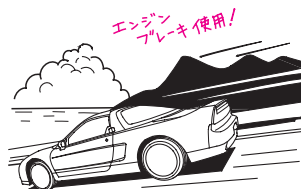
正しい知識で最適運転

- 走行中ハンドルの中に手を入れて、スイッチを操作しないでください。ハンドル操作のさまたげになり大変危険です。
- 走行中はエンジンを止めないでください。
 - ・ ブレーキ倍力装置が作用しないため、ブレーキのききが悪くなります。
 - ・ パワーステアリング装備車は、パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなり、ハンドル操作が重くなります。
 - ・ マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にすると、キーが抜けることがあり、ハンドルがロックされ危険です。



長い下り坂ではエンジンブレーキを。

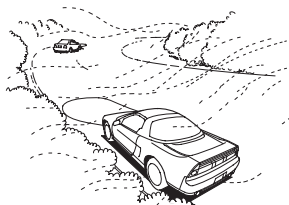
- ブレーキペダルを踏み続けて走行するとブレーキが過熱して、ききが悪くなる場合があります。
- 長い下り坂では、走行速度に合わせ、ギヤを一段ずつ落として、エンジンブレーキを併用してください。オートマチック車はⅡまたはⅢを使ってください。特に強いエンジンブレーキが必要なときは、Ⅰを使ってください。



エンジンブレーキ：
走行中アクセルペダルを戻したときにかかるブレーキ力のことで、低速ギヤほどよくききます。

霧が出たときは。

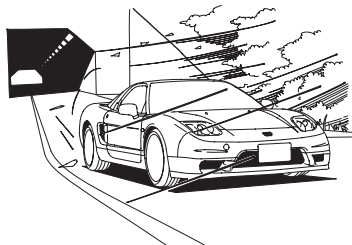
- 霧が出たときは、視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレールや前の車の尾灯などをめやすにして、速度を落として運転してください。



横風の強い日は。

- 横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に下げて進路を立て直してください。

トンネルの出口、橋・土手の上、山を削った切り通し、大型トラックを追い越したり、追い越されたりするときなどには、特に横風の影響を受けやすいので十分注意してください。



雨天時の走行には注意を。

- 雨天時やぬれた道路では、路面が滑りやすくなっておりタイヤのグリップ力が低下するため、通常より注意深い運転が必要です。

急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、スピードを落として安全運転に心がけてください。

- わだちなどの水のたまりやすい場所では、ハイドロブレーニング現象を起こしやすくなります。

ハイドロブレーニング現象とは

→248ページ

- 冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。

エンジンの破損や電装品の故障および車両故障につながるおそれがあります。

水たまりに入ったあとはブレーキのきき具合を確認。

- 水たまり走行後や洗車後は、低速で走行しながらブレーキペダルを軽く踏んできき具合を確認してください。ぬれたブレーキはききが悪かったり、ぬれていない片側だけがきいてハンドルをとられることがあります。
- ブレーキのききが悪いときは、前後の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキのききが回復するまで、繰り返しブレーキペダルを踏んでください。

走行中異常があったら。

- 警告灯が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し処置をしてください。<78ページ参照>

点灯したまま走行を続けると、思わぬ事故のもとになったり、エンジンなどを損傷するおそれがあります。

- 走行中にタイヤがパンクやバースト(破裂)してもあわてずに、ハンドルをしっかり握り、徐々にブレーキをかけてスピードを落とし、安全な場所に停車してください。

急ブレーキや急ハンドルは車のコントロールを失うことがあり危険です。

- 床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに車を止めて、ブレーキ液や燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

ブレーキ液や燃料の漏れ、損傷などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。

オートマチック車の 注意ポイント

4

オートマチック車は、その特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。

「オートマチック車の運転のしかた」もあわせてお読みください。

<108ページ参照>

オートマチック車の特性を正しく理解。

クリープ現象とは

- エンジンがかかっているとき、セレクタレバーがP以外に入っていると、動力がつながった状態になり、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。これをクリープ現象といいます。

キックダウンとは

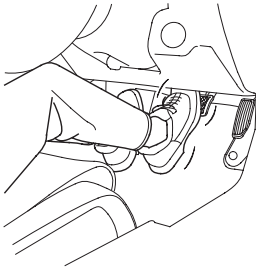
- Pで走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り換わり、エンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。これをキックダウンといいます。

1 ブレーキは右足で。

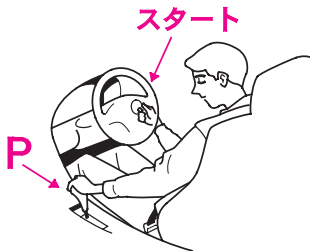
- ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけましょう。
不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。

2 エンジンをかけるまえに。

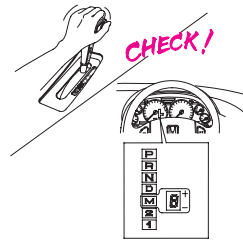
- ペダルの踏みまちがいのないよう、右足でペダルの位置を確認しておきましょう。

**3** エンジンをかけるとき。

- 安全のため、セレクトレバーは駆動輪が固定されるPでエンジンをかけましょう。

**4** スタートするとき。

- 思いちがいを防ぐため、セレクトレバーの位置を目で確認しましょう。



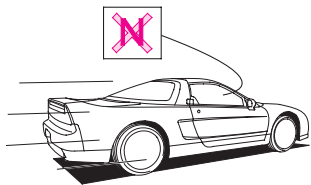
- 発進時のセレクトレバーの操作は、右足でブレーキペダルをしっかり踏み、車が動かないようにして行いましょう。
- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故のもとになります。
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでいてください。エアコン作動時も同じです。
- 坂道での発進は車が後退しないように必ずパーキングブレーキを併用し、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキをもどしてください。

安全ドライブのための必読6ポイント

5 走行しているとき。

- 走行中は、セレクトレバーをDにしな
いでください。

エンジンブレーキが全くきかず、思
わぬ事故のもとになります。



- 上り坂で、速度を保とうとしてアク
セルペダルを踏み込んだとき、キッ
クダウンにより、急にエンジン回転
が上がり、思ったより速度が出てし
まうことがあります。

アクセルペダルは、慎重に操作して
ください。

また、すべりやすい路面やカーブで
は、急激なアクセルペダル操作は避
けてください。

- 下り坂では、エンジンブレーキも使
いましょう。

フットブレーキを使いすぎると、ブ
レーキが過熱して、ブレーキのきき
が悪くなるおそれがあります。

エンジンブレーキ →18ページ

6 停車しているとき。

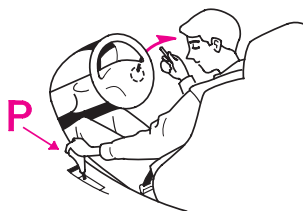
- 車が動かないようにブレーキペダル
をしっかりと踏み、必要に応じてパ
ーキングブレーキをかけましょう。

- 停車中の空ぶかしは、やめましょう。
万一、セレクトレバーがR以外
のとき、思わぬ急発進のもとになりま
す。

7 駐車するとき。

- 駐車するときは、パーキングブレー
キをかけてセレクトレバーをRに入
れ、エンジンを止めましょう。

万一、セレクトレバーがR以外に
入っていると、クリーブ現象で車が
動き出したり、乗り込むときに、誤
ってアクセルペダルを踏み込んで急
発進したりするおそれがあります。



ほかに気をつけたいこと。

- セレクトレバーは正しい位置で使用してください。

坂道などで、前進(回、回、回、回)の位置にしたまま惰性で後退したり、後退(回)の位置にしたまま前進したりすると、エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなり、思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

- 後退したあとは、すぐ回から回にもどす習慣をつけましょう。

ちょっと後退したときなど、回に入れたことを忘れてしまうことがあります。

- 前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。

車が完全に止まらないうちにレバーを操作すると、トランスミッション破損のおそれがあります。

- 車が完全に止まらないうちに、回に入れないでください。

急停止して危険であるばかりでなく、トランスミッション破損のもとになります。

シフトロック装置の正しい理解を。

- ブレーキペダルを踏んでいないと、回からのセレクトレバー操作はできません。

- ・エンジンスイッチが、“1”または“0”のときには、ブレーキペダルを踏んでも、レバーは操作できません。

- ・セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。

- 回以外では、エンジンスイッチからキーは抜けません。

- ・回以外では、キーが“1”から“0”に回りません。

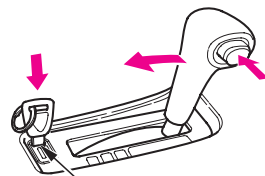
- 回に入るとブザーが鳴ります。

- ・セレクトレバーが回のとときにブザーが鳴り、回に入っていることを運転者に知らせます。

- ・車外の人には音が聞こえないので、ご注意ください。

- 万一、回からセレクトレバーが操作できないときは：

- ・エンジンスイッチからキーを抜き、
- ・キーをシフトロック解除穴に差し込み、
- ・キーを押しながら、セレクトレバーを操作します。



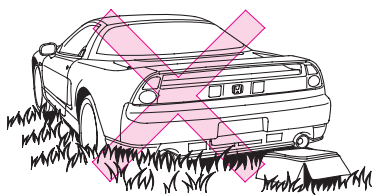
シフトロック解除穴

5 駐車や停車は しっかりと

可燃物には注意を。

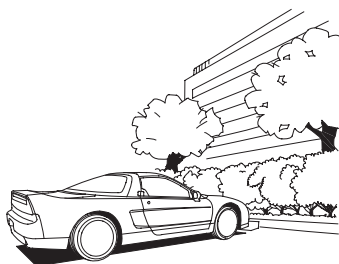
- 枯草や紙、油、木材など燃えやすいものがあるところには、駐停車しないでください。

排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。



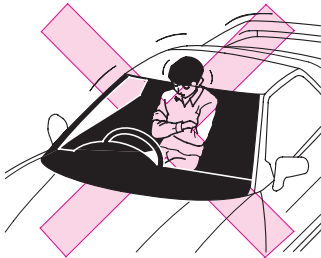
植込みなどにも注意して。

- 植込みなどの近くに駐停車するときには、排気ガスが当たらないように、車の向きを決めましょう。



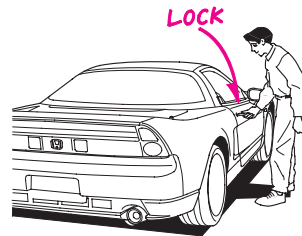
仮眠するときはエンジンを止める。

- エンジンを必ず止めてください。
無意識にチェンジレバーやセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあります。
また、無意識にアクセルペダルを踏み続けたりした場合、オーバーヒートなどを起こしたり、エンジンや排気管などの異常過熱による火災事故が発生するおそれがあります。
さらに風向や周囲の状況等によっては、車内に排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれもあります。



車から離れるときには施錠を。

- 必ずパーキングブレーキをかけ、エンジンを止め、ドアを施錠してください。
- 車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- お子さまも連れていきましょう。



車の移動はエンジンをかけて。

- 車を移動するときは、必ずエンジンをかけてください。
下り坂を利用しての移動などは、思わぬ事故を招くことがあります。

坂道での駐車は。

- パーキングブレーキをかけ、チェンジレバーまたはセレクトレバーを下表の位置に入れてください。

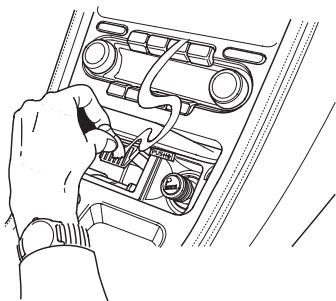
	マニュアル車	オートマチック車
上り坂	1	P
下り坂	R	
平地		

さらに、タイヤに輪止めをすると効果があります。

こんなことにも 注意をしよう

タバコの吸いからは火を消して。

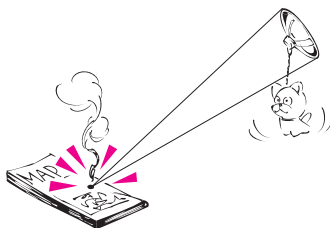
- タバコ、マッチなどは、確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
- 灰皿の中に吸いがらをため過ぎたり、燃えやすいものを入れたりしないでください。



アクセサリーの取り付けには注意を。

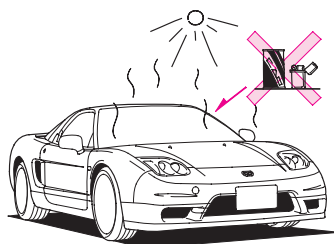
- ガラス面にアクセサリーなどを取り付けしないでください。

視界をさまたげたり、吸盤がレンズのはたらきをして火災を起こしたり、思わぬ事故のもとになります。



車内にライターや炭酸飲料缶などを放置しないで。

炎天下での駐車などで車内温度が上昇すると、ライターなどの可燃物は自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。



エキスパンションタンクキャップ(冷却水用)に気をつけて。

- エキスパンションタンクキャップが熱いときは、外さないでください。蒸気や熱湯が吹き出し危険です。



動物を乗せるときは、動きまわらないように注意して。

運転のさまたげになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあります。

携帯電話の使用は停車中に。

- 運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。

運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造はしない。

- Honda純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を、使用しないでください。
 - ・適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
 - ・Hondaが国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。
- タイヤ、ホイールともNSX専用品をご使用ください。

専用品以外のタイヤ、ホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすことがあります。ホンダベルノ店にご相談ください。
- 無線装置や自動車電話などの取り付けの際には、必ずホンダベルノ店にご相談ください。

装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。



安全ドライブのための必読6ポイント

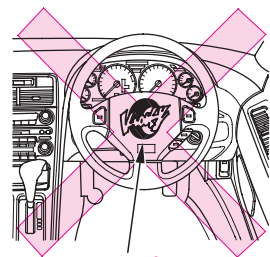
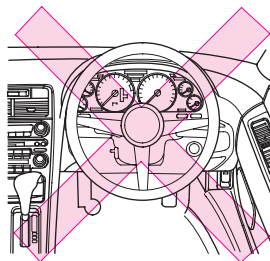
- SRSエアバッグシステム装備車は、ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりしないください。

インストルメントパネル上面には、ステッカー類を貼ったり、アクセサリや芳香剤など物を置かないください。

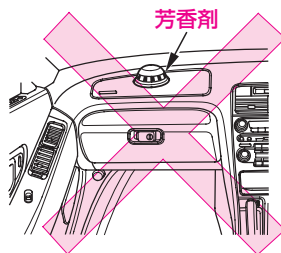
また、フロントガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。

- ・SRSエアバッグが正常に機能しなくなります。
- ・作動時にこれらの物が飛ぶことがあります危険です。
- ・次の場合は、必ず、ホンダベルノ店にご相談ください。

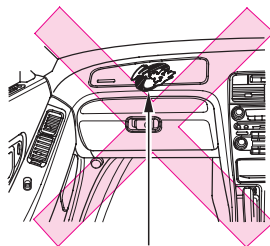
- ①ハンドルまわりの修理
- ②センターコンソール付近の修理
- ③カーステレオ等用品の取り付け
- ④ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
- ⑤インストルメントパネルまわりの修理



ステッカー



芳香剤

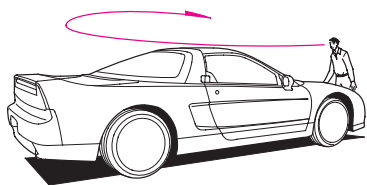


ステッカー

発進するときは、まわりの状況に十分注意して。

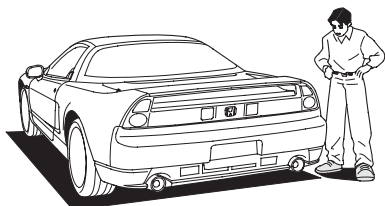
車の周りには運転席から見えないところ(死角)があります。発進するときは子供や障害物など車のまわりの状況に十分注意してください。

- 駐車後に発進するときは、車のまわりの安全確認を十分に行ってください。

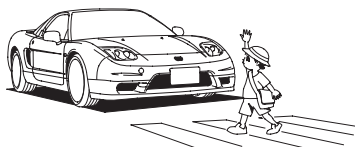


- 後退するときに十分な視界が得られない場合は、車から降りて後方を確認してください。

バックミラーでは確認しきれない死角(車の直後など)があります。



- 信号待ちなどの停車後に発進するときは、つねにまわりの状況に目を配り、安全確認を十分に行ってください。

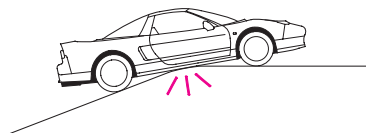
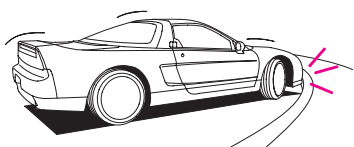
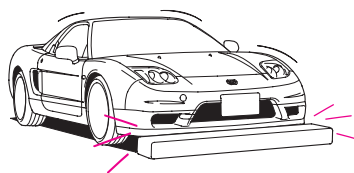


安全ドライブのための必読6ポイント

車止めなどに注意して。

●この車の特徴として、最低地上高が一般の車より低く設計され、タイヤも超扁平タイヤを装着しています。次のような場合には、フロントバンパー、マフラー・床下やアルミホイールを損傷するおそれがありますので、十分に注意してください。

- ・車止めのある場所への駐車
- ・路肩に沿っての駐車
- ・平坦路から上り坂・下り坂および上り坂・下り坂から平坦路への乗り入れ
- ・路肩等段差のある場所への乗り降り
- ・凹凸やわだちのある道路の走行
- ・くぼみ(穴)のある個所の通過





車を運転する前に

●各部の開閉

キー	32
ドアの施錠・解錠	36
ボンネット	38
トランク	40
エンジンルーム	42
燃料補給口	44
パワーウィンドー	46
脱着式ルーフ	48

●シートの調節

正しい運転姿勢	56
シート	58

●ハンドル・バックミラーの調節

チルト/テレスコピック ステアリング	60
ルームミラー	61
ドアミラー	62

●シートベルト

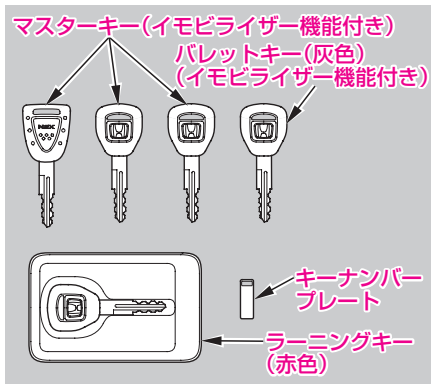
シートベルト	64
着用のしかた	68

各部の開閉

キー

この車には、以下のキーが付いています。マスターキーおよびバレットキーには、イモビライザー機能(車両盗難防止装置)が付いています。

イモビライザーシステム →34ページ



●マスターキー (イモビライザー機能付き)

マスターキーはエンジンの始動、停止のほかにドア、グローブボックスの施錠・解錠、トランクの解錠に使えます。

●バレットキー (イモビライザー機能付き)

バレットキーはエンジンの始動、停止のほかにドアの施錠・解錠に使えます。駐車場などで車を預けるときにお使いください。

●ラーニングキー

キーの紛失などでマスターキーを追加するときなどに、ホンダベルノ店で新しいキーの信号をお車のイモビライザーシステムに登録するために使用します。ラーニングキーではエンジンの始動ができません。車両以外の場所に大切に保管してください。



知識

- キーには信号を発信するための精密な電子部品が組み込まれています。電子部品の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・直射日光が当たるところやインストルメントパネルの上など、高温、多湿になるところに置かないでください。
 - ・衝撃を与えないでください。
 - ・水にぬらさないでください。
 - ・分解しないでください。
 - ・火であぶったりしないでください。電子部品が故障すると、イモビライザーシステムがキーの信号を正しく受信できないためエンジンの始動ができなくなります。エンジンが始動できないときは、ホンダベルノ店にご連絡ください。
- ラーニングキーでエンジンを始動しないでください。マスターキーおよびバレットキーが使用できなくなります。エンジンが始動できなくなったときは、ホンダベルノ店にご連絡ください。
- キーナンバープレートにはキーナンバーが表示してあります。ラーニングキーと一緒に、紛失しないように、キーとは別に車両以外の場所に大切に保管してください。キーを紛失したときは、キーナンバーをホンダベルノ店へご連絡ください。キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ホンダベルノ店にご相談ください。
- キーを追加するときは、マスターキー、バレットキー、ラーニングキー、キーナンバープレートをご持参のうえ、ホンダベルノ店にご相談ください。マスターキーとバレットキー合わせて5本まで登録できます。

●イモビライザーシステム

イモビライザーシステムはお車を盗難から守るための装置です。

キーに信号を発信する電子部品があり、あらかじめ登録されたキーでないとエンジンの始動ができないようにしたシステムです。



エンジンを始動するときは、登録されたキーをエンジンスイッチに差し込んでください。エンジンスイッチを“II”にすると、イモビライザーシステム表示灯が数秒間点灯してから消灯し、エンジンの始動ができるようになります。

表示灯が点滅したときは、システムが登録されたキーの信号を認識していないので、エンジンを始動することはできません。

そのときは、エンジンスイッチを“0”へ回しキーを抜いてから、もう一度エンジンスイッチに差し込み“II”にしてください。

エンジンスイッチを“II”から“I”または“0”へ回したときにも、イモビライザーシステム表示灯が数回点滅します。

イモビライザーシステム表示灯

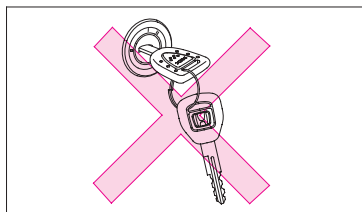
→77ページ

 **アドバイス**

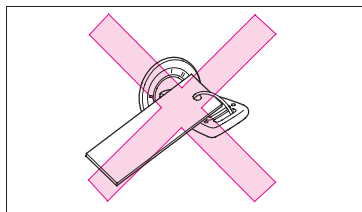
- システムを改造したりしないでください。
エンジンシステムが故障するおそれがあります。
- エンジンスイッチを“II”にしても表示灯が点灯しないときは、システムの異常が考えられますので、ホンダベルノ店で点検を受けてください。

 **知識**

- エンジンスイッチとキーの部分に、別のイモビライザーシステム用のキーや金属物を近づけたり接触させたりすると、登録されたキーの信号をシステムが認識できなくなりエンジンの始動ができないことがあります。
 - ・他のイモビライザーシステム用のキーを取り付けしないでください。



- ・金属製のキーホルダーを使わないでください。



ドアの施錠・解錠

⚠ 注意

- ドアは確実に閉めてください。半ドアでは、走行中にドアが開き思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

🎓 知識

- ドアは不用意に開けると後続車などがぶつかることがあるので周囲の安全を確認してから開けてください。
- 強風時にドアを開閉するときは、風にあおられないよう注意してください。
- 車から離れるときは、エンジンを止めドアを必ず施錠してください。また、車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- 車外からドアを閉めるときは、ドアハンドルを押して閉めます。ドアパネルやガラスを押さないでください。
- ドア、トランク、ボンネット、リヤガラス、(type Tは脱着式ルーフが完全にロックしているかルーフホルダーに収納している)が閉まった状態で運転席ドアをキーで施錠すると、約15秒後にセキュリティーシステムが自動的に作動します。

セキュリティーシステム

→172ページ

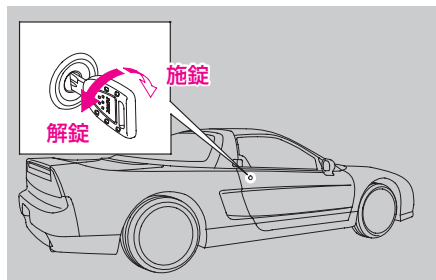


パワードアロック

運転席ドアを施錠(解錠)すると、助手席ドアも同時に施錠(解錠)します。

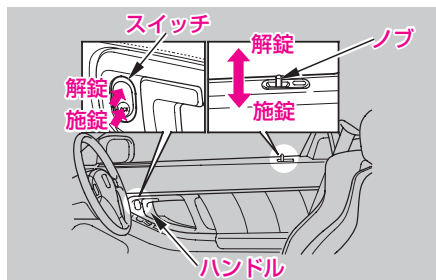
●車外から行う場合

キーを確実に差し込んで回します。



●車内から行う場合

ノブを矢印の方向に動かします。運転席ドア部のスイッチを操作すれば両方のドアの施錠(解錠)ができ、ノブの操作では施錠のみ連動します。助手席ドア部のノブまたはスイッチを操作した場合は、助手席ドアのみの施錠(解錠)ができます。



運転席ドアは内側のハンドルを引くと解錠されます。

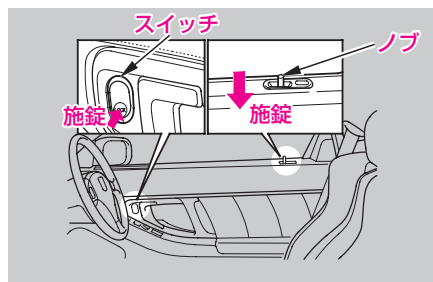
●キーを使わないで施錠する場合

知識

- キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

運転席ドア

- ①ノブまたはスイッチを施錠の方向に動かします。



- ②ドアを閉めます。

・キー閉じ込み防止装置

キーがエンジンスイッチに差し込まれたままだと施錠できません。

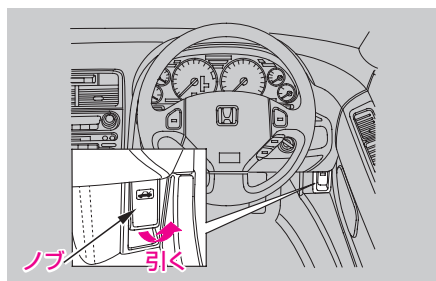
助手席ドア

ノブまたはスイッチを施錠の方向に動かしてドアを閉めると施錠できます。

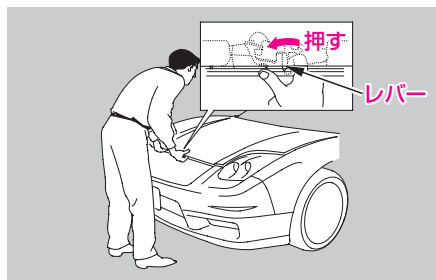
ボンネット

●開けかた

①運転席足元のノブを引きます。



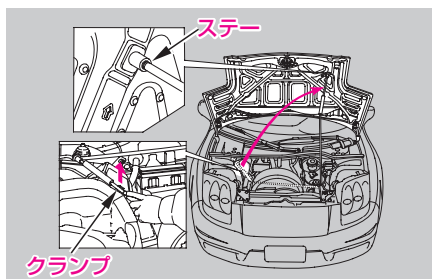
②ボンネット前部が少し浮き上がるので、レバーを左へ押しながら開けます。



📖 知識

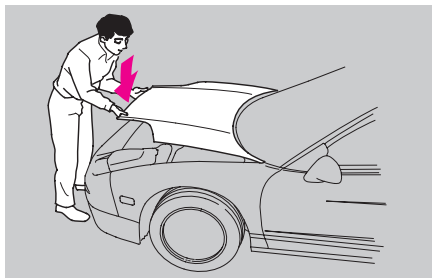
- ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けないでください。ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷します。

③必ずステーを確実にかけ、固定します。



●閉めかた

ステーを外し、クランプに納めます。ボンネットを静かに下げ、手を離します。



ボンネットが完全に閉まっていることを確認します。



⚠ 注意

- ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。

🎓 知識

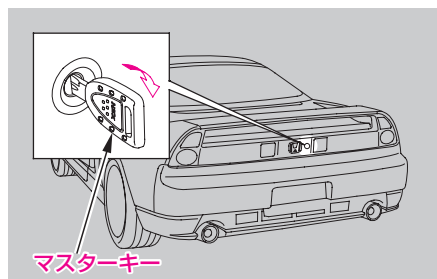
- ボンネットを開けているときに、風にあおられてステーが外れることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。
- ボンネットが完全に閉まっていないうままに走行すると開くことがあります。走行前に必ず確認してください。

トランク

●解錠

車外から行う場合

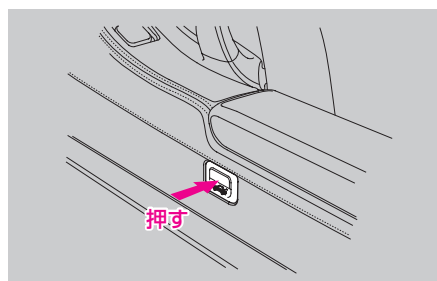
マスターキーを確実に差し込んで矢印の方向に回します。バレットキーでは解錠できません。



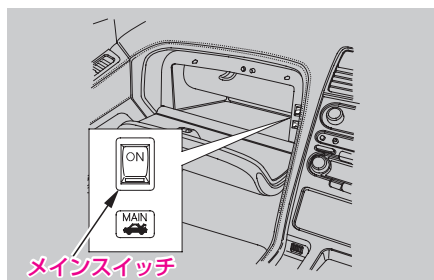
車内から行う場合

(電動トランクオープナー)

運転席ドアにある解錠ボタン(電動トランクオープナー)を押します。

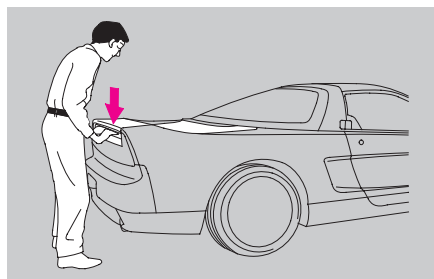


電動トランクオープナーは、グローブボックス内のメインスイッチを“OFF”にすると、作動しません。バレットキーを預けるときなどに、お使いください。



●施錠

スポイラーを持たずに静かに下げ、上から手で押さえつけるようにして施錠します。





⚠ 注意

- トランクを閉めるときは手などをはさまないように注意してください。
- エンジンかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないでください。やけどなど思わぬけがをすることがあります。
- トランクルーム内には人を乗せないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをすることがあります。
- トランクは中から開けることはできません。お子さまが入らないよう注意してください。

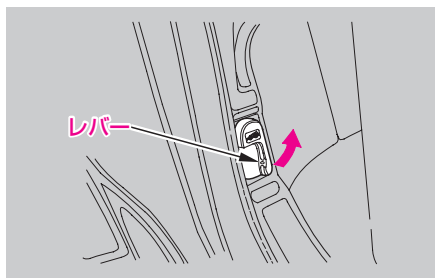
🎓 知識

- トランク内は高温になることがあります。熱に弱いものは入れないでください。
- トランクは途中までしか開けていないと自重で閉まることがあります。
- 風にあおられて閉まることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。
- トランクを開けたまま走行しないでください。後方視界のさまたげになります。
- トランクを閉めるときは次のことに気をつけてください。
 - ・ キーをトランク内に置き忘れないようにしてください。
 - ・ スпойラーやトランク上面を強く押さえないでください。

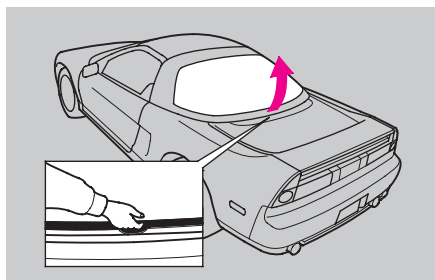
エンジンルーム

●開けかた

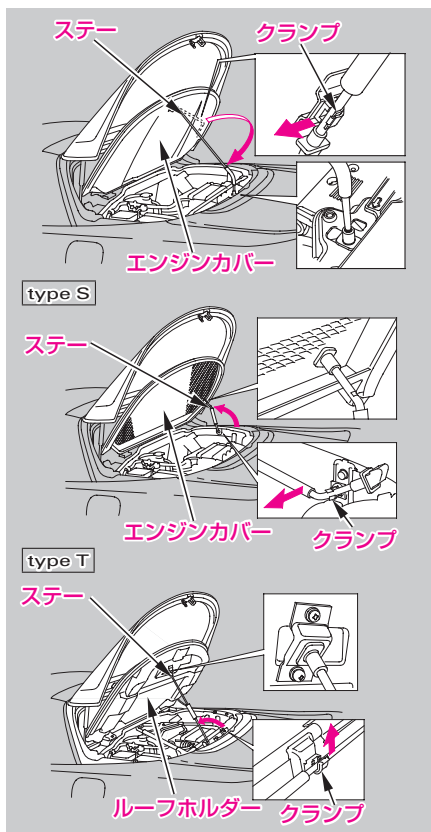
①運転席右後方のレバーを引きます。



②リヤガラス後部が少し浮き上がるので、そのまま持ち上げます。



③エンジンカバー(type Tはルーフホルダー)を開け、ステーを確実にかけ、固定します。





●閉めかた

- ①ステアーを外し、クランプに納めます。
エンジンカバー(type Tはルーフホルダー)を閉めます。
- ②リヤガラスを降ろし、後部を押さえつけて閉めます。

⚠注意

- エンジンカバー、リヤガラスを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。



アドバイス

- リヤガラスに強い衝撃を与えると、ガラスが破損するおそれがあります。

🎓知識

- エンジンカバーを開けているとき、風にあおられてステアーが外れることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。
- リヤガラスが完全に閉まっていないうまままで走行すると、開くことがあります。走行前に必ず確認してください。
- エンジンカバーの上に物を置かないでください。
後方視界をさまたげるばかりでなく、急ブレーキのときなど思わぬ危険物となります。
- type T**
ルーフを収納している状態でルーフホルダー全体を持ち上げステアーをかけて固定しないでください。ステアーが外れるおそれがあります。

燃料補給口

燃料補給口は車の左側後方にあります。

指定燃料：無鉛プレミアムガソリン
(無鉛ハイオク)

タンク容量：70ℓ

警告

- 燃料補給時は火気厳禁です。
燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
 - ・ エンジンは必ず止めてください。
 - ・ タバコなどの火気を近づけないでください。
- 燃料補給作業は静電気を除去してから行ってください。
静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。

アドバイス

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。補給するときは、無鉛ガソリンであることを確認してください。
 - ・ 有鉛ガソリンを補給すると、触媒装置などを損ないます。
 - ・ 高濃度アルコール含有燃料を補給すると、エンジンや燃料系などを損傷する原因となります。
 - ・ 軽油や粗悪ガソリンを補給したり、不適切な燃料添加剤を使うと、エンジンなどに悪影響を与えます。

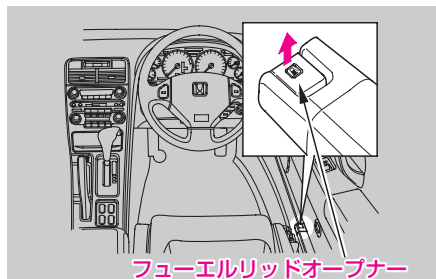
知識

- 無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合には、無鉛レギュラーガソリンをお使いになることもできますが、この場合エンジン性能を十分に発揮できません。

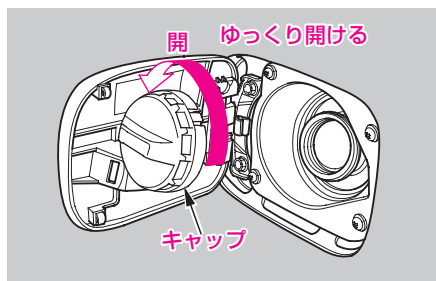


●開けかた

- ①運転席右下にあるフューエルリッドオープナーを引き上げてリッドを開けます。



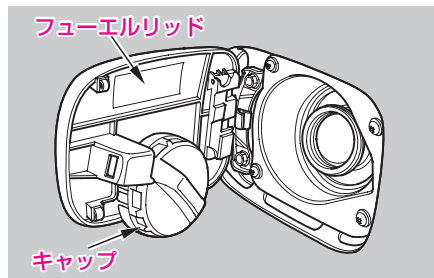
- ②フューエルキャップを開ける前に、身体の静電気除去を行います。
③キャップをゆっくり回して開けます。



⚠注意

- キャップはゆっくり開けてください。
急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

外したキャップは、フューエルリッドの裏側に置けます。



📖知識

- 車体や給油機などの金属部分に触れると、静電気を放電することができます。
- 燃料補給作業は、静電気を放電した人のみで行ってください。
- 燃料補給中に車内にもどったりすると再び帯電することがあります。
- 燃料補給は自動停止後に追加補給しないでください。気温などの変化によりあふれることがあります。

●閉めかた

キャップを“カチッ”という音が2回以上するまで締め付けます。フューエルリッドは手で押さえつければ閉まります。

⚠注意

- キャップが確実に閉まっていることを確認してください。
確実に閉まっていないと走行中に燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

パワーウィンドー

エンジンスイッチが“II”のとき、ウィンドーの開閉ができます。

開閉は、それぞれのドアにあるスイッチで操作します。

- ・運転席スイッチは、助手席ウィンドーも操作できます。

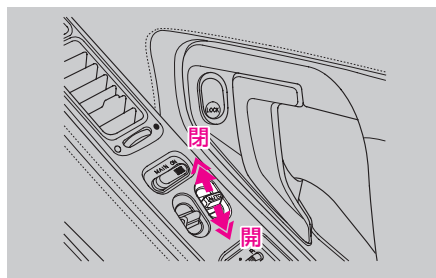
●運転席ウィンドーの開閉

スイッチを軽く操作している間、作動します。

強く操作すると、自動で全開(全閉)します。

開けるとき・・・スイッチを後側に押しします。

閉めるとき・・・スイッチを前側に押しします。



自動開閉中にウィンドーを停止させるときは、スイッチを作動方向とは逆へ軽く操作します。

●助手席ウィンドーの開閉

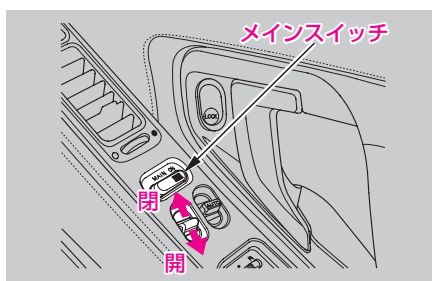
メインスイッチを“ON”にしてから、スイッチを操作します。

スイッチを操作している間、作動します。

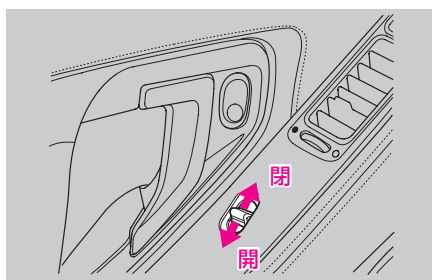
開けるとき・・・スイッチを後側に押しします。

閉めるとき・・・スイッチを前側に押しします。

・運転席ドアスイッチ



・助手席ドアスイッチ



助手席ウィンドーを動かなくしたいとき (メインスイッチ)

メインスイッチを“OFF”にしておけば、助手席ウィンドーは作動しません。



⚠ 警告

- パワーウィンドーを閉めるときは、手やくびなどをはさまないようにしてください。

ドアガラスにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

⚠ 注意

- 車から離れるときはキーを抜き、お子さまも一緒に連れて行ってください。

いたずらなど誤った操作をして思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- ウィンドーの開閉はお子さまではなく大人が操作するようにしてください。
- 小さなお子さまが同乗しているときは、お子さまが誤って操作しないよう、メインスイッチを“OFF”にしておきましょう。

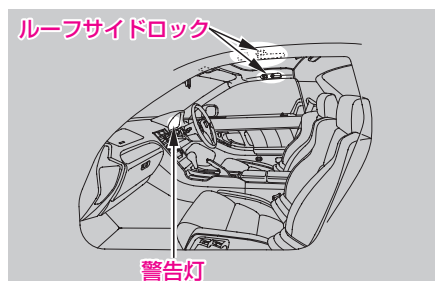
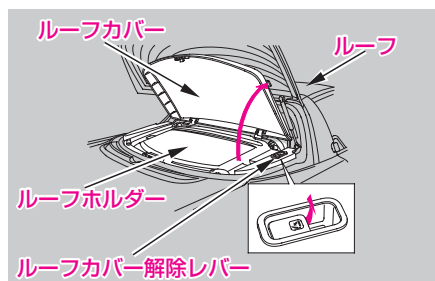
脱着式ルーフ

type T

ルーフ両端にあるルーフサイドロックの操作により、ルーフの脱着ができます。取り外したルーフは、ルーフホルダーへ収納できます。

ルーフの脱着は、必ずパーキングブレーキを確実にかけ、エンジンを停止してから行ってください。

●各部名称



⚠注意

- 走行中または一時停止時にルーフ開口部から頭や手、物などを出さないでください。思わぬ障害物や急ブレーキをかけたときなどに事故につながるおそれがあります。
- ルーフ脱着、収納するときやリヤガラスを閉めるときは、手などはさまないように注意してください。

🚗アドバイス

- ルーフ上に腰かけたり荷物を乗せるなど大きな力を加えないでください。また、ルーフを外したときにフロントピラーに大きな力を加えないでください。破損や変形の原因となります。ルーフパネルには、スキーキャリアなどをつけないでください。ルーフが変形したり、ルーフサイドロックが破損するおそれがあります。



🎓 知識

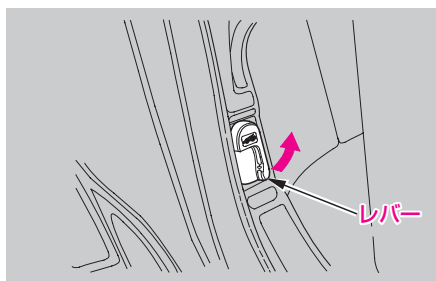
- 車は、駐停車禁止区域外の平坦で安全なところに停車し、操作を行う前に必ず周囲の安全を確認してください。
- 炎天下に駐車した場合などは、収納しているルーフが熱くなっていることがありますので、取扱いには気をつけてください。
- 風の強いときにルーフを脱着する場合は十分注意してください。風にあおられることがあります。
- ルーフを脱着、収納するときは、車体に傷をつけないようにしてください。
- 走行を開始するときは、ルーフサイドが確実にロックされていることを確認してください。また、走行中はロックを解除しないでください。
ロックされていないと、ルーフが外れるおそれがあります。

🎓 知識

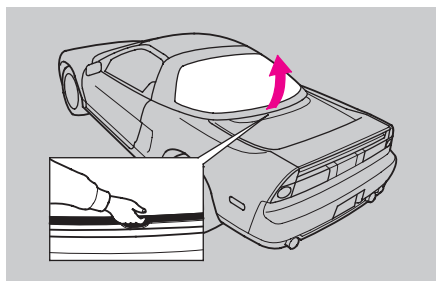
- ルーフは確実に収納してください。ルーフに傷をつけるおそれがあります。
- 車から離れるときや洗車のときは、ルーフやリヤガラスが完全に閉まっていることを確かめて下さい。
- 降雨後や洗車後は、ルーフ上の水を除去してから操作を行ってください。また、積雪時には、ルーフ上の雪を除去してください。室内に水や雪が入るおそれがあります。

●取り外しかた

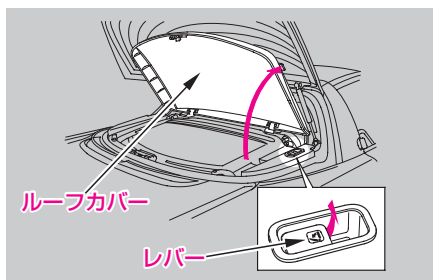
- ①運転席、助手席のウィンドーをいっばいに下げます。
- ②運転席後方のレバーを引き、リヤガラスのロックを解除します。



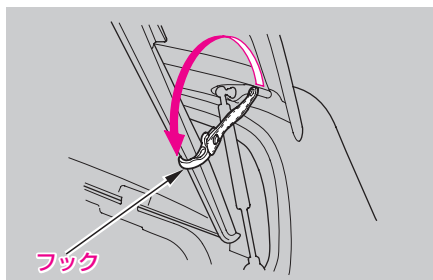
- ③リヤガラス後部が少し浮き上がるのでそのまま持ち上げるようにして開けます。



- ④ルーフホルダー右側のレバーを引き上げてルーフカバーのロックを解除します。

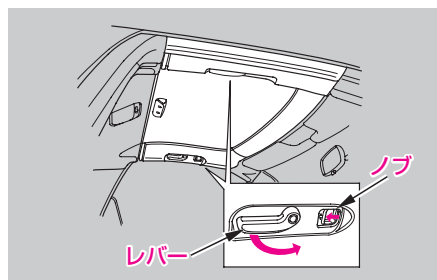


- ⑤ルーフカバーを持ち上げるようにして開け、リヤガラスにあるフックを外し、ルーフカバーに引っ掛け固定します。

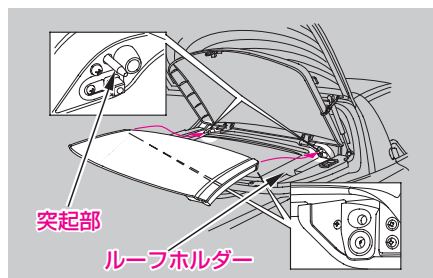




- ⑥ルーフサイドロックのノブを矢印のほうへ押しながら、レバーを下へ引いて左右共解除し、ルーフを持ち上げて取り外します。



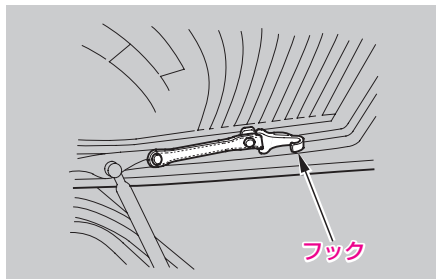
- ⑦ルーフの後側を前向きにします。ルーフホルダーの突起部がルーフの穴に入るようにし収納します。



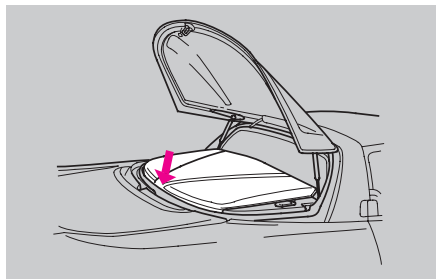
知識

- ルーフを取り外したときは、ルーフをルーフホルダーに収納していないと警告灯が点灯します。

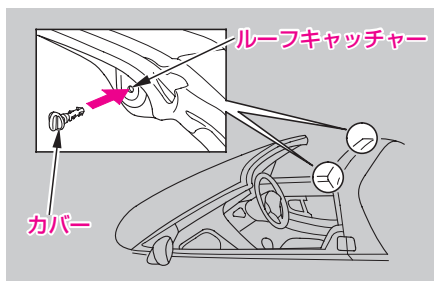
- ⑧ ルーフカバーからフックを外し、フックを元の位置に固定します。



- ⑨ ルーフカバーを閉めルーフを確実に固定します。

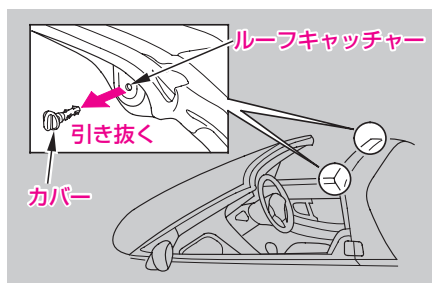


- ⑩ リヤガラスを閉めます。
⑪ グローブボックスからカバーを取り出し、リヤピラーのルーフキャッチャーに差し込み固定します。風切音の低減に効果があります。



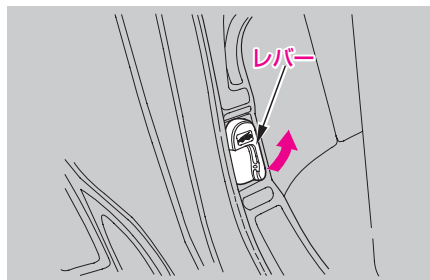
**●取り付けかた**

- ①リヤピラーの左右のルーフキャッチャーからカバーを引き抜きます。外したカバーをグローブボックスに収納します。

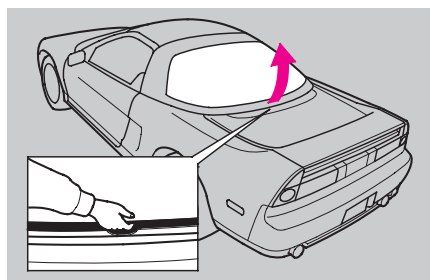


- ②運転席、助手席のウィンドーをいっばいに下げます。

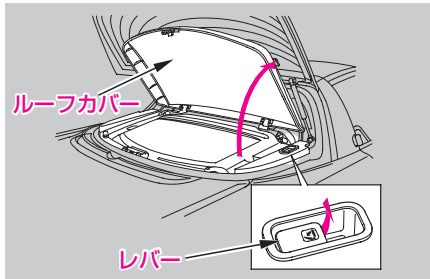
- ③運転席右後方のレバーを引き、リヤガラスのロックを解除します。



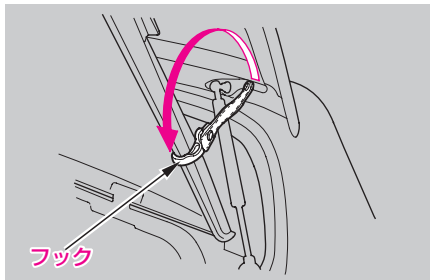
- ④リヤガラス後部が少し浮き上がるのでそのまま持ち上げるようにして開けます。



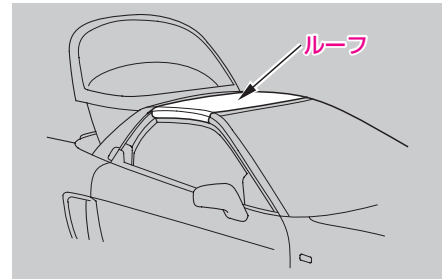
- ⑤ ルーフホルダー右側のレバーを引き上げて、ルーフカバーのロックを解除します。



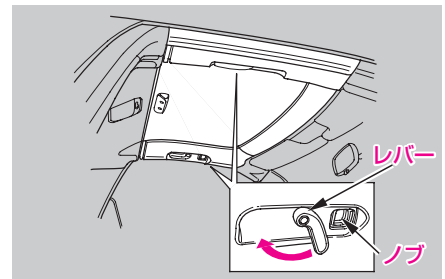
- ⑥ ルーフカバーを持ち上げるようにして開け、リヤガラスにあるフックを外し、ルーフカバーに引っ掛け固定します。



- ⑦ ルーフをルーフホルダーから取り出し、ルーフサイドロックが解除されていることを確認して車体へ確実に取り付けます。

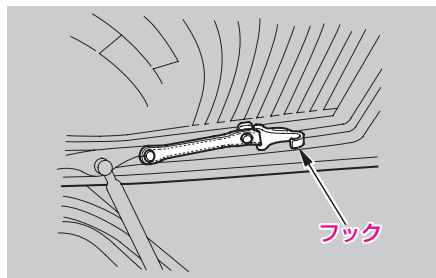


- ⑧ ルーフサイドロックのノブを赤色のマークが消えるまでレバーを確実に押し上げ、左右共ロックします。

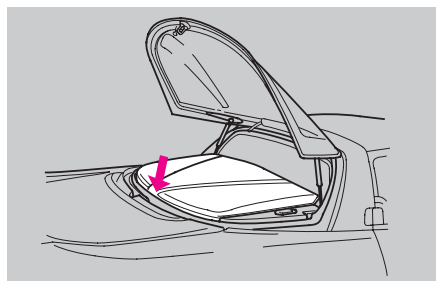




- ⑨ルーフカバーからフックを外し、フックを元の位置に固定します。



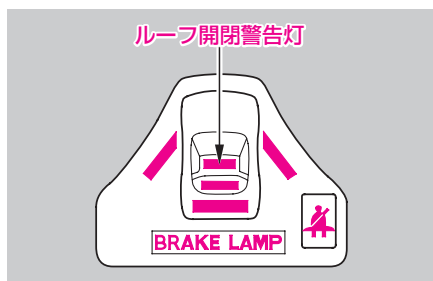
- ⑩ルーフカバーを閉めます。



- ⑪リヤガラスを閉めます。

●ルーフ開閉警告灯

ルーフを取り付けたときにルーフサイドロックが完全にロックされていないとセーフティインジケーター内の警告灯が点灯します。



警告灯が点灯しているときは、必ず最後まで確実にロックしてください。

🎓 知識

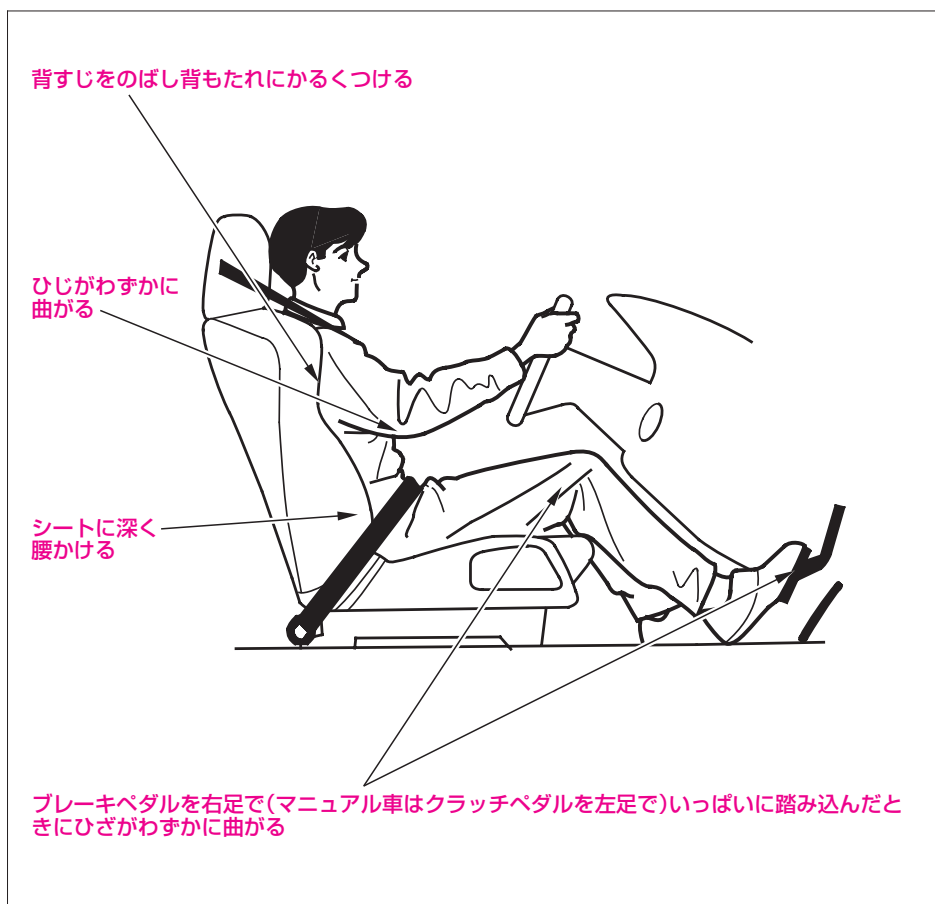
- ルーフを取り外したときは、ルーフをルーフホルダーに収納していないと警告灯が点灯します。

シートの調節

正しい運転姿勢

運転者は正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。

正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる姿勢をいいます。



同乗者も、シートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。
助手席同乗者はインストルメントパネルに顔や胸が必要以上に近づかないように、シートを後ろに下げます。



⚠️ 警告

- シートに深く腰かけてください。寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- **SRSエアバッグシステム装備車**
SRSエアバッグに必要以上に近づくと、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。
 - ・ 運転者は正しい運転姿勢がとれる範囲で、シートを後ろに下げてください。
 - ・ 助手席同乗者はインストルメントパネルに近づかないように、シートを後ろに下げてください。

⚠️ 注意

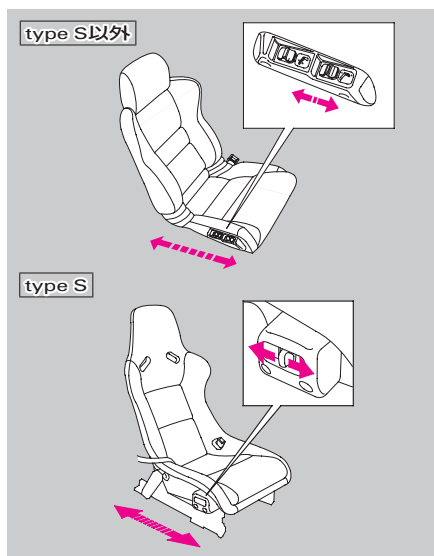
- 背もたれと背中の中にクッションなどをいれないでください。正しい運転姿勢がとれないばかりか、シートベルトなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- シートを操作するときは、操作する人やまわりの人の手や足などをはさまないように十分注意してください。
- シートの下に物を置かないでください。物がはさまってシートが固定されず思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- シートの調節は走行する前に行ってください。
- シートの後部に、お子さまを乗せたり、後方視界をさまたげるような物を置かないでください。

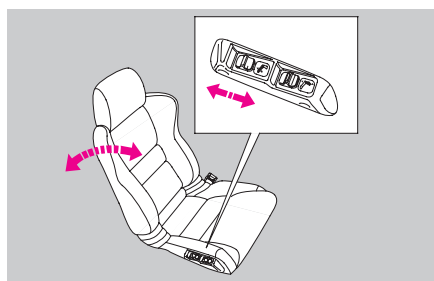
シート

●前後位置の調節



●背もたれの調節

type S以外

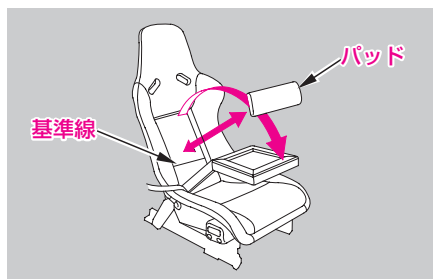


●ランバーサポート

type S

背もたれ腰部の패드を出し入れすることにより、腰部の硬さを調節することができます。

お好みの硬さでお使いください。패드を取り付けるときは、背もたれにある基準線に패드下部を合わせて取り付けてください。



1.車を運転する前に

シートの調節



ハンドル・バックミラーの調節

チルト／テレスコピック ステアリング

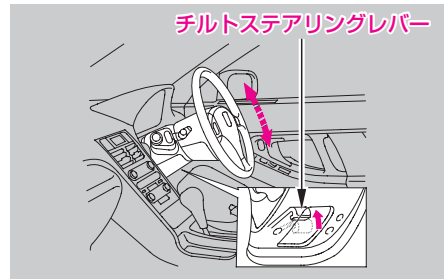
ハンドルの高さおよび前後位置を適切な位置に変えることができます。

⚠ 注意

- 走行中に調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、ハンドルに上下前後方向の力を加え固定されていることを確認してください。

● 上下の調節

ハンドルコラムの下にある上下調節レバーを、矢印の方向に引きます。レバーを引いている間、ハンドルの高さを変えることができます。

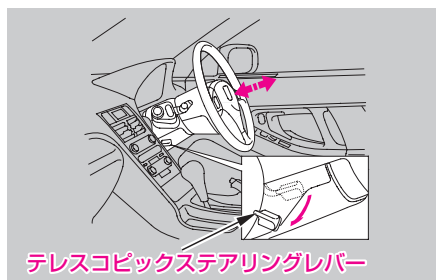


ハンドルを適切な高さにしたら、上下調節レバーを離し、ハンドル高さを固定します。



●前後の調節

ハンドルコラムの左にある前後調節レバーを押し下げると、ハンドルの前後位置を変えることができます。



テレスコピックステアリングレバー

ハンドルを適切な位置にしたら、そのままハンドルを押さえながら、レバーを元の位置まで確実に引き上げ、ハンドル位置を固定します。

ルームミラー

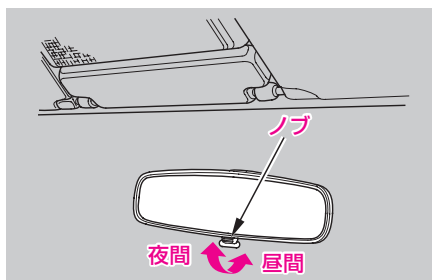
🎓 知識

- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

●防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。

ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置にして行ってください。

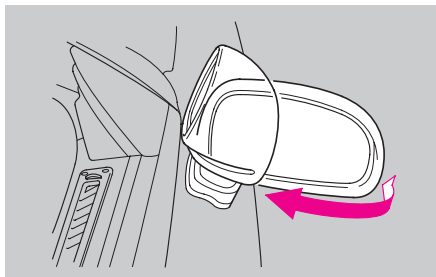
ドアミラー

知 識

- ミラーを格納したまま走行しないでください。また、走行中はミラーの調節を行わないでください。

●格納のしかた

ミラーを折りたたむことができます。狭い所へ駐車をするときに便利です。走行するときは、必ず元に戻してください。



●角度調節のしかた

エンジンスイッチが“II”のときスイッチを操作すると、ミラーの角度調節ができます。

- ①左右切り換えスイッチを調節したい方に動かします。
- ②調節スイッチで角度を調節します。

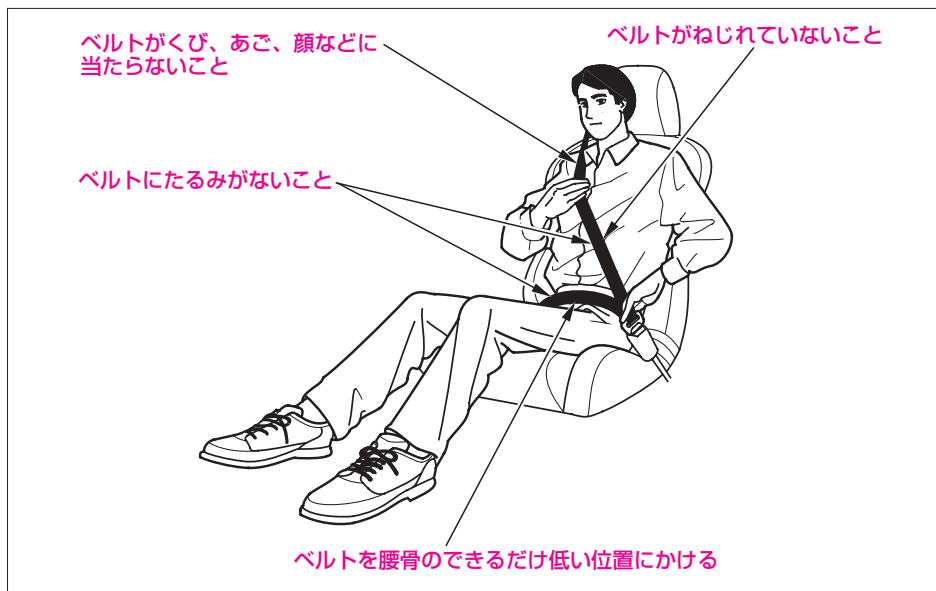


直接手で鏡面を動かして角度を調節することもできます。

シートベルト

シートベルト

シートベルトは、車を運転するまえに運転者は正しい運転姿勢で着用し、同乗者にも必ず着用させてください。



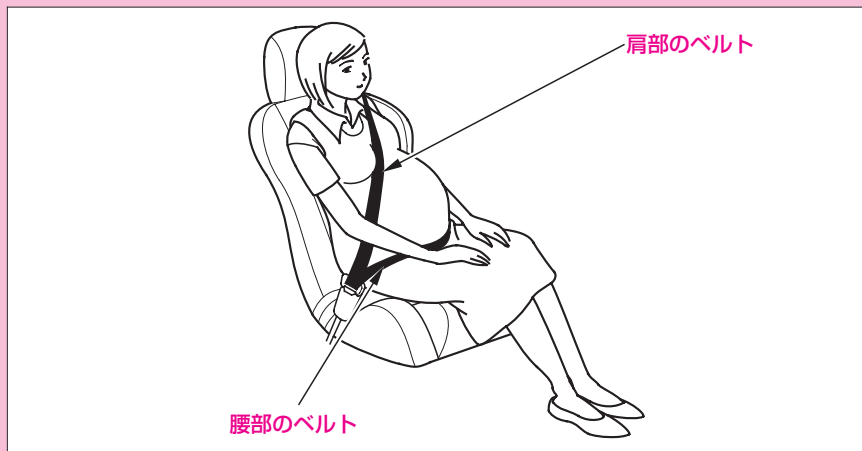
⚠ 警告

- シートベルトは全員が着用してください。
着用しないと、衝突したときなどに重大な傷害を受けたり死亡することがあります。
- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。
寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまにもシートベルトを着用させるか、チャイルドシートをお使いください。
お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けたり死亡するおそれがあります。



⚠ 注意

- シートベルトを正しく着用していないと本来の機能をはたさず、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
 - ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用してください。ベルトが腰骨からずれていると腹部などに強い圧迫を受けます。
 - ベルトはねじれがないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、局部的に強い力がかかります。
 - ベルトがくび、あご、顔などに当たらないように着用してください。
 - 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。
 - 三点式シートベルトは腕の下に通して着用しないでください。ベルトが肩に十分かかっていないと前方に投げ出されるおそれがあります。
 - ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけないでください。
- 妊娠中のかたや疾患のあるかたもシートベルトを着用してください。ただし、万一のとき腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがありますので、医師に確認してください。
 - 妊娠中のかたは、三点式シートベルトを使用してください。
 - 妊娠中のかたは、ベルトを着用するときは、腰部のベルトを腹部からさけて腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにして身体に密着させてください。また、肩部のベルトは腹部からさけて胸部にかかるようにしてください。



●シートベルトの種類

ELR付三点式シートベルトを採用しています。

●三点式シートベルト

体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

シートベルト警告灯

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまでメーター内のシートベルト警告灯が点灯し続けます。

シートベルトプリテンショナー

→132ページ

●お子さまを乗せるときは

お子さまにもシートベルトを着用させてください。

ただし、装備されているシートベルトは大人用ですので、ベルトがくびやあごに当たる場合や腰骨にかからない場合は、幼児用シート(前向き装着)や学童用シートを使用してください。シートベルトをそのまま使うと、衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。

警告

- SRSエアバッグシステム装備車には乳児用シートを取り付けしないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。
 - ・やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。
 - ・乳児用シート、幼児用シート(後ろ向き装着)が必要なお子さまと一緒に乗るときは、これらのシートを取り付けられる別の車をお使いください。



知識

- 車両のタイプによって幼児用シートなどを取り付けられない場合があります。

- 幼児用シート、学童用シートは、お子さまの体重や身長によりお使いになれるタイプや取り付け方法が異なります。

また、チャイルドシートの形状などによっては正しく取り付けできないものがあります。この車に合ったチャイルドシートを使用してください。

Honda純正品をご用意しています。ご購入、ご使用に際してはホンダベルノ店にご相談ください。

● シートベルトの取り扱い、手入れ

- ・ ベルトを着用した状態で万一、事故にあった場合は機能を損なっている可能性があるため、ベルト一式を交換してください。

シートベルトは、座席に乗員がいなくても、SRSエアバックが作動するような事故にあった場合は、プリテンショナーも作動するため、ベルト一式を交換してください。

また、ベルトにほつれ、すりきれ、破れなどができたときも交換してください。

- ・ シートベルトを十分に機能させるために、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。

- ・ ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に布をひたしてふき取り乾かしてください。薬剤を使ったり漂白や染色は絶対しないでください。ベルトを弱めます。

着用のしかた

●三点式シートベルト

①正しい運転姿勢でシートにすわります。

(→56ページ)

②タングプレートをつかみ、ゆっくり引き出します。



③ベルトにねじれがないようにし、タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



④ベルトがねじれたり、引っかかったりしていないかを確認します。

⑤ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかかるように引き、たるみがないように身体に密着させます。



⑥外すときはバックルの“PRESS”ボタンを押します。

ベルトが自動的に収納されますので、引っかかったり、ねじれたりしていないかを確認します。



2

車を運転するときに

●メーター……………70

●表示灯……………74

●警告灯……………78

セーフティインジケーター……………84

警告灯の電球切れの点検……………85

●スイッチの使いかた

エンジンスイッチ……………86

ライトスイッチ……………88

方向指示器(ウィンカー)

スイッチ……………89

非常点滅表示灯(ハザード)

スイッチ……………89

ワイパー/ウォッシャー

スイッチ……………90

リヤデフロスタースイッチ……………93

イルミネーションコントロール

ツマミ……………94

ホーンスイッチ……………94

●運転のしかた

エンジンのかけかた……………96

パーキングブレーキ……………99

チェンジレバーの操作……………100

セレクトレバーの操作……………102

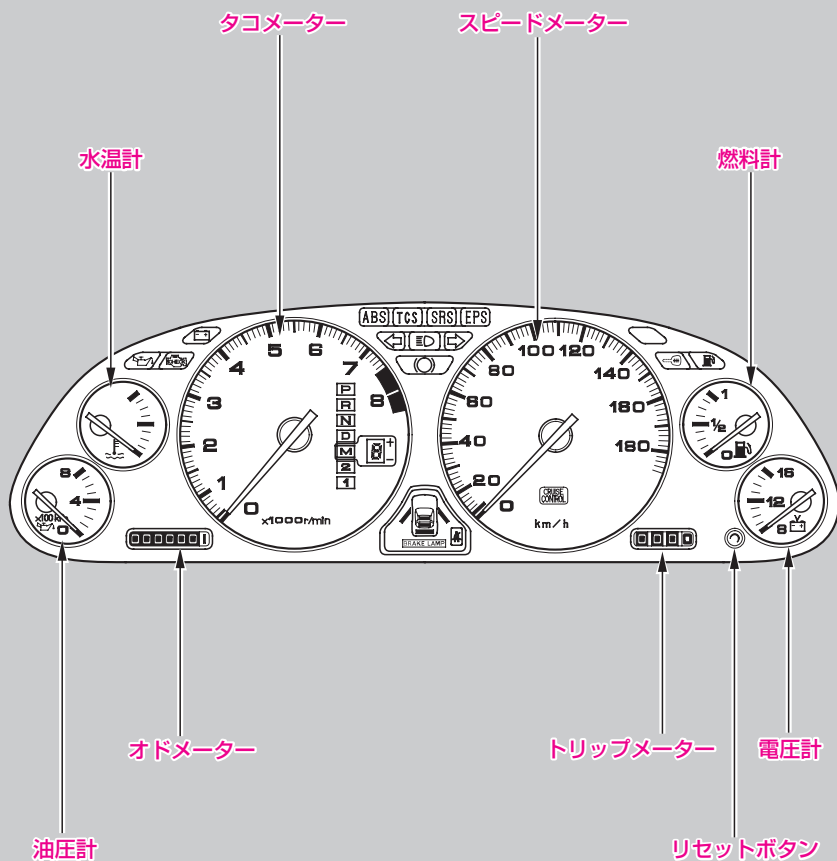
オートマチック車の運転の

しかた……………108

クルーズコントロール……………118

メーター

イラストは代表例を掲載しています。





スピードメーター

走行速度をkm/hで示します。

タコメーター

1分間あたりのエンジン回転数を示します。



アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、下表の限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

タイプ	限界回転数 (rpm)
マニュアル車	8,000
オートマチック車	7,500

● オートマチック車

停車中の空ぶかしは、エンジン回転数が5,000rpmになると燃料供給が停止されます。

オドメーター

走行距離の累計をkmで示します。

トリップメーター

区間距離(km)を知りたいときは、リセットボタンを押して“0”に戻して使います。
右端の数字は100mの単位です。

燃料計

エンジンスイッチの位置に関係なく常に燃料の残量を示します。

“0”に近づいたら、早めに補給してください。

燃料補給について →44ページ

知識

- 燃料補給後、エンジンスイッチを“II”にしてから正しい量を示すまで、しばらく時間がかかります。

水温計

エンジン冷却水の温度を示します。

走行中は目盛の赤いマークより下側をさすのが正常です。

アドバイス

- 針が赤いマークに入った場合はオーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停めてエンジンを冷やしてください。そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となります。
- オーバーヒートしたとき

→206ページ

電圧計

バッテリーの充電状態を示します。走行中は、12V～15Vの間をさすのが正常です。

アドバイス

- 11V以下をさす場合は、バッテリーや充電系統の異常が考えられます。ホンダベルノ店で点検を受けてください。

油圧計

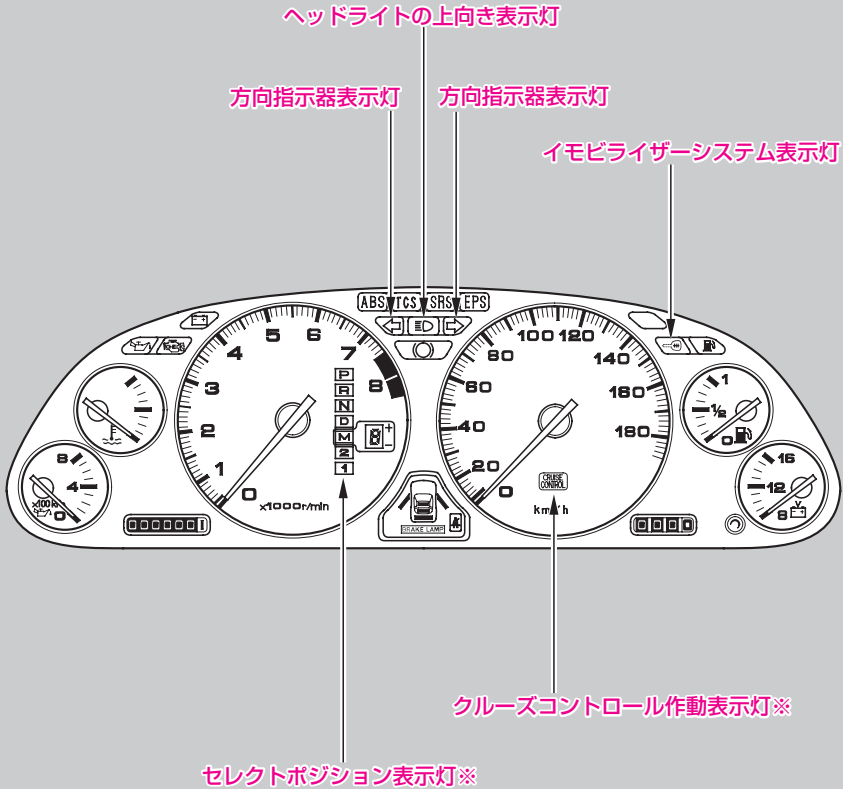
エンジン回転中のエンジン内部を潤滑しているオイルの圧力を示します。圧力は、冷機時や高回転時は高めになり、暖機時や低回転時は低めになります。

アドバイス

- エンジン回転を上げても針が動かないときは、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。エンジンオイルが減っていないのに針が動かないときや、エンジンオイルを補給しても針が動かないときは、ただちにホンダベルノ店にご連絡ください。



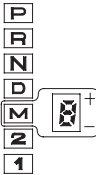


表示灯

イラストは代表例を掲載しています。
※：タイプにより装備の有無があります。





表示灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

表示灯	タイプ		
	NSX	NSX-S	NSX-T
 方向指示器表示灯	○	○	○
 ヘッドライト上向き (ハイビーム)表示灯	○	○	○
 セレクトポジション 表示灯※	○	—	○
 クルーズコントロール 作動表示灯	○	△	○
 イモビライザーシステム 表示灯	○	○	○

○：標準装備

△：注文装備

※：オートマチック車



方向指示器表示灯

方向指示器のランプの点滅状態を表示します。

知識

- 電球が切れたときや、ワット(W)数の違ったものを使ったときは、表示灯の点滅周期が異常になります。

電球(バルブ)の交換

→219、220ページ

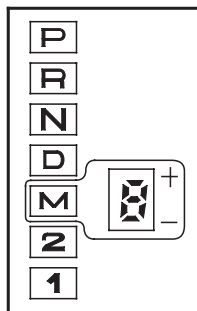
電球(バルブ)のワット数

→258ページ



ヘッドライト上向き(ハイビーム)表示灯

ヘッドライトが上向きのときに点灯します。



セレクトポジション表示灯 (トランスミッション警告灯兼用)

オートマチック車

使用中のセレクトレバー位置が表示されます。

Ⓜレンジ使用中は右側にギヤの位置も表示されます。

トランスミッションが異常のときには、Ⓜが点滅します。

トランスミッション警告灯 →82ページ

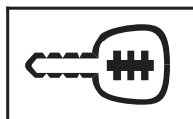
CRUISE CONTROL

クルーズコントロール作動表示灯

クルーズコントロール装備車

自動定速走行しているときに点灯します。

クルーズコントロール →118ページ



イモビライザーシステム表示灯

エンジンスイッチにキーを差し込んで“II”にすると、数秒間点灯してから消灯します。消灯したらエンジンを始動することができます。

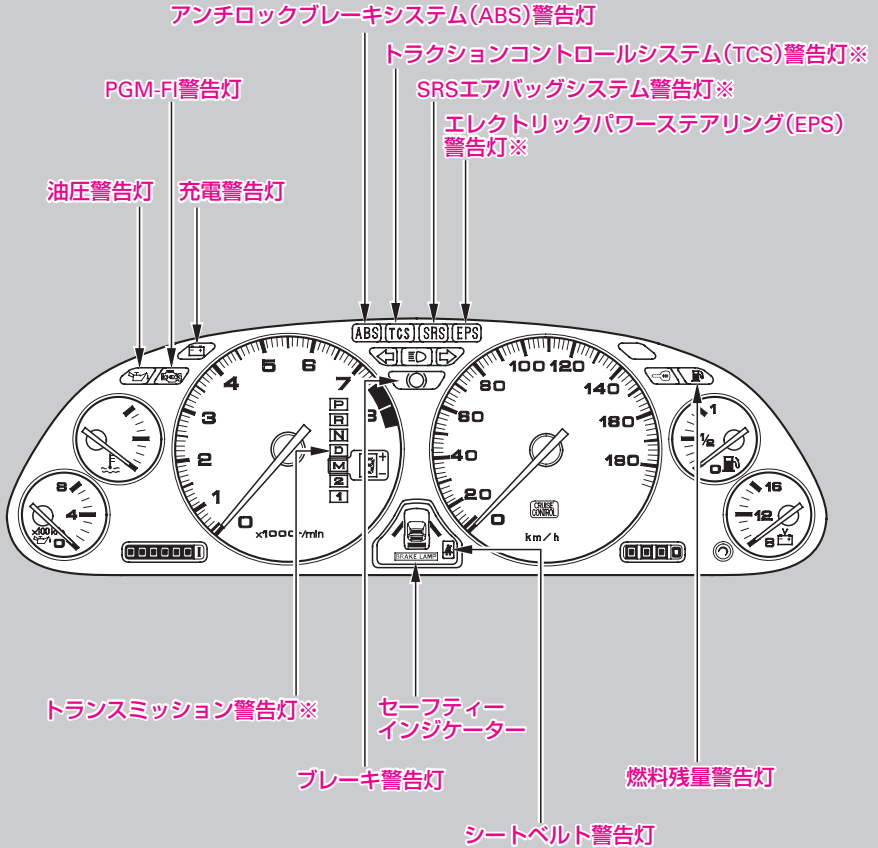
点滅したときは、エンジンを始動することができません。

エンジンスイッチを“II”から“I”または“0”へ回したときにも、イモビライザーシステム表示灯が数回点滅します。

イモビライザーシステム →34ページ













警告灯

イラストは代表例を掲載しています。
※：タイプにより装備の有無があります。





警告灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

警告灯	タイプ		
	NSX	NSX-S	NSX-T
 油圧警告灯	○	○	○
 ブレーキ警告灯	○	○	○
 充電警告灯	○	○	○
 PGM-FI警告灯	○	○	○
 トランスミッション 警告灯 ※ (セレクトポジション 表示灯兼用)	○	-	○
 シートベルト警告灯	○	○	○
 燃料残量警告灯	○	○	○
 SRSエアバッグシステム 警告灯	○	△	○
 ABSアンチロックブレーキ システム(ABS)警告灯	○	○	○
 TCSトラクションコントロール システム(TCS)警告灯	○	△	○
 EPSエレクトリックパワー ステアリング(EPS)警告灯	△	△	○
セーフティインジケーター 	○	○	○

○：標準装備

△：注装備

※：オートマチック車



油圧警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。



点灯したときは

エンジン回転中に点灯した場合は、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。

エンジンオイルが減っていないのに点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、ただちにホンダベルノ店へご連絡ください。



アドバイス

- 点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。



ブレーキ警告灯

パーキングブレーキが完全に戻っていないときやブレーキ液量がいちじるしく減少しているときに点灯します。

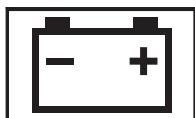


点灯したときは

走行中点灯したときやパーキングブレーキを解除しても消灯しないときは、

- ①ブレーキ液量を点検します。
- ②下限より下がっていたらただちにホンダベルノ店へご連絡ください。

ブレーキ液量が下限以下になっていないのに点灯するときや、パーキングブレーキをかけても点灯しないときは、お早めにホンダベルノ店で点検を受けてください。



充電警告灯

充電系統が異常のときに点灯します。



点灯したときは

運転中に点灯した場合は、電気の消費を減らすため、ヒーター・エアコンスイッチ、リヤデフロスタースイッチを“OFF”にして、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。



PGM-FI警告灯

エンジン制御システムが異常のときに点灯します。



点灯したときは

運転中に点灯した場合は、高速走行を避けて、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。



トランスミッション警告灯 (セレクトポジション表示灯兼用)

オートマチック車

トランスミッションが異常のときに点滅します。



点滅したときは

運転中に点滅した場合は、急発進、急加速を避けて、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。



シートベルト警告灯

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまで点灯し続けます。



燃料残量警告灯

燃料タンク内のガソリン残量が11ℓ前後になったときに点灯します。

燃料の補給 →44ページ



SRS

**SRSエアバッグシステム警告灯
(シートベルトプリテンショナー
警告灯兼用)**

SRSエアバッグシステム装備車

SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

SRSエアバッグシステム →131ページ

シートベルトプリテンショナー

→133ページ

ABS

**アンチロックブレーキシステム
(ABS)警告灯**

ABSが異常のときに点灯します。

→135ページ

TCS

**トラクションコントロールシステム
(TCS)警告灯**

TCS装備車

TCSが異常のときに点灯します。

また、TCSを“OFF”にしたときにも点灯します。

TCS作動中は、点滅します。

→137ページ

EPS

エレクトリックパワーステアリング (EPS)警告灯

パワーステアリング装備車

EPSが異常のときに点灯します。

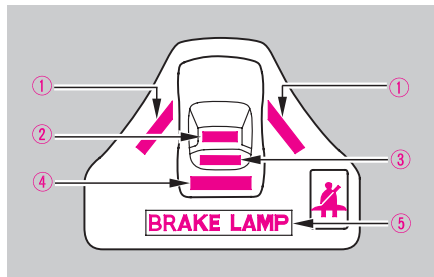
点灯したときは

運転中に点灯したとき(安全な場所に停車してからエンジンを再始動し、その後走行中に消灯していれば正常です。)は、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。

知識

- 警告灯が点灯しているときは、パワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が重くなります。
- 停車中または極低速でハンドル操作をくり返したときなどシステムの温度が上昇すると、システム保護のためパワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が徐々に重くなります。システムの温度が下がると復帰します。システム保護がはたらくような使いかたを連続的にくり返すと、システム破損の原因となります。

セーフティインジケーター



① ドア開閉警告灯

ドアが完全に閉まっていないときに点灯します。

ドアを完全に閉めてください。

② ルーフ開閉警告灯

type T

ルーフサイドロックが完全にロックされていないときに点灯します。

ルーフサイドロックを確実にロックしてください。

知識

- ルーフを取り外したとき、ルーフをルーフホルダーに収納していないと点灯します。



③リヤガラス開閉警告灯

リヤガラスが完全に閉まっていないときに点灯します。



リヤガラスを完全に閉めてください。

④トランク開閉警告灯

トランクが完全に閉まっていないときに点灯します。



トランクを完全に閉めてください。

⑤制動灯電球切れ警告灯

制動灯の電球切れのときに点灯します。



点灯したときはホンダベルノ店で点検を受けてください。

電球(バルブ)の交換 →220ページ

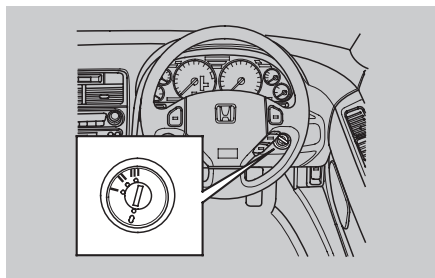
警告灯の電球切れの点検

エンジンスイッチを“II”にしたとき、下記の警告灯類が点灯するのが正常です。点灯しないときは、ホンダベルノ店にご連絡ください。

- 油圧警告灯
(エンジン始動後消灯)
- ブレーキ警告灯
(パーキングブレーキが解除されているときは数秒後消灯)
(パーキングブレーキをかけているときは完全に解除すると消灯)
- 充電警告灯
(エンジン始動後消灯)
- トランスミッション警告灯
(数秒後消灯)
- PGM-FI警告灯
(数秒後消灯)
- SRSエアバッグシステム警告灯
(約6秒後消灯)
- アンチロックブレーキシステム
(ABS)警告灯
(数秒後消灯)
- トラクションコントロールシステム
(TCS)警告灯
(エンジン始動後消灯)
- エレクトリックパワーステアリング
(EPS)警告灯
(エンジン始動後消灯)
- セーフティインジケーター内の警告灯
(数秒後消灯)

スイッチの使いかた

エンジンスイッチ



0

キーを抜き差しする位置です。

I

エンジンをかけずにラジオなどのアクセサリーを使用するときの位置です。

II

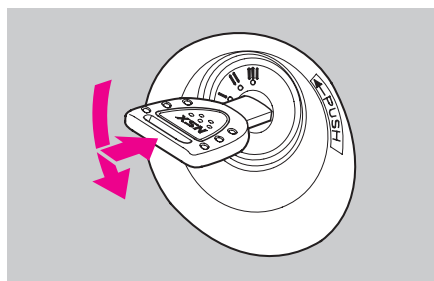
運転するときの位置です。

III

エンジン始動位置です。始動したら、キーから手を離してください。自動的に“II”に戻ります。

キーを抜くとき

- ・オートマチック車は、セレクトレバーを回に入れます。
- ・“I”でキーを押し込んで“0”まで回してキーを抜きます。



知識

- キーを抜くとハンドルがロックされます。
- オートマチック車**
セレクトレバーが回以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

“0”から“I”にキーが回らないとき

ハンドルを左右に回しながらキーを回せば容易に回ります。



⚠ 警告

- 走行中はエンジンを止めないでください。
マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にするとキーが抜けることがあり、ハンドルがロックされ、思わぬ事故につながります。

🎓 知識

- エンジンを止めた状態で“1”または“II”のまま、長時間放置しないでください。
バッテリー容量が低下し、エンジンがかからなくなることがあります。
- 車から離れるときは、バッテリー保護のため必ず“0”にしてください。

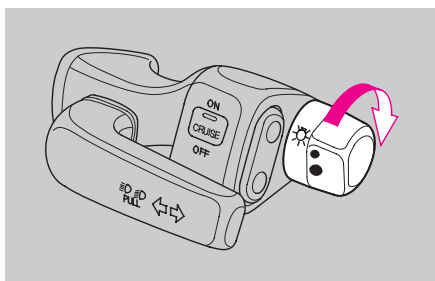
●キー抜き忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが“1”または“0”でキーを差し込んだまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りキーの抜き忘れを知らせます。

ライトスイッチ

●ライトの点灯・消灯

エンジンスイッチの位置に関係なく次のように点灯、消灯します。



スイッチの位置	●	●
ヘッドライト	—	点灯
計器類照明灯 車幅灯・尾灯 番号灯	点灯	点灯

🎓 知識

- エンジンが止まっている状態で、ライト類を点灯したままにしないでください。バッテリーあがりの原因となります。

●ライト消し忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが“1”または“0”で、ライトを点灯したまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りライトの消し忘れを知らせます。

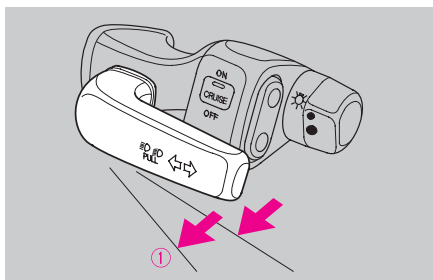
●ヘッドライトの上向き(ハイビーム)と下向き(ロービーム)の切り換え

レバーを①の位置まで引くと上向き下向きの切り換えができます。上向きのときは、メーター内の表示灯が点灯します。

ヘッドライトの上向き(ハイビーム)

表示灯

→76ページ

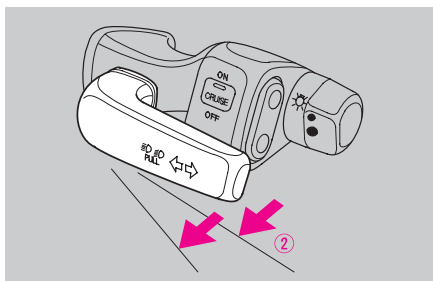


🎓 知識

- 対向車のあるときや市街地走行など、上向きが不適切なときは下向きにします。

●追越合図(パッシング)

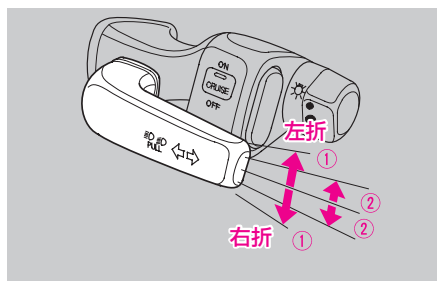
レバーを軽く②の位置まで引いている間、上向きが点灯します。





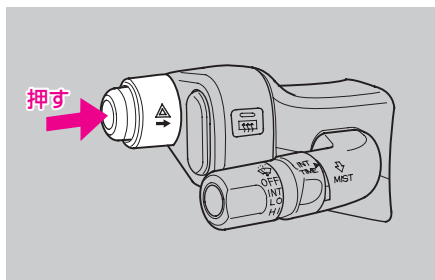
方向指示器(ウィンカー)スイッチ

エンジンスイッチが「II」のとき使えます。ふだんは①の位置で使います。この位置ではハンドルの切り角が小さいときには戻らない場合もあります。戻らないときは手で戻してください。車線変更などでは②の位置に軽く手で押さえながら使います。



非常点滅表示灯(ハザード)スイッチ

スイッチを押すとすべての方向指示器のランプが点滅します。故障でやむをえず路上駐車するとき使います。もう一度スイッチを押すと、点滅は止まります。



知識

- 非常時にのみお使いください。完全充電の新しいバッテリーでも約2時間以上使うとバッテリー容量が低下し、エンジンの始動ができなくなります。

ワイパー／ウォッシャー スイッチ

⚠ 注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。
ウォッシャー液が凍りついて視界のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- 空ぶきをしないでください。ガラス面に傷をつけたり、ブレード(ゴム部)を傷めたりします。
- ウォッシャー液が出ないときはウォッシャースイッチを切ってください。
ウォッシャー液がないまま動かすとポンプの故障の原因となります。
- 寒冷時、ブレード(ゴム部)がガラス面に張りつくことがありますのでヒーターでフロントガラスを暖めてください。
凍りついたまま動かすとブレード(ゴム部)を傷めたり、ワイパーモーターの故障の原因となります。

デフロスター →148ページ

🎓 知識

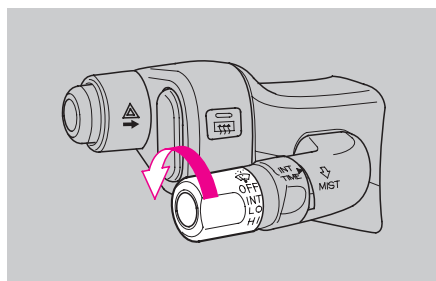
- ワイパーを作動中にガラスに雪などがたまりワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してワイパースイッチを“OFF”、エンジンスイッチを“0”または“1”にしてワイパーが作動できるように雪などの障害物を取り除いてください。
- ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。
モーターの負荷が大きい状態が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まることがあります。
数分ほどすると、ブレーカーが復帰して通常通り使用できるようになります。



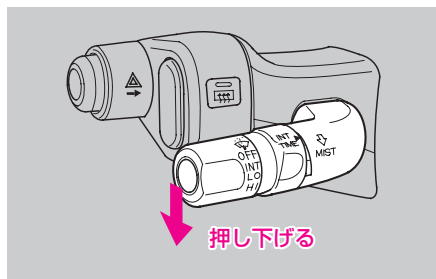
エンジンスイッチが“II”のとき使えます。

●フロントガラス

ワイパースイッチ



- OFF …………… 停止
- INT(間欠) …………… 雨量の少ないとき
- LO(低速) …………… 普通雨量のとき
- HI(高速) …………… 雨量の多いとき



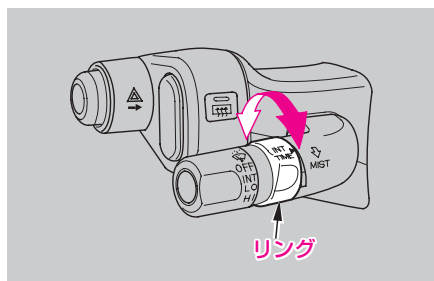
MIST ……………
 レバーを押し下げている間、高速で作動します。
 霧や小雨のときなどに使うと便利です。

間欠時間の調節

ワイパーの間欠作動の間隔を調節できます。



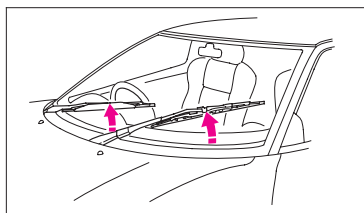
間隔のセットはリングを回して行います。



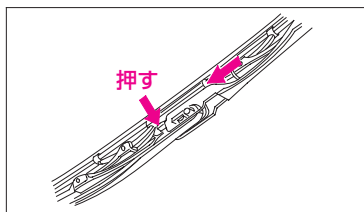
知識

- ワイパーブレードラバーを交換するときはワイパースイッチを“ON”にしエンジンスイッチを“II”にして、ワイパーを動かします。

ワイパーアームが上がった位置でエンジンスイッチを“0”にし、ワイパーアームを持ち上げます。

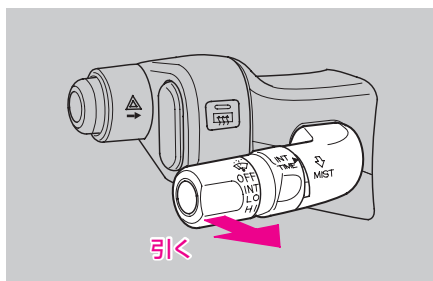


ワイパーブレードをアームから取り外して交換します。



ウォッシャースイッチ

レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射します。レバーを引いている間はワイパーが作動し、レバーを離れた後さらに2～3回作動します。



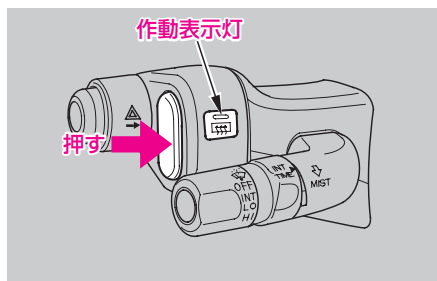


リヤデフロスタースイッチ

リヤガラスを暖め、曇りを取ることができます。



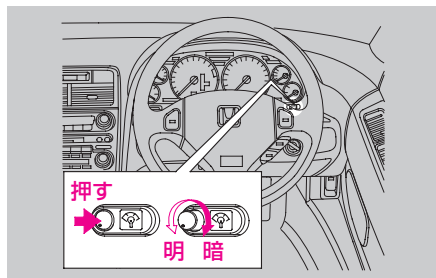
エンジンスイッチが“II”のときスイッチを押すと“ON”になり、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと“OFF”になり、作動表示灯は消灯します。



知識

- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたら“OFF”にしてください。“ON”のままであっても、約25分経過後自動的に“OFF”になります。また、エンジンの回転が低いとき長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。
- リヤガラスの内側に電熱線が装着されています。電熱線は傷つきやすいので清掃のときは電熱線に沿ってやわらかい布でふいてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。

イルミネーション コントロールツマミ



ライトスイッチが“OFF”以外のとき、ツマミを回すとメーター照明灯の明るさが調節できます。

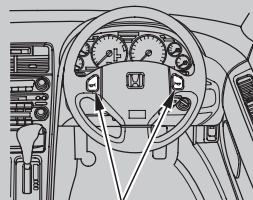


ツマミは押してとび出した状態で調節します。
もう一度押すと、元の位置にもどります。
夜間、車外の明るさに応じて調節してください。

ホーンスイッチ

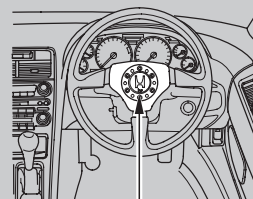
ハンドルにあるスイッチを押すとホーンが鳴ります。

SRSエアバッグシステム装備車



ホーンスイッチ

SRSエアバッグシステム非装備車



ホーンスイッチ

運転のしかた

エンジンのかけかた

⚠ 警告

- バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動をしないでください。
バッテリーが破裂するおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

⚠ 注意

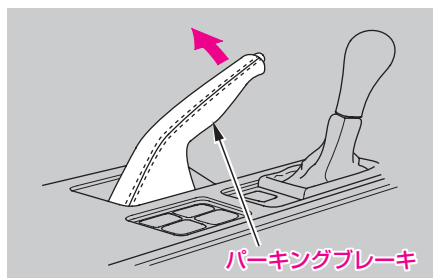
- エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

🚗 アドバイス

- 排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのおいが消えない場合は、排気系や燃料系の異常が考えられますので、必ずホンダベルノ店で点検を受けてください。

- ① パーキングブレーキがかかっていることを確認します。

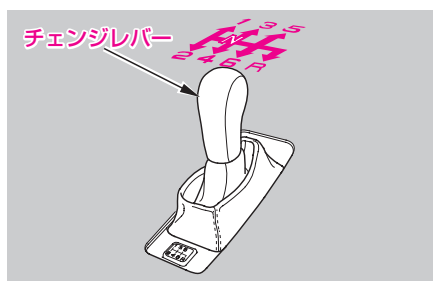
パーキングブレーキの操作 →99ページ



- ② **マニュアル車**

チェンジレバーをN(ニュートラル)にしてください。

チェンジレバーの操作 →100ページ



**オートマチック車**

セレクトレバーがHの位置にあることを確認してください。

セレクトレバーの操作 →102ページ

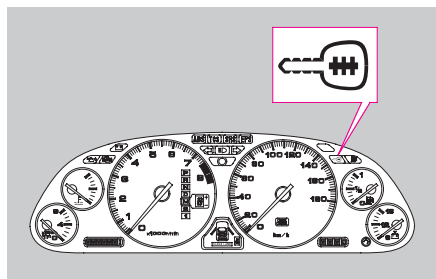


③ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
マニュアル車は、クラッチペダルもいっばいに踏み込んで行います。

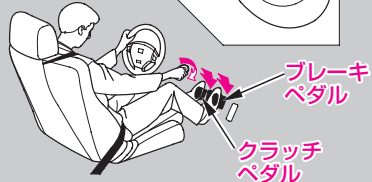
④エンジンスイッチを“II”に回してから、
メーター内のイモビライザーシステム
表示灯が消灯するのを確認します。

イモビライザーシステム →34ページ
イモビライザーシステム表示灯

→77ページ



⑤アクセルペダルを踏まずに、エンジン
が始動するまでスターターを回してく
ださい。

オートマチック車**マニュアル車**

・クラッチ・スタートシステム

マニュアル車

思わぬ事故を防ぐため、クラッチペダルをいっばいに踏み込まないとスターターが回らないようになっています。

知識

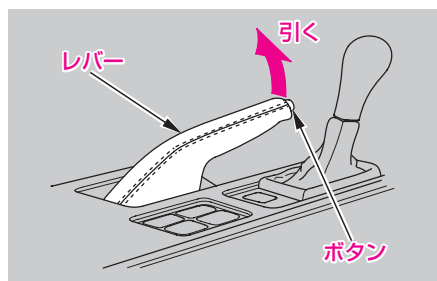
- 消費電力の大きいライト類、エアコン、リヤデフロスターのスイッチは“OFF”にした方が始動は容易になります。
- バッテリーあがりを防ぐため、スターターは連続して15秒以上回さないでください。15秒回してもエンジンが始動しなかったときは、一度キーを“1”に戻して10秒以上待ってから再始動してください。
- エンジンがあたたまっていると始動に時間がかかることがあります。アクセルペダルを半分程度踏み込んだまま、スターターを回してください。エンジンが始動したらアクセルペダルを徐々に戻してください。
- エンジン始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転が高くなりますが、自動的に適正回転に下がります。
- エンジン始動時や、エンジンが冷えているときに、エンジンルームからモーター音等が聞こえることがあります。これは排気ガス制御システムのエアープンプが作動している音で異常ではありません。



パーキングブレーキ

かけるとき

ボタンを押さずにレバーをいっぱいに引きます。



後輪ブレーキがききます。

知識

- 駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。

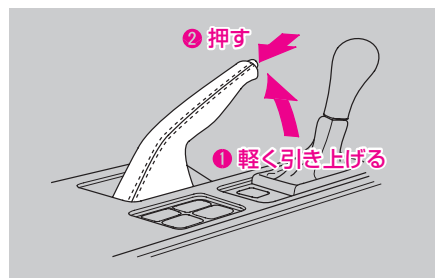
寒冷時のパーキングブレーキの

取り扱い

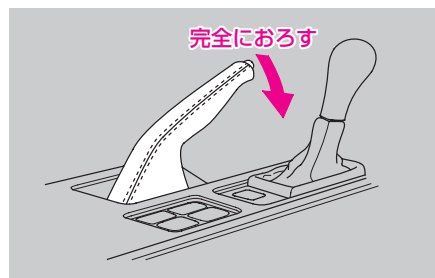
→244ページ

解除するとき

- ① レバーを軽く引き上げながら、ボタンを押します。



- ② ボタンを押したまま、レバーを下に完全におろします。



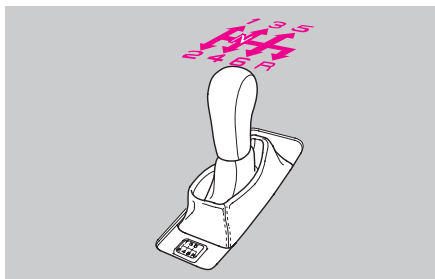
注意

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

チェンジレバーの操作

マニュアル車

●チェンジレバー



変速するときは、クラッチペダルをいっぱい踏み込んで、チェンジレバーを確実に操作します。

🎓 知識

● type S

この車のシフトノブはチタン製です。

- ・炎天下に長時間駐車すると、シフトノブが熱くなることがあります。
- ・外気温が低いときは、シフトノブが冷たくなることがあります。

Rに入れるとき

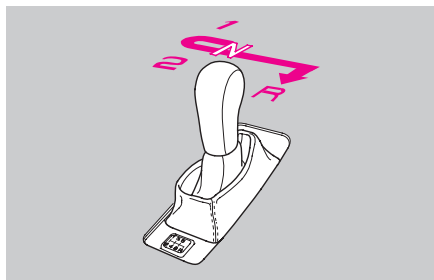
停車してからRに入れてください。

🚗 アドバイス

- 車が完全に止まらないうちはRに入れないでください。
トランスミッション破損の原因となります。

・Rに入らないとき

誤操作を防ぐため、Rへは一定車速以上では入らないようになっています。停車してもRに入らないときは、チェンジレバーを一度Nへ戻し、1、2側に倒してからRに入れてください。



- 上記の操作をしてもRに入らないときは
- ①パーキングブレーキをかけてエンジンスイッチを“1”または“0”にします。
 - ②クラッチペダルを踏んで、チェンジレバーをRに入れます。
 - ③クラッチペダルを踏んだまま、エンジンを始動します。

🚗 アドバイス

- 停車してもRに入らない場合は、故障が考えられますので、すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。



●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各チェンジレバー位置での速度範囲を参考に、シフトダウンしてください。

チェンジレバーの位置	速度範囲
1	0～65km/h
2	20～100km/h
3	25～130km/h
4	35～170km/h
5	45km/h～
6	55km/h～

⚠注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。シフトダウンする際の車速には十分注意してください。

🚗アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

限界回転数……………8,000rpm

🎓知識

- 法定速度を守って走行してください。
- 馴らし運転を十分に行ってください。1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け、5,500rpm以下でのご使用をおすすめします。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じる場合がありますが、異常ではありません。

セレクトレバーの操作

オートマチック車

●それぞれの位置のはたらき

P

パーキング

駐車およびエンジンを始動する位置。
キーを抜く位置。

知識

- セレクトレバーが回以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

R

リバース

車を後退(バック)させる位置。
ブザーが鳴り、セレクトレバーが回に入っていることを運転者に知らせます。

N

ニュートラル

中立位置。
(エンジン始動できますが、安全のため回で行ってください。)

D

ドライブ

通常の走行をする位置。
(1速から4速まで自動的に変速されます。)



サード
マニュアル
モード

上り坂、下り坂に使う位置。
マニュアルモードとして、シフトスイッチを使って1速から4速までの各ギヤを手動で変速する位置。

2

セカンド

エンジンブレーキが必要なときや、雪道などの滑りやすい路面での発進に使う位置。
(2速のままに変速されません。)

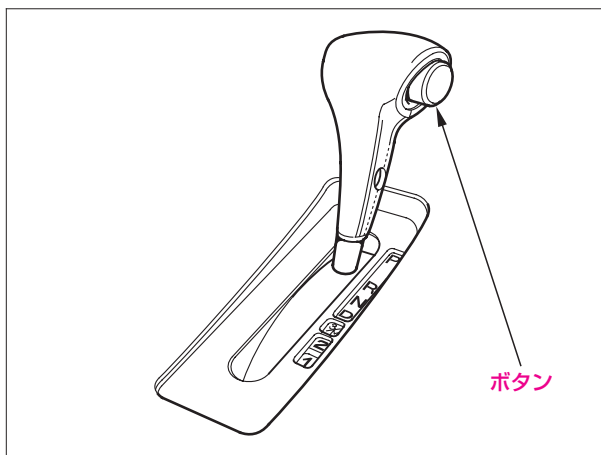
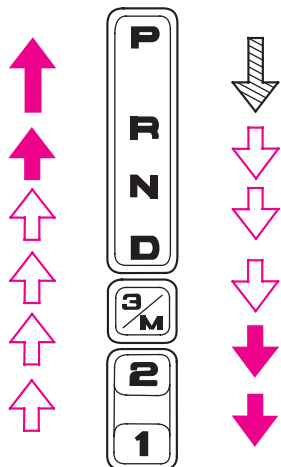
1

□一

強力なエンジンブレーキが必要なときに使う位置。
(1速のままに変速されません。)



●セレクトレバーの動かしかた



ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押してレバーを操作します。



ボタンを押さずにレバーを操作します。



ボタンを押してレバーを操作します。

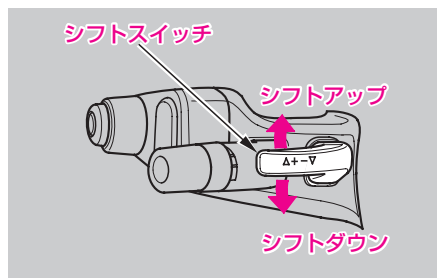
🎓 知識

- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
- 回るときは、ボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチが“1”または“0”のときは、ブレーキペダルを踏んでも回から他の位置に切り換えられません。
- いつもボタンを押して操作すると意に反してP⇄R⇄N⇄D⇄に入れてしまうおそれがあります。

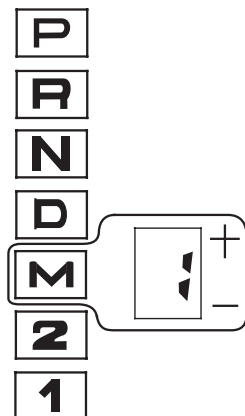
⇄の操作は、ボタンを押さずに動かす習慣をつけてください。

●マニュアルモード

ステアリングコラム左側にあるシフトスイッチを使ってハンドルから手を離さずに手で変速できます。図 レンジのときに、スイッチを上動かすとシフトアップ(高速ギヤに変速)します。スイッチを下動かすとシフトダウン(低速ギヤに変速)します。



マニュアルモードにすると、メータ内にあるセレクトポジション表示灯の横にギヤの位置を表示します。






🎓 知識

- シフトスイッチの操作1回で、ギヤが1段ずつ変速します。連続して操作したときは、ギヤを連続して変速します。シフトスイッチを操作したままでは、連続変速しません。続けて変速するときは、一旦シフトスイッチを戻してから操作してください。

🎓 知識

- 車速によっては、次のようになります。
 - ・自動的に変速することがあります。また、停止時は自動的に1速になります。
 - ・各ギヤの速度範囲を超えている場合などは、スイッチを操作しても変速しないことがあります。
 - ・2速から1速へギヤを落としたとき、下記の場合変速されずメーター内の表示灯が“1”で点滅します。
 - ・車速が50km/h以上のとき
 - ・車速が17～50km/hでアクセルをまったく踏み込んでいないとき(全閉時)表示灯が“1”で点滅している間(最大約5秒間)に車速が50km/h以下になり再加速のためにアクセルペダルを踏み込むと、1速に変速され表示灯が“1”で点灯します。(マニュアルモードでの1速はエンジンブレーキがきかなくなるため、アクセルペダルをまったく踏み込んでいない時は、2速から1速へは変速しません。)
- レンジでは1速または2速で発進できます。

●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各セレクトレバー位置での速度範囲内で切り換えを行ってください。

セレクトレバーの位置	速度範囲		変速範囲
□	0 km/h～		1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4速(自動)
⊗	4速	32km/h	1 ↔ 2 ← 3 ← 4速(自動)
	3速	18km/h	
	2速	0～130km/h	1 ↔ 2 ↔ 3 ↔ 4速(手動)
	1速	0～70km/h	
②	0～130km/h		2速固定
①	0～70km/h		1速固定※

※：急激なエンジンブレーキによるショックを避けるため50km/h以上で□へ切り換えた場合は、一旦2速に入ります。



注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。シフトダウンする際の車速には十分注意してください。

アドバイス

- マニュアルモードでは2速以上は自動的にシフトアップしません。エンジン故障などの原因となりますので、限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。

限界回転数……………7,500rpm

知識

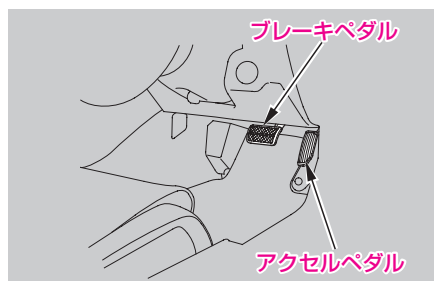
- 法定速度を守って走行してください。
- 馴らし運転を十分に行ってください。1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け、5,500rpm以下でのご使用をおすすめします。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じるがありますが、異常ではありません。

オートマチック車の 運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り換えを自動化したもので、その分、操作の負担が軽くなり、運転が楽になります。運転の基本を十分理解し、正しく操作する習慣をつけてください。

エンジンをかける前に

正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。



🎓 知識

- ペダルの踏みまちがいを防ぐため、ペダルの位置を実際に踏んでみて足におぼえさせておくことが重要です。
また、不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。
- 車を少し移動させるときにもペダルが確実に踏めるように、正しい運転姿勢をとりましょう。



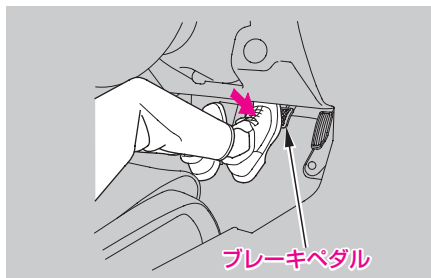
エンジン始動

- ①パーキングブレーキがかかっていることを確認。
- ②セレクタレバーが回に入っていることを確認。

🎓 知識

- ㊦でも始動できますが、安全のため駆動輪が固定される回で行ってください。

- ③ブレーキペダルを右足で踏んで始動。

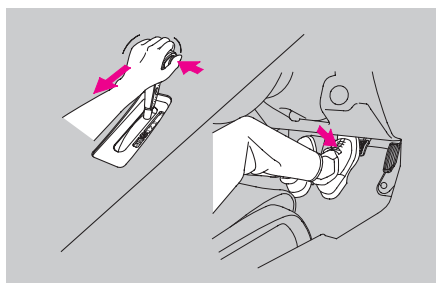


🎓 知識

- イモビライザーシステム表示灯が点滅しているとエンジンを始動することができません。
イモビライザーシステム
→34ページ
イモビライザーシステム表示灯
→77ページ
- 始動時にアクセルペダル操作が必要な場合は、始動後、右足でブレーキペダルを踏んでください。

発進

- ①右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを前進は回、後退は回に入れる。



⚠ 注意

- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故の原因になります。

- ②レバーの位置を目で再確認。
③パーキングブレーキをもどす。
④ブレーキ警告灯が消灯したことを確認。
(→80ページ)
⑤ブレーキペダルを徐々に離して、アクセルペダルをゆっくりと踏む。

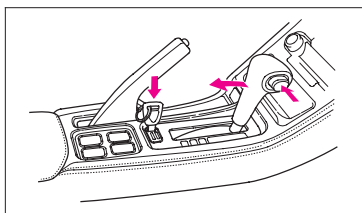
🎓 知識

- セレクトレバーをD以外に入れると、クリーブ現象により、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。ブレーキペダルを踏んでいてください。
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がリ、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでいてください。
- セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- マニュアル車は、発進時の速度を、クラッチ操作とアクセル操作を併用して調節しますが、オートマチック車は、アクセル操作のみで行うので、アクセル操作は慎重に行ってください。



知識

- 万一、ブレーキペダルを踏んでも回から他の位置に切り換えられないときは、エンジンスイッチからキーを抜き、シフトロック解除穴にキーを差し込み、押しながらレバーを操作してください。



急な坂道での発進

セレクトレバーの位置を目で確認し、

- ・パーキングブレーキをかけたままブレーキペダルを離し、
- ・アクセルペダルをゆっくり踏んで、
- ・車が動き出す感触を確認しながら、
- ・パーキングブレーキをもどして発進。

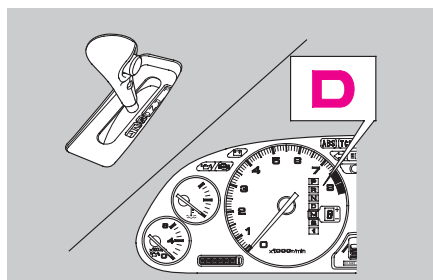
走行

走行中はセレクトレバーをDにしないでください。

知識

- Dにするとエンジンブレーキが全くなりかなくなるため思わぬ事故の原因になります。またDにしても燃費の差はほとんどありません。

通常走行



セレクトレバーをDにして走行します。アクセルペダルの踏み加減と走行速度により、1速から4速まで自動的に変速されます。

注意

- 高速走行中にDまたはDに入れないでください。急激なエンジンブレーキがかかり、タイヤがスリップしたり、エンジンが過回転になり故障することがあります。

・マニュアルモード走行

走行状況に合せ、シフトスイッチを使ってギヤの位置を選択して走行します。

マニュアルモード →104ページ

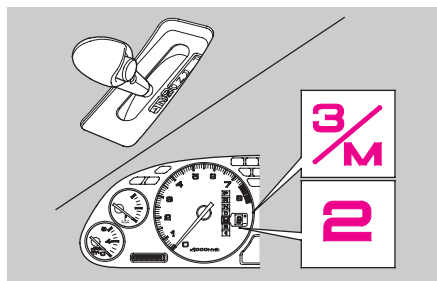


急加速したいとき

アクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンして急加速します。

上り坂走行

坂の勾配に応じ、セレクトレバーをⅢまたはⅡにしておく、エンジン回転数の変化が少ない、なめらかな走行ができます。



下り坂走行

下り坂を回のまま走行すると、エンジンブレーキのききが弱く、速度が出すぎてしまうことがあります。このようなときには、セレクトレバーをⅢまたはⅡにします。さらに強力なエンジンブレーキが必要なときには、Ⅰにします。

⚠ 注意

- フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱してききが悪くなるおそれがあります。長い下り坂や急な下り坂では、必ずエンジンブレーキを併用してください。

エンジンブレーキ →18ページ

🎓 知識

- マニュアルモードでの1速は、エンジンブレーキがきかなくなるため、強力なエンジンブレーキが必要なときは必ずセレクトレバーを操作してⅠで走行してください。

停車

- ① ①のままブレーキペダルをしっかりと踏んでおく。
必要に応じてパーキングブレーキをかける。



アドバイス

- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂で①①以外に入れた状態で、アクセルをふかしながら車を停止させたりしないでください。
トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。



知識

- 上り坂での停車はクリーブ現象で前へ進もうとする力よりも車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。
- セレクトレバーが①①以外でエアコンスイッチが入っている場合などは、エンジン回転数が断続的に高くなりクリーブ現象が強まります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏み込んでください。

- ② 停車時間が長くなるときはセレクトレバーを④に入れる。

⚠ 注意

- 停車中、空ぶかしをしないでください。
万一、セレクトレバーが①①以外
のとき、思わぬ急発進の原因になります。

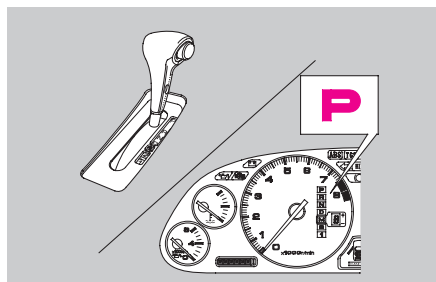
🎓 知識

- 停車後、再発進するときは、思い違いのないようセレクトレバーが④にあることを確認してください。
- セレクトレバーが④でもエンジンが冷えているときは、トランスミッションオイルの粘性により車がわずかに動き出すことがありますので、ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。



駐車

- ①車を完全に止める。
- ②ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかける。
- ③セレクトレバーをPに入れる。



知識

- 駐車の際は、セレクトレバーが必ずPに入っていることを確認してください。セレクトレバーがPのときは、駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。

- ④エンジンを止める。

注意

- エンジンをかけたままにしておくと、万一、セレクトレバーがP以外に入っていたとき、クリープ現象で車がひとりで動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み急発進するおそれがあります。

アドバイス

- 車が完全に止まらないうちにPに入れないでください。トランスミッション破損の原因となります。

知識

- 環境保護のため駐車時にはエンジンを止めましょう。

ほかに気をつけたいこと

⚠ 注意

- セレクトレバーは正しい位置で使用してください。
坂道などで、前進(Ⓚ、Ⓝ、②、①)の位置にしたまま惰性で後退したり、後退(Ⓡ)の位置にしたまま前進したりすると、エンジンが停止してブレーキの効が悪くなったり、ハンドル操作が重くなり、思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

車を少し移動させるとき

このような場合でも、正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

車を後退させるとき

この場合、体をうしろにひねった姿勢になり、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキペダルは確実に踏めるよう注意してください。

2.車を運転するときに

運転のしかた



A series of horizontal dashed lines for writing, starting from the top of the page and extending down to the footer area.

クルーズコントロール

タイプ別注文装備

高速道路または加速、減速の繰り返しの少ない自動車道などを定速で運転するとき、アクセルペダルを踏まなくても車速を一定に保つ装置です。

車速は、約30～100km/hの範囲で希望値に設定できます。(オートマチック車は回または図のとき設定できます。)

また、アクセルペダルを踏まずに車速を上げ下げしたり、一時的な減速後、もとの車速に自動的に戻すことができます。

警告

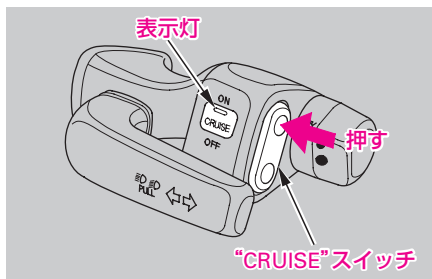
- クルーズコントロールはつぎのような道路では使用しないでください。
道路状況によっては、思わぬ事故につながります。
 - 混んでいて車間距離が十分とれない道路、急カーブのある道路(道路状況にあった速度で走行できません。)
 - 急な下り坂のある道路(エンジンブレーキが十分効かず、セットした速度を超えてしまうことがあります。)
 - 凍結や積雪などで滑りやすい道路(タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。)

知識

- 上り坂や下り坂では、条件により、一定車速を保てない場合があります。

●希望車速をセットし、定速走行をしたいときの操作

- ①“CRUISE”スイッチ上部を押して、クルーズコントロールを“ON”にします。“ON”のとき表示灯が点灯します。“CRUISE”スイッチ下部を押すと“OFF”になります。



エンジンスイッチを“1”または“0”にすると“CRUISE”スイッチは自動的に“OFF”になります。クルーズコントロールを使うときは、“CRUISE”スイッチ上部を押して“ON”にしてください。



②アクセルペダルを加減して希望の車速になったら“SET”スイッチを押して離すと、離れたときの車速にセットできます。

車速がセットされ自動定速走行になると、メーター内の表示灯が点灯します。

クルーズコントロール作動表示灯

→73ページ



知識

- 自動定速走行をしないときは、安全のため“CRUISE”スイッチを“OFF”にしておいてください。

●設定車速を上げたいときの操作 (自動定速走行中)

“RESUME・加速”スイッチによる

“RESUME・加速”スイッチを押し続けま
す。希望車速になったときスイッチを離
すと、離れたときの車速にセットされま
す。



アクセルペダルによる

アクセルペダルで加速し希望車速になっ
たとき“SET”スイッチを一度押して離す
と、離れたときの車速にセットされます。

●設定車速を下げたいときの操作 (自動定速走行中)

“SET”スイッチによるとき

“SET”スイッチを押し続けると減速します。希望車速になったときスイッチを離すと、離れたときの車速にセットされます。



ブレーキペダルによるとき

ブレーキペダルを踏んで希望車速に減速し、ブレーキペダルから足を離してから“SET”スイッチを押して離すと、離れたときの車速にセットされます。

●一時的に加速したいときの操作 (自動定速走行中)

アクセルペダルを踏み込むと車速が上がります。

アクセルペダルを離すともとの設定車速に戻り、定速走行ができます。

●設定車速を少し上げたいときの操作 (自動定速走行中)

“RESUME・加速”スイッチを瞬間的に(約0.5秒間)押し離します。そのとき車速に対して約1.5km/h増速します。

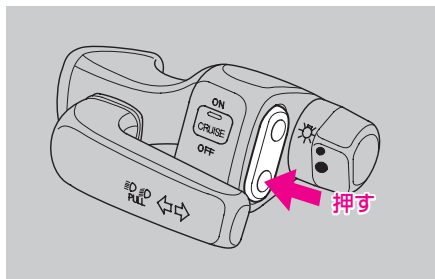
●設定車速を少し下げたいときの操作 (自動定速走行中)

“SET”スイッチを瞬間的に(約0.5秒間)押し離します。そのとき車速に対して約1.5km/h減速します。



●自動定速走行状態を解除したいとき

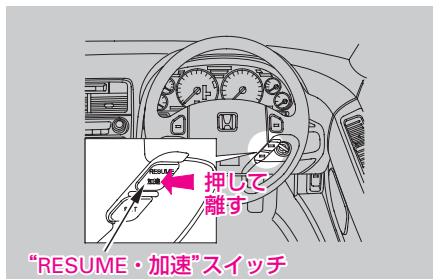
“CRUISE”スイッチ下部を押して“OFF”にしてください。



次の場合にも解除されます。

- ①ブレーキペダルを踏んだとき
- ②クラッチペダルを踏んだとき
(マニュアル車)
- ③セレクトレバーを②①またはNにしたとき
(オートマチック車)
- ④車速がセットされた速度より約16 km/h以上下がったとき
- ⑤車速が約30km/hより下がったとき

●解除前の設定車速に戻したいとき



前記①、②、③、④いずれかの操作で解除されても車速が約30km/h以上になっている場合は、“RESUME・加速”スイッチを押して離すと、もとの設定車速まで戻り自動定速走行ができます。

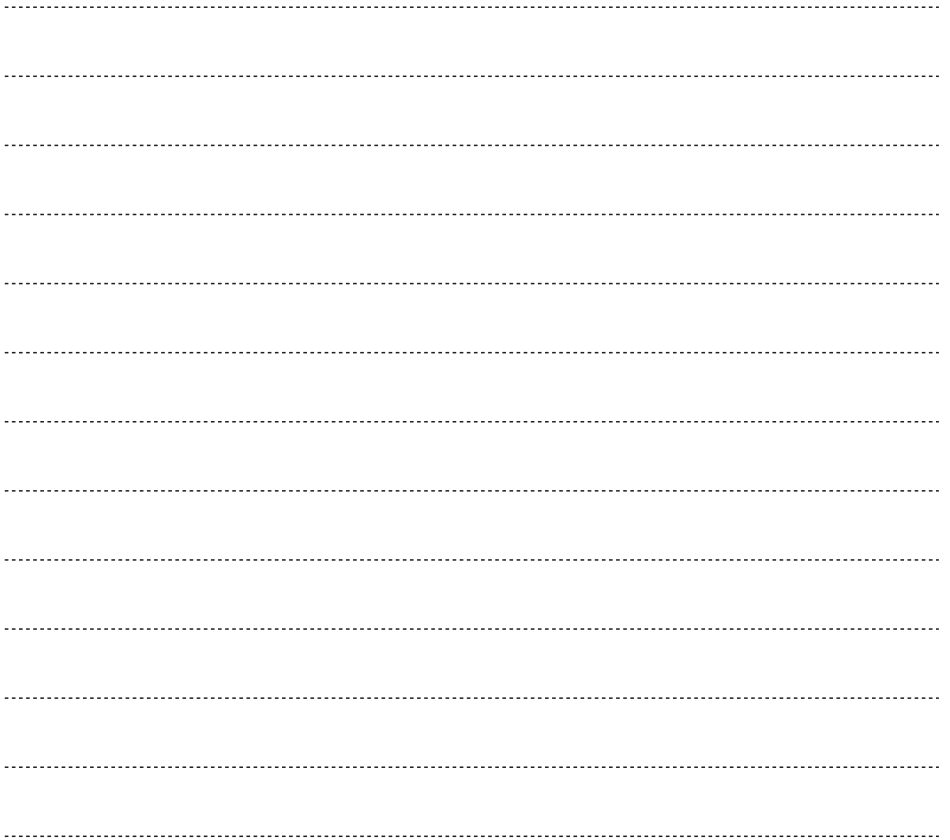
*RESUME(リジューム)とは英語で“回復する、復帰する”という意味です。

🚗 アドバイス

- マニュアル車は、ニュートラルのとき“SET”または“RESUME・加速”スイッチを押さないでください。エンジン回転が急激に上がりエンジンに悪影響を与えます。

🎓 知識

- “SET”または“RESUME・加速”スイッチを押しながら前記①、②、③、④いずれかの操作をしたときは“RESUME・加速”スイッチでの車速の復帰はできません。



3

安全装備

●SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムの

- しくみ …………… 124
- 作動するとき …………… 126
- 作動しないとき …………… 127

SRSエアバッグシステムの

- 効果を十分に発揮させる
ために …………… 128
- お子さまを乗せるときは …… 129
- 取り扱いについて …………… 130

●シートベルト

プリテンショナー

- シートベルトプリテンショナー
のしくみ …………… 132
- 取り扱いについて …………… 133

●アンチロックブレーキシステム (ABS)

- ABSのしくみ …………… 134
- 運転のしかた …………… 134
- 取り扱いについて …………… 135

●トラクションコントロール システム(TCS)

- TCSのしくみ …………… 136
- 運転のしかた …………… 136
- 取り扱いについて …………… 137

●その他の安全装備 …… 138

SRSエアバッグシステムのしくみ

●SRSエアバッグシステムとは

前方向からの衝突により、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和する装置です。

SRSエアバッグシステムはシートベルトに代わるものではありません。必ず、シートベルトを着用してください。

⚠警告

- SRSエアバッグシステム装備車であっても、必ずシートベルトを着用してください。シートベルトを正しく着用し、正しい乗車姿勢をとらないと衝突などのときSRSエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

*SRS：サプリメンタルレストRAINTシステム(Supplemental Restraint System)の略でシートベルトの補助拘束装置の意味

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃(正しくシートベルトを着用していてもハンドルに顔面があたり、けがをするような場合)を感知するとシステムが作動し、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和します。

⚠注意

- SRSエアバッグが膨らんだ直後は、SRSエアバッグ構成部品に触れないでください。構成部品が熱くなっているため、やけどなど思わぬけがをすることがあります。

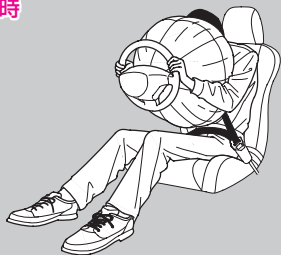


知識

- 車体が衝撃を十分に吸収できた場合、システムは作動しません。
- SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため、SRSエアバッグとの接触によりすり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼみます。視界をさまたげません。
- SRSエアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。ただし、残留物(カスなど)が目や皮膚などに付着したときには、できるだけ早く水で洗い流してください。
皮膚の弱いかなどは、まれに皮膚を刺激することがあります。
- SRSエアバッグは一度膨らむと再使用できません。
ホンダベルノ店で交換してください。

運転席用SRSエアバッグシステム

作動時



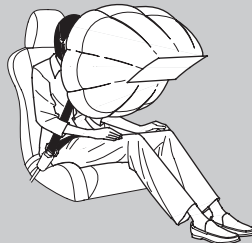
作動後



助手席用SRSエアバッグシステム

助手席用SRSエアバッグシステムは、同乗者がいなくても作動します。

作動時



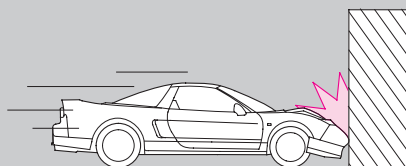
作動後



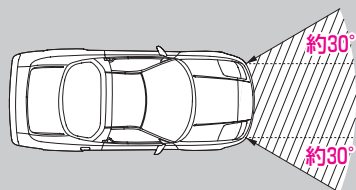
作動するとき

次のような場合に作動します。

20～30km/h以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき



車両の前方左右約30度以内の方向から強い衝撃を受けたとき

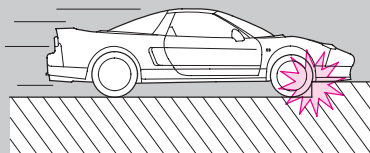


知識

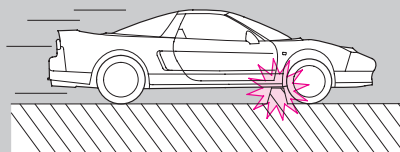
- 衝撃を吸収できるもの(車やガードレールのように変形するもの)に衝突した場合、SRSエアバッグが作動するときの速度(車速)は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。車両に衝撃を受けないように十分に速度を落とし障害物をさけて走行してください。

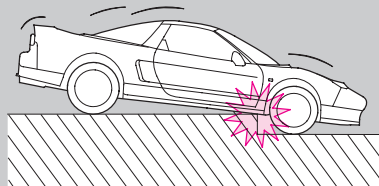
縁石などに衝突したとき



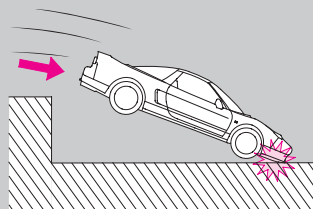
突起物などに衝突したとき



深い穴や溝などに落ちたとき



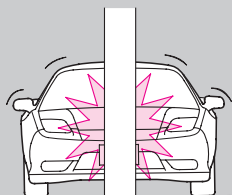
高いところから落ちたとき



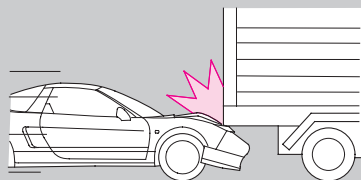


衝突の位置、衝撃の度合い、角度によって、作動しないことがあります。

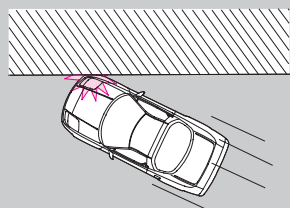
電柱、立木などへの衝突



トラックなどへの潜り込み



部分的な衝突や斜め方向からの衝突



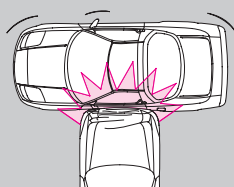
知識

- 車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小とSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

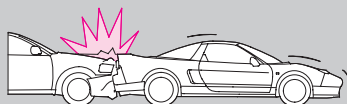
作動しないとき

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。

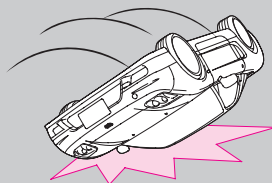
横方向からの衝突



後部からの衝突



横転または転覆



知識

- 事故の状況、形態によっては、SRSエアバッグが作動することがあります。

SRSエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために

●正しい乗車姿勢で

運転席

正しい運転姿勢(シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる状態)がとれる範囲で、シートを後ろに下げます。

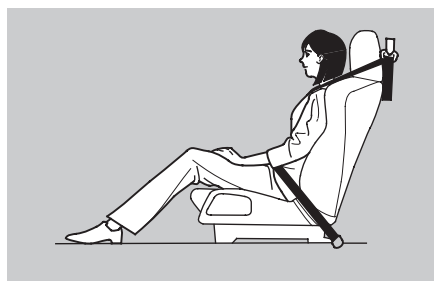


⚠ 警告

- ハンドルに顔や胸などを近づけていると、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席

シートを後ろに下げて深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにします。



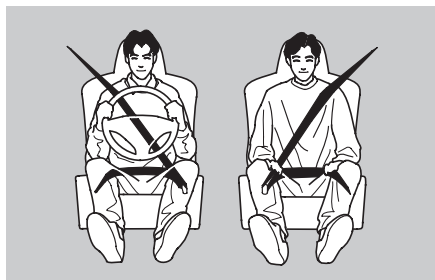
⚠ 警告

- インストルメントパネルに顔や胸などが近づかないようにシートを後ろに下げてください。また、インストルメントパネルに手や足などを置かないでください。
SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。



●シートベルトは必ず着用

このシステムは、シートベルトと併用することでその効果を発揮します。必ず、シートベルトを着用してください。



お子さまを乗せるときは

お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。

正しく着用できない小さなお子さまは、体格に合わせてチャイルドシートをお使いください。

●チャイルドシートの取り付けについて

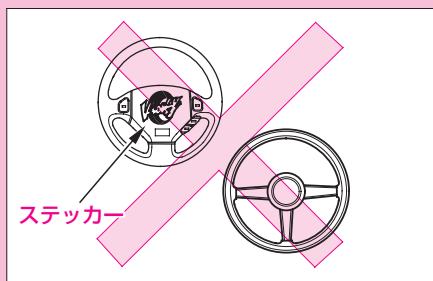
⚠ 警告

- SRSエアバッグシステム装備車には乳児用シートを取り付けしないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。
 - ・ やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。
 - ・ 乳児用シート、幼児用シート（後ろ向き装着）が必要なお子さまと一緒に乗るときは、これらのシートを取り付けられる別の車をお使いください。

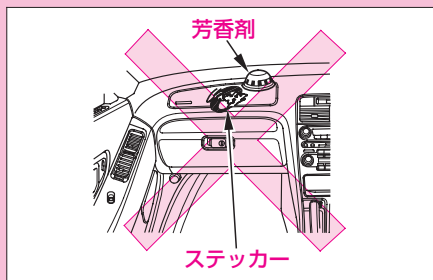
取り扱いについて

⚠ 注意

- SRSエアバッグの取り外し、分解などはしないでください。
不適切に扱おうと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。
- ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりすると正常に機能しなくなります。



- インストルメントパネル上面にステッカー類を貼ったり、アクセサリーや芳香剤など物を置かないでください。フロントガラスにアクセサリーなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。
また、SRSエアバッグと乗員との間にテレビなどの用品を取り付けたり、物を置いたりしないでください。
正常に機能しなくなったり、作動時にこれらの物が飛ぶことがあります。



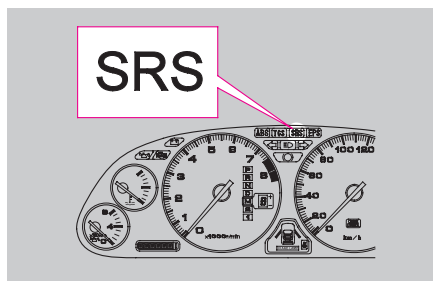


知識

- ハンドルまわり、インストルメントパネルまわりやセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよびダッシュボード周辺の板金塗装および修理をする場合は、SRSエアバッグシステムに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずホンダベルノ店にご相談ください。
- SRSエアバッグシステム装備車を廃棄するときは必ずホンダベルノ店にご相談ください。正しく取り扱わないとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。
- サスペンションの改造をしないでください。車高やサスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながります。(Honda純正品を除く)

●SRSエアバッグシステム警告灯

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
 必要なときにSRSエアバッグが膨らまないおそれがあります。

シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーのしくみ

●シートベルト プリテンショナーとは

前方向からの衝突により、シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高める装置です。

SRSエアバッグシステムと同じ条件で作動します。

SRSエアバッグシステム →124ページ

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃を感知するとシステムが作動し、シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高めます。



⚠注意

- シートベルトを着用するときは、必ず次のことをお守りください。守らないとプリテンショナーが十分に効果を発揮しません。
 - ・シートベルトを正しく着用してください。
シートベルト →64ページ
 - ・正しい運転(乗車)姿勢をとってください。
正しい運転姿勢 →56ページ

🎓知識

- シートベルトプリテンショナーは一度作動すると、再使用できません。作動すると、シートベルトを引き出すことも巻き取ることもできなくなります。ホンダベルノ店で交換してください。
なお、シートベルトを着用していても作動しますので、助手席側も同時に交換してください。



取り扱いについて

⚠ 注意

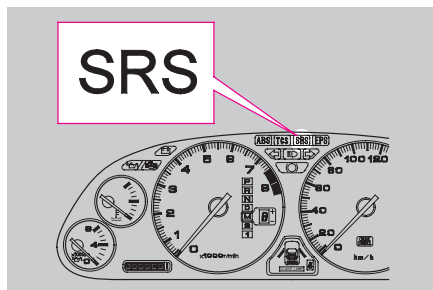
- シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしないでください。
不適切にあつかうと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。

🎓 知識

- シートベルト引き込み装置やセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよび修理をする場合は、プリテンショナーに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずホンダベルノ店にご相談ください。
- シートベルトプリテンショナー装備車を廃棄するときは、必ずホンダベルノ店にご相談ください。正しく取り扱わないとプリテンショナーとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。

● シートベルトプリテンショナー 警告灯(SRSエアバッグシステム 警告灯兼用)

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

🚗 アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
必要なときにシートベルトが引き込まれないおそれがあります。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

ABSのしくみ

●ABSとは

急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとする装置です。

●作動について

- ・ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これはABSが作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。



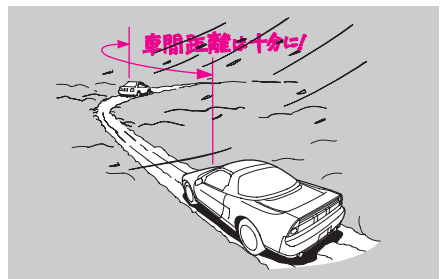
- ・低速(約10km/h以下)ではABSは作動せず、普通のブレーキと同じ作動になります。

📖 知識

- エンジン始動後や、エンジンが冷えているときの発進時に、フロントコンパートメントからモーター音等が聞こえることがありますが、これはシステムの動作チェックをしている音で異常ではありません。

運転のしかた

- ・この装置は制動距離を短くするためのものではありません。ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。
また、ABSが作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、ハイドロプレーニング現象が起こりやすい雨天時の高速走行などにおいても過信せず、安全運転に心がけてください。
- ・悪路、砂利道、深い新雪などの路面では、ABSの装備されていない車両に比べて制動距離が長くなる場合があります。
このような道路条件では速度は控えめにして車間距離を十分にとって運転してください。





取り扱いについて

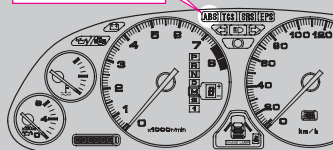
 知識

- タイヤは必ず指定サイズのものをお使いください。指定サイズ(外径)以外のタイヤを使用すると、ABSが正常に機能しなくなることがあります。

●アンチロックブレーキシステム (ABS)警告灯

メーター内に組み込まれており、ABSが異常のときに点灯します。

ABS



エンジンスイッチを“II”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。

 アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダベルノ店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないときなお、この場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。(ABSとしての作動はしません)

トラクションコントロールシステム (TCS)

タイプ別注文装備

TCSのしくみ

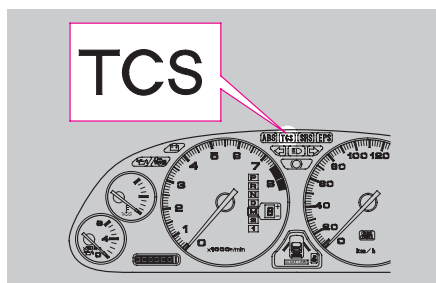
●TCSとは

滑りやすい路面などでの駆動輪(後輪)の無駄な空転を防止し、駆動力・操舵能力を確保しようとする装置です。

●作動について

この装置は、エンジンを始動すれば自動的に“ON”になります。

TCSが作動中は、メーター内のTCS警告灯が点滅します。



運転のしかた

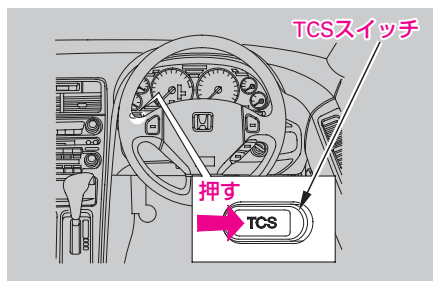
TCSには、積極的にブレーキをかける機能はありません。

TCSが作動していても、これを過信して無理な運転はしないでください。

- ・カーブ等の手前では十分に速度を落としてください。
- ・雪道、凍結路を走るときは、冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着し、ひかえめな速度で運転してください。

TCSを作動させたくないとき

エンジン始動後に、スイッチを押すとTCSが“OFF”になりメーター内の警告灯が点灯します。



スイッチを押すごとに“OFF”と“ON”をくり返します。

🎓 知識

- TCSが作動中には、スイッチを押しても“OFF”にすることはできません。

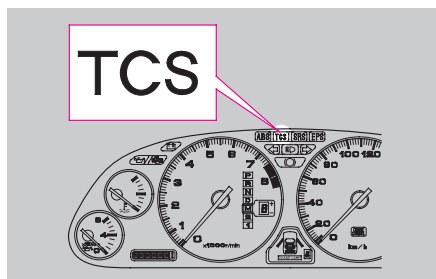


取り扱いについて

●トラクションコントロールシステム(TCS)警告灯

メーター内に組み込まれており、TCSが異常のときに点灯します。

また、TCSを“OFF”にしたときにも点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに点灯し、エンジン始動後に消灯するのが正常です。

🚗 アドバイス

- TCSが“ON”の状態では運転中に点灯した場合は、いったん安全な場所に停車し、エンジンを止めてください。
エンジン再始動後、一度点灯し、その後消灯していれば正常です。
消灯しないときや走行中再び点灯するときは、通常走行に支障はありませんが、お早めにホンダベルノ店で点検を受けてください。

🎓 知識

- エンジン始動時に、エンジン冷却水の温度が非常に低いときには自動的に“OFF”になることがあり、メーター内のTCS警告灯が点灯しますが、異常ではありません。この場合、エンジンを暖機している間に自動的に“ON”になります。

その他の安全装備

ほかに、次のような安全装備を採用しています。

●シフトロック装置

オートマチック車

セレクトレバーの誤操作防止を助けます。
(→23ページ)

●ハイマウントストップランプ

ストップランプを高い位置にも設置し、後方から見えやすくしています。

●シートベルト警告灯

シートベルトの未着用をランプで知らせ、ベルトの着用を促します。

(→82ページ)

●ドアビーム

側面から外力が加わったときに、ドアの変形を抑える効果があります。

●ロールオーバーバルブ

車が転倒したとき、燃料タンクからの燃料流出を防止します。

●難燃性材料使用の内装

フロアカーペットやシートなどには、燃え広がりにくい素材を採用しています。

4

ドライブを快適にする装備

●エアコン

吹き出し風の調節	141
エアコンインデックス	142
オートエアコン	144

●オーディオ

上手な使いかた	150
アンテナ	152
オーディオインデックス	154
AM/FMラジオ一体式	
カセットステレオ	156
CDチェンジャー	167

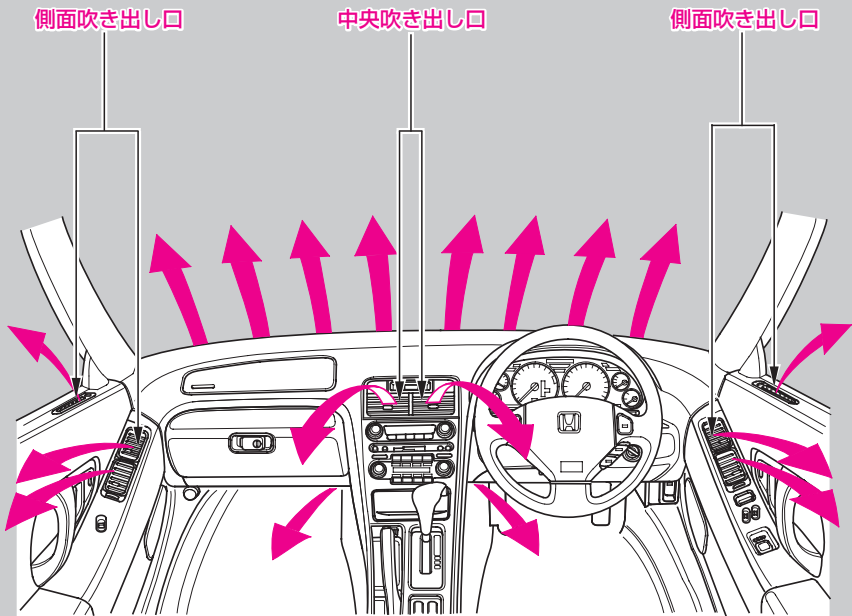
●セキュリティシステム

警報装置について	172
セットのしかた	174

●室内装備品

時計	176
室内灯	177
スポットランプ	177
照明灯	178
灰皿	178
シガレットライター	179
サンバイザー	180
小物入れ	181
カップホルダー	182

エアコン

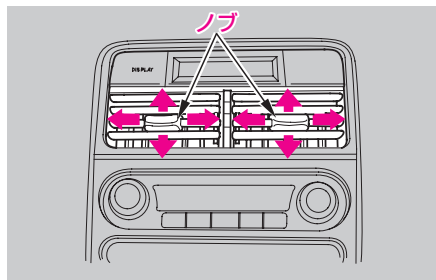




吹き出し風の調節

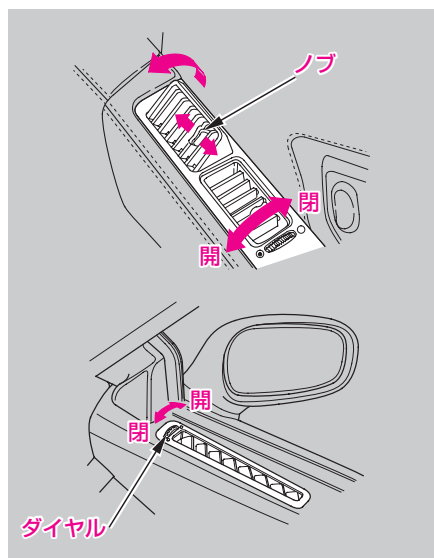
ノブを上下または左右に動かして、吹き出し風の向きを調節します。

・中央吹き出し口



・側面吹き出し口

送風が必要なときは、ダイヤルを“開”に、不要なときは“閉”にします。



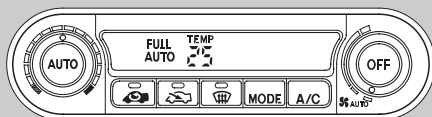
- ◎……………吹き出し口が開きます。
- ……………吹き出し口が閉じます。

知識

- 側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風がガラスに直接当たるよう両側の吹き出し口の向きを調節すれば、より早く曇りを取ることができます。

エアコンインデックス

オートエアコン



- オートエアコンを使うとき …………… 144
- マニュアルで使うとき …………… 146
- 前面／側面ガラスの霜や曇りを
取りたいとき(デフロスター) …… 148
- 急速に霜を取りたいとき …………… 148
- エアコンを常用しないとき …………… 149
- 温度感知装置 …………… 149

4. ドライブを快適にする装備

エアコン



A series of horizontal dashed lines for writing.

オートエアコン

●オートエアコンを使うとき

エンジンをかけた状態で使います。

温度調節ダイヤル

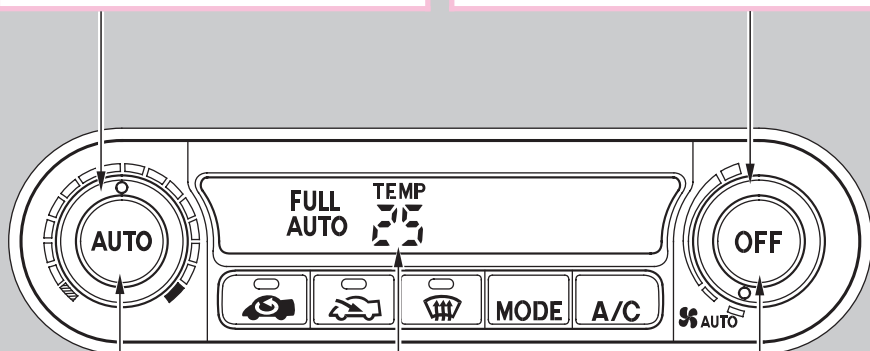
温度調節ダイヤルを回して温度を設定します。

温度を上げるとき…右へ回します。

温度を下げるとき…左へ回します。

ファンスピード切り換えダイヤル

ダイヤルを“AUTO”にすると風量が自動制御されます。



“AUTO”スイッチ

スイッチを押すと、オートエアコンが作動します。(表示灯“FULL AUTO”が点灯)

風量、吹き出し口の切り換え、エアコンの“ON/OFF”などが自動制御されます。

“OFF”スイッチ

スイッチを押すとエアコン、ファンの作動が停止します。

温度表示

設定温度を表示します。

表示温度は室温設定時の目安となります。



通常の使いかた

- ① ファンスピード切り換えダイヤルを“**AUTO**”にします。
- ② “**AUTO**”スイッチを押します。
- ③ 温度調節ダイヤルで室内の温度を設定します。

停止するときは“**OFF**”スイッチを押します。

知識

- 外気温によっては、冷風の吹き出しを防ぐため、オートエアコン作動後一定時間ファンが回転しないことがあります。
- 希望温度に設定したら、温度調節ダイヤルをむやみに動かさないでください。設定温度への到達時間が長くなることがあります。
- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。
- 炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。

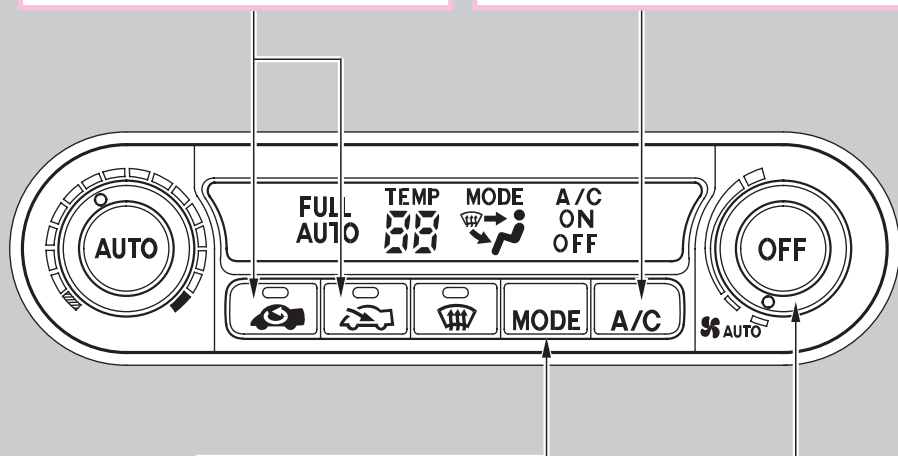
●マニュアルで使うとき

内外気切り換えスイッチ

スイッチを押して外気導入と内気循環を切り換えます。(それぞれの表示灯が点灯)
トンネルや渋滞地域などで汚れている外気を室内に入れたくないときは、内気循環にします。

A/C(エアコン)スイッチ

スイッチを押すたびにエアコンの“ON”“OFF”が切り換わります。表示部に、“A/C ON”“A/C OFF”が表示されます。
冷房や除湿暖房をするときは“ON”にします。



MODEスイッチ

スイッチを押すたびに吹き出し口が切り換わり(右ページ参照)、それぞれの表示灯が点灯します。

ファンスピード切り換えダイヤル

ダイヤルの位置	AUTO	
風量	自動切換	弱↔強

各スイッチ、ダイヤルを組み合わせることで使うことができます。

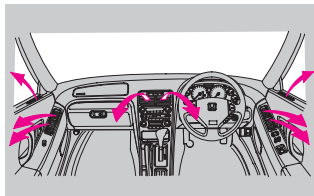
“FULL AUTO”(自動)で使用中でも触れたスイッチの機能が優先されます。このとき“FULL”の作動表示灯は消えますが、触れたスイッチの機能以外は自動制御されます。

“FULL AUTO”(自動)に戻すときは、AUTOスイッチに触れます。

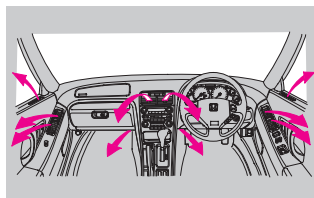


MODEスイッチ

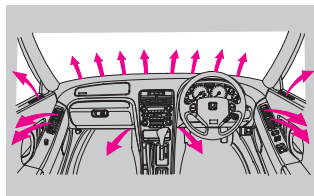
上半身に送風したいとき



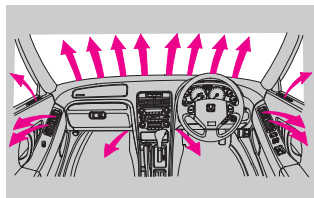
上半身、足元に送風したいとき




足元に送風したいとき




足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき

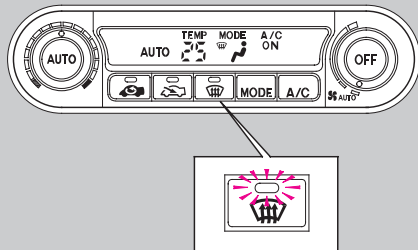
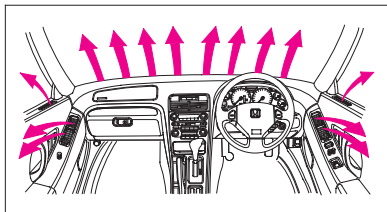


●前面／側面ガラスの霜や曇りを取りたいとき(デフロスター)

- ①ファンスピード切り換えダイヤルを“**AUTO**”にします。
- ②“**AUTO**”スイッチを押し、“**FULL AUTO**”にします。
- ③“”デフロスタースイッチを押します。

デフロスター

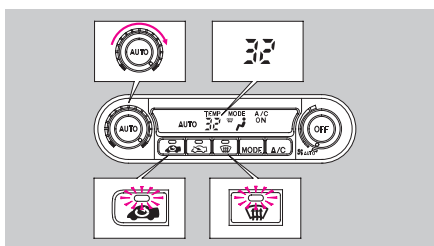
ガラスの曇り取りなどに使用します。“**FULL AUTO**”で作動中に“”デフロスタースイッチを押すと吹き出し口が前面および側面ガラスに切り換わります。



🎓 知識

- エアコンスイッチを入れているときは、設定温度を最大冷房付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあたるとガラスの外側が曇ることがあり、視界のさまたげになります。

急速に霜を取りたいとき



🎓 知識

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界のさまたげになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。



●エアコンを常用しないとき

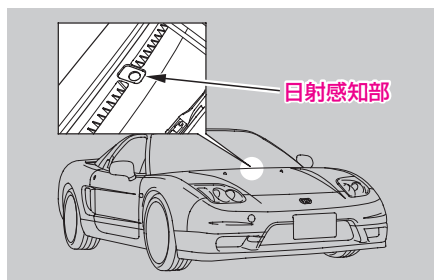
装置各部のオイルをきらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で数分間冷房または除湿暖房をしてください。

知識

- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合には、内気循環で室内を暖めてからエアコンスイッチを入れると作動します。

●温度感知装置

オートエアコンには、温度感知装置などのセンサーがついています。日射感知部や車内温度感知部の上に物を置いたり、水をかけたりしないでください。車内温度が設定温度とずれることがあります。



オーディオ

上手な使いかた

知 識

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では安全運転のさまたげとなります。また、運転中のオーディオ操作は、安全運転に支障がないようにしてください。
- 車内や車の近くで携帯電話や無線機を使うとオーディオに雑音が入ることがあります。

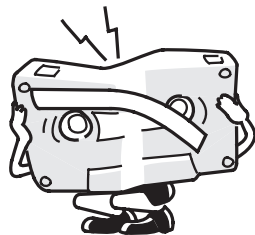
●ラジオについて

ラジオの受信については、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

●カセットについて

次のようなカセットテープは、故障の原因になりますので、ご使用はお避けください。

- ・ラベルがはがれかけていたり変形したカセットテープを使用すると、回転不良を起こしたりテープが取り出せなくなる場合があります。



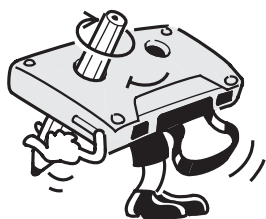
- ・120分以上のテープは非常に薄いため、伸びたり、プレーヤーに巻き付いたりする場合があります。

カセットテープは、変形したり録音が消えてしまわないようにほこり、直射日光や磁気のあるものの近くを避けてケースに入れ保管してください。





カセットテープは、プレーヤーにテープが巻き込まれたりしないように鉛筆などでたるみをとってから差し込んでください。



音が歪んだり高音が出にくくなった場合は、市販のクリーニングテープなどでプレーヤーの手入れをしてください。

●CDについて

ディスクの変形を避けるため、直射日光や高温多湿を避けてケースに入れ保管してください。

悪路走行などで激しく振動した場合、音とびすることがあります。

寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露(水滴)が生じ、正しく作動しなくなることがあります。その場合、ディスクを取り出し、換気または除湿をしてお使いください。

ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、音とびなどをすることがあります。

下記マークのついていないディスクおよび円形以外のディスクは使えません。

- ・オーディオトラック

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

- ・MP3トラック(ファイル)



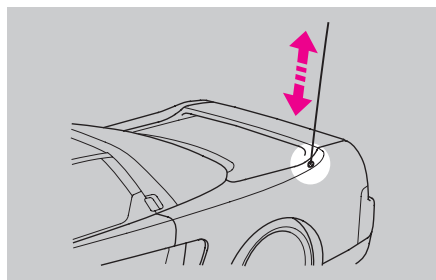
🎓 知識

- ディスクは必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因となります。

アンテナ

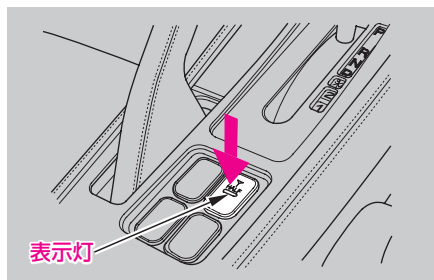
●オートアンテナ

エンジンスイッチが“I”または“II”のとき、ラジオのスイッチを入れるとアンテナが自動的に伸びます。ラジオのスイッチを切るとアンテナは自動的に収納されます。



ハーフスイッチ

このアンテナは長さを2段階に調節できます。通常は全部伸ばして使います。屋根の低い場所へはいるときなどにはハーフスイッチを押すと、表示灯が点灯し、約20cm縮みます。またハーフスイッチを始めから押しておく、ラジオの電源を入れたときも全部は伸びません。



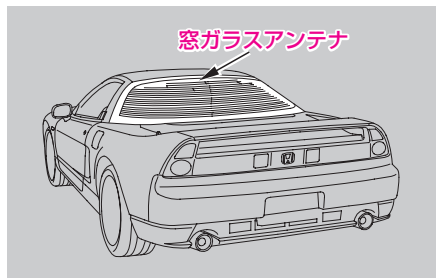
🎓 知識

- アンテナの付近に人がいないことを確認してから、アンテナを作動させてください。
- 屋根の低い場所、洗車場などではアンテナを伸ばしたままにしないでください。
アンテナを曲げたりすると伸縮性を損ないます。
- アンテナ表面が汚れていると作動性を損ない故障の原因となりますので、ときどき清掃してください。



●窓ガラスアンテナ

リヤガラス内側にアンテナ線があります。



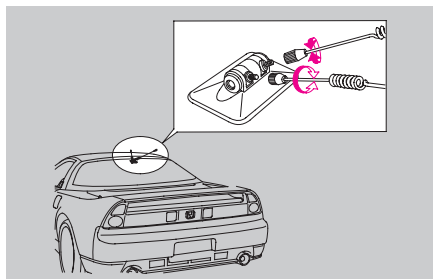
🎓 知識

- アンテナ線は傷つきやすいので、清掃のときはアンテナ線に沿って柔らかい布でふいてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。

●センターアンテナ

ナビゲーションシステム装備車

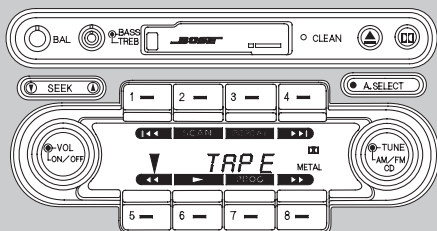
自動洗車機を使う場合や屋根の低い場所などでは、アンテナを外してください。



オーディオインデックス

ナビゲーションシステム装備車のテレビの取り扱いについては、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をご覧ください。

AM/FMラジオ一体式カセットステレオ



- 電源の入れかた …………… 156
- 音量調節のしかた …………… 156
- 音質、バランス調節のしかた …………… 157
- 明るさの切り換え …………… 157
- モードの切り換え …………… 157
- ラジオの使いかた …………… 158
- カセットプレーヤーの使いかた …… 160
- CDチェンジャーコントローラーの
使いかた …………… 163
- エラーコード …………… 166

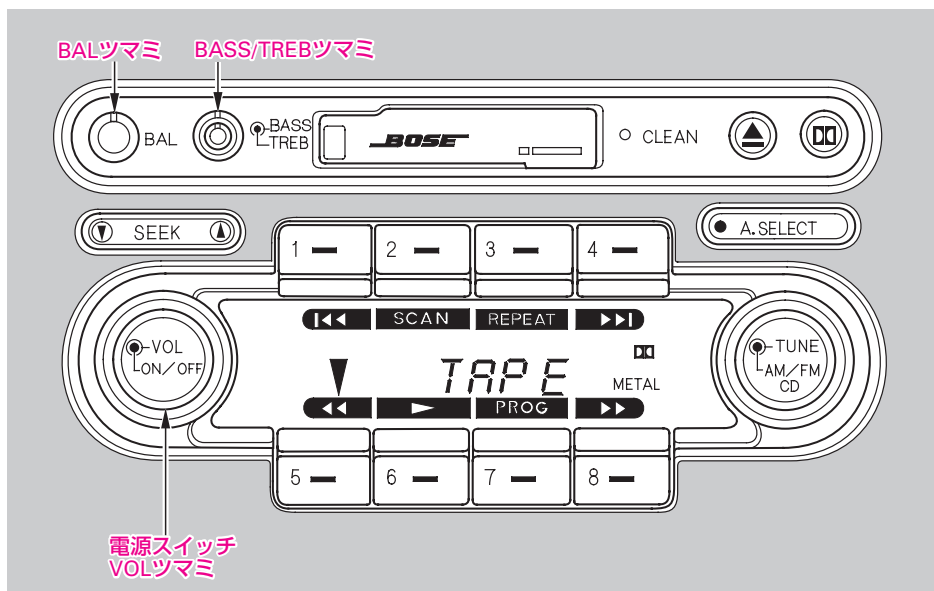
4. ドライブを快適にする装備

オーディオ



AM/FMラジオ一体式カセットステレオ

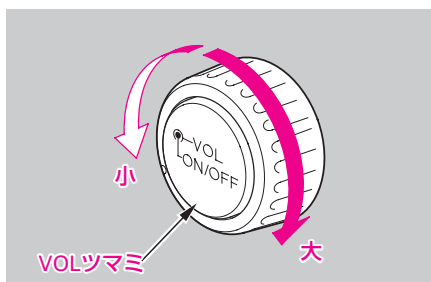
エンジンスイッチが“I”または“II”のときに使えます。



●電源の入れかた

電源スイッチを押して、電源を入れます。
押すたびに“ON” ↔ “OFF” になります。

●音量調節のしかた

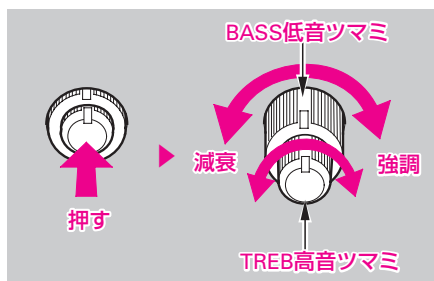




●音質、バランス調節のしかた

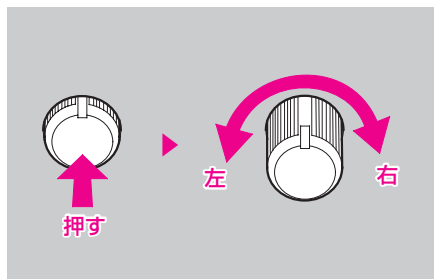
音質調節

BASS/TREBツマミを押してツマミを飛び出させて調節します。



バランス調節

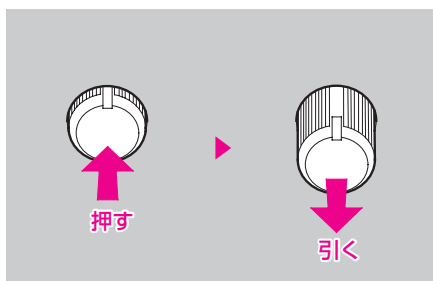
BALツマミを押してツマミを飛び出させて調節します。



●明るさの切り換え

表示部および機能しているスイッチの表示灯を残し、消灯することができます。

BALツマミを押してツマミを飛び出させたあと、ツマミを引きます。



●モードの切り換え

- ・AM/FM、CDスイッチ



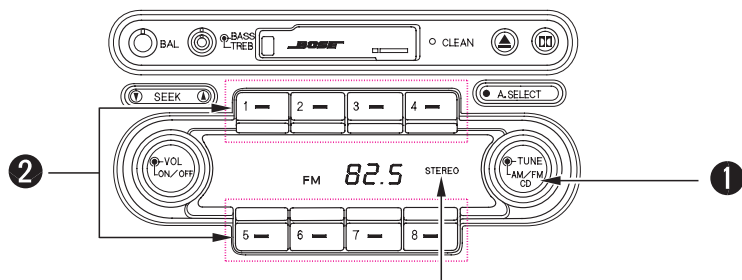
ラジオに切り換わります。

CDチェンジャーにディスクが入っているときは、CDチェンジャーに切り換わります。

知識

- ラジオ電源が入っているときにカセットテープを挿入口に差し込むとTAPEに切り換わり、TAPEを取り出すとラジオ放送に切り換わります。

●ラジオの使いかた ラジオ放送のききかた



FMステレオ放送が感度よく受信できたときは、“STEREO”が点灯します。

①ラジオに切り換え、バンドを選ぶ(AM/FM、CDスイッチ)
スイッチを押して、AM/FMを選びます。

②選局する(ワンタッチ選局スイッチ)

あらかじめ放送局をセットしておく、ワンタッチで選局できます。
AM/FM各8局まで記憶できます。

自動で放送局を記憶するには(オートセレクト)

放送局の違う地域へ出かけたときなど、セットされた放送局が聞けなくなった場合に操作します。

A.SELECTスイッチを押します。(表示灯が点滅)



表示灯

自動選局された電波の強い放送局が、周波数の低い順からワンタッチ選局スイッチにAM 8局、FM 8局まで自動的に記憶され表示灯が点滅から点灯に変わります。

解除するときは、スイッチをもう一度押します。解除すると、ワンタッチ選局スイッチの記憶は、オートセレクトをする前の状態に戻ります。

📖 知識

- 放送局が8局にみえない場合、残りのスイッチには何も記憶されません。記憶されていないスイッチを押すと、周波数が“0”と表示されます。



ワンタッチ選局のセットのしかた

- ①AM/FMスイッチでAM/FMを選びます。
- ②TUNEツマミ、SEEKスイッチで選局します。



または



- TUNEツマミを回すと、受信周波数が少しずつ変わります。(手動選局)
- SEEKスイッチを押すと、自動選局になり放送を受信すると止まります。

知識

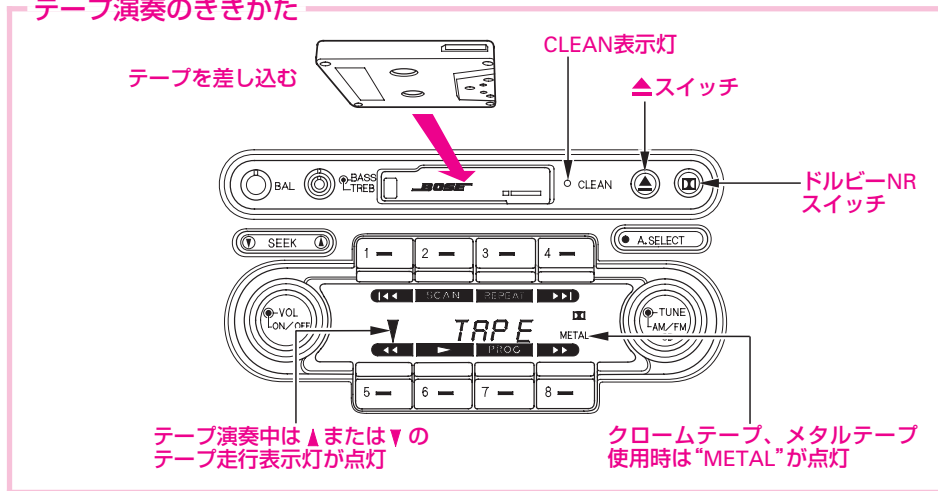
- 受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手動で選局してください。

- ③ワンタッチ選局スイッチのいずれか一つを“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押し続けます。

知識

- 一度電源が切れた場合(車両のバッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど)、記憶が消去されます。そのときは再度記憶操作をしてください。

●カセットプレーヤーの使いかた テープ演奏のききかた



走行方向を切り換えるとき

PROG(7)スイッチを押します。



テープの片面が終了したときは、自動的に切り換わりま
す。

テープを取り出すとき

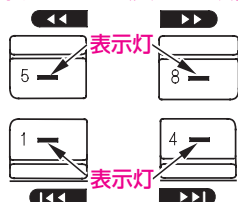
▲スイッチを押して、テープを取り出します。



カセットテープを取り出すと、ラジオ放送に切り換わり
ます。



早送り／巻戻し、頭出しをするとき



- ▶▶ (8) / ◀◀ (5) スイッチを押すと、早送り／巻戻しになり、表示灯が点滅します。
- ▶▶ (4) / ◀◀ (1) スイッチを押すと、頭出し(次の曲の最初／演奏中の曲の最初)になり、表示灯が点滅します。

早送り／巻戻しを止めるときは、▶ (6) スイッチを押します。

知識

- 曲間の無音部分が4秒以上ないときや雑音が入っているとき、曲の途中に無音部分があるときは、頭出し機能が働かないことがあります。

演奏中の曲を繰り返しきくとき(リピート)

REPEAT (3) スイッチを短く押します。(表示灯が点灯)



リピート機能を解除するときには、スイッチをもう一度押します。

ドルビーNRについて

ドルビーNR録音されたテープを再生すると、高域雑音の少ない演奏が楽しめます。



Ⓧ スイッチで、ドルビーNR再生およびその解除を行います。(ドルビーNR再生中は“Ⓧ”が点灯)

※ドルビーノイズリダクションシステムはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

ドルビー、DOLBY及びダブルD記号 Ⓧ はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの登録商標です。

ききたい曲を探すとき(スキャン)

SCAN(2)スイッチを押します。

(SCAN(2)スイッチ表示灯が点灯 / ▶▶(4)スイッチ表示灯が点滅)

各曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。



ききたい曲のところまでスイッチをもう一度押すと、スキャン演奏の機能は解除されます。

知識

- スキャン動作中、SCAN(2)スイッチ表示灯が点灯し、早送り中は▶▶(4)スイッチの表示灯も点滅します。
- 曲と曲の間に無音部分が4秒以上ないとき、雑音が入っているときまたは曲の途中に無音部分があるときは、スキャン機能が働かないことがあります。

知識

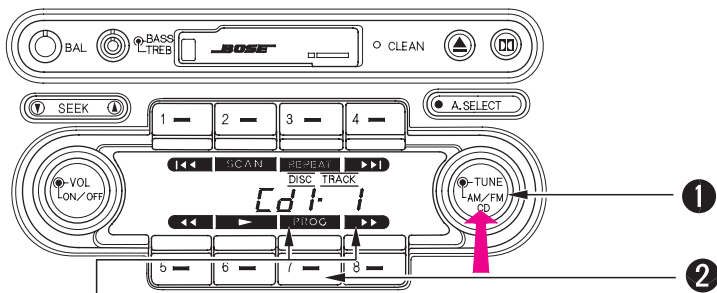
- テープの演奏時間が50時間を超えるとCLEAN表示灯が点灯します。市販のクリーニングテープなどでプレーヤーの手入れをしてください。CLEAN表示灯を3秒以上連続して押すと消灯します。



●CDチェンジャーコントローラーの使いかた

ディスク演奏のききかた

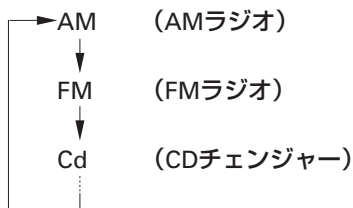
音楽CDやCD-R、CD-RWに記録したオーディオトラック、MP3トラック(ファイル)を再生できます。



演奏中はディスク、トラックナンバーを表示

①切り換える(AM/FM、CDスイッチ)

スイッチを押して、パネル表示部に“Cd”を表示させます。



②ディスクを選ぶ(PROG(7)スイッチ)

スイッチを押すたびに切り換わります。

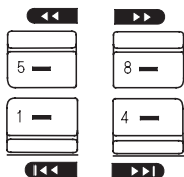
ディスクスイッチに続けて▶▶I(4)／I◀◀(1)スイッチを押すと、トラックナンバーの指定もできます。

📖 知識

- MP3(ISO*9660のLevel 1、Level 2、Joliet、Romeoで録音されたディスクで、ファイル名の最後に拡張子“mp3”が付いているもの)に対応しています。
- フォルダーの表示および選択はできません。
- CD-RおよびCD-RWは録音に使用したレコーダーやディスクの状態によって再生できない場合があります。
- セッションの追加が可能なディスクも再生できます。

※：ISO(国際標準化機構)

早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき



- **▶▶ (8) / ◀◀ (5)**スイッチを押し続けると、早送り／早戻しになります。
- **▶▶| (4) / |◀◀ (1)**スイッチを押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(演奏中、前の曲の頭出し)になります。

演奏中の曲を繰り返しきくとき(リピート)

REPEAT (3)スイッチを押します。(表示灯が点灯)



リピート機能を解除するときは、スイッチをもう一度押します。

1枚のディスクの曲順をランダムに演奏するとき

A.SELECTスイッチを押します。(表示灯が点灯)



ランダム演奏の機能を解除するには、スイッチをもう一度押します。

知識

- すべての曲をランダムに演奏し終わると、自動的に次のディスクに移り、ふたたびランダム演奏が開始されます。



ききたい曲を探すとき(スキャン)

SCAN(2)スイッチを押します。

各トラックの曲の始めを約10秒間つぎつぎに演奏します。



ききたい曲のところでSCAN(2)スイッチまたは▶(6)スイッチをもう一度押すと、スキャン演奏の機能は解除されます。

知識

- 別のディスクをスキャンしたいときは、PROG(7)スイッチを押して別のディスクを選んでからスキャン操作してください。

MP3トラック(ファイル)の演奏順序について

知識

- トラック(ファイル)はライティングソフトによってディスクに書き込まれた順序で再生します。
- 最大8段層、合計255トラック(ファイル)まで再生できます。
- ディスクの構成によっては読み込み時間が長くなることがあります。
- 100曲目以上のトラック再生時、実際の曲順とトラックナンバーの表示は異なって表示されます。
 - ・99曲目・・・99
 - ・100曲目・・・01
 - ・101曲目・・・02

●エラーコードについて

表示部にエラーコードが表示されたときは、表示されているプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。点検してください。

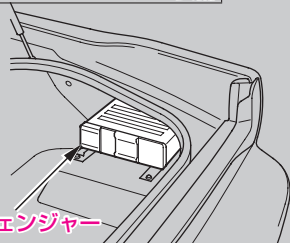
エラーコード	原因	処置
E-01	ディスクチェンジの動作の異常	ホンダベルノ店で点検を受けてください。
E-02	ディスクがトランクユニット内部に残っている	トランクユニットのイジェクトスイッチを押してディスクマガジンを取り出した後、空のディスクマガジンを挿入してディスクを回収します。
E-03 E-04 E-05	ディスクチェンジの動作の異常	数秒間表示されることがありますが、エラー表示が消えれば問題はありません。表示が消えないときは、ホンダベルノ店で点検を受けてください。
E-06	ディスクチェンジの動作の異常	トランクユニットのイジェクトスイッチを押して、ディスクマガジンを取り出します。エラー表示が消えれば問題はありません。表示が消えないとき、またはディスクマガジンが取り出せないときは、ホンダベルノ店で点検を受けてください。
E-07	ディスクマガジンがイジェクトできない(装着不良)	
---H	車内温度の上昇を検知	車内温度が適温に戻ると、エラー表示は消えます。
E-EE	チェンジャーと、CDプレーヤーの通信が不通	チェンジャーと、CDコンローラーの接続を確認してください。
----	チェンジャーに、ディスクマガジンが入っていない	チェンジャーに、ディスクマガジンを入れてください。



CDチェンジャー

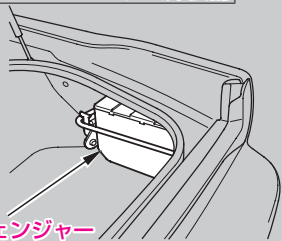
CDチェンジャーは、トランクルーム内右側にあります。

ナビゲーションシステム装備



CDチェンジャー

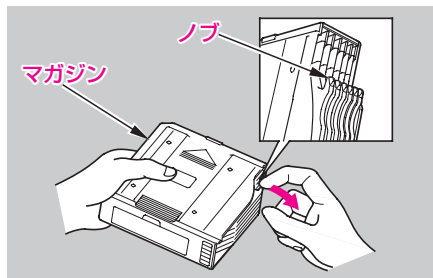
ナビゲーションシステム非装備



CDチェンジャー

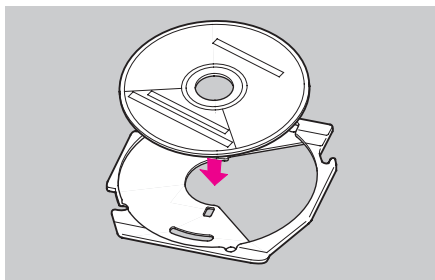
●トレイの取り出し

ノブを引いて取り出します。

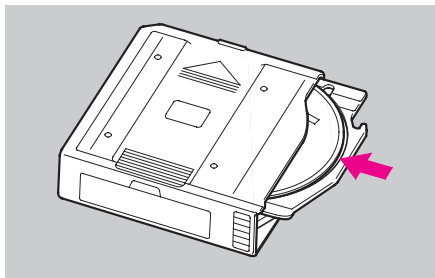


●ディスクのセット

①ディスクのラベル面を上にしてトレイの上に置きます。

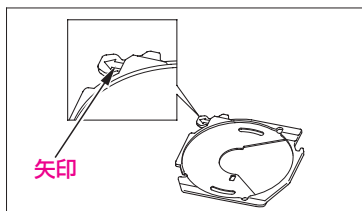


②トレイを“カチッ”と音がするまでマガジンに押し込みます。



🎓 知識

- マガジンに挿入するときは、トレイについている矢印の向きに合わせて挿入します。



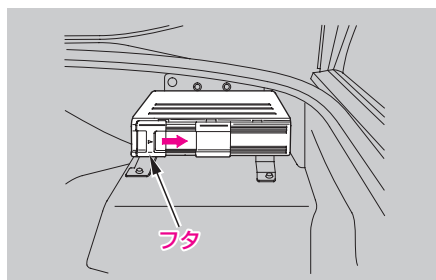
- トレイは必ず6枚挿入してください。ディスクなしの場合もトレイのみ挿入してください。
- トレイ挿入時にはマガジン内の左右の段がずれないようにしてください。



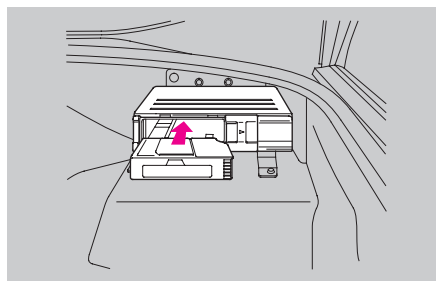
●マガジンのセット・取り出し

ナビゲーションシステム装備車

- ①トランク内のCDチェンジャーのフタを開けます。

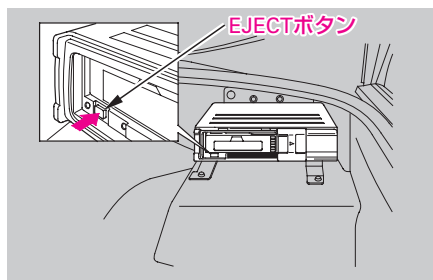


- ②矢印のついている面を上にして、マガジンをチェンジャーに挿入します。
“カチッ”と音がするまでマガジンを押し込みます。



- ③CDチェンジャーのフタを閉めます。

マガジンを取り出すときは、フタを開けてEJECTボタンを押します。

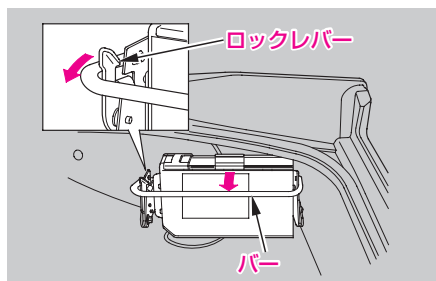


🎓 知識

- ディスク演奏中にエンジンスイッチを“0”にした場合でも、EJECTボタンを押せばマガジンを取り出すことができます。

ナビゲーションシステム非装備車

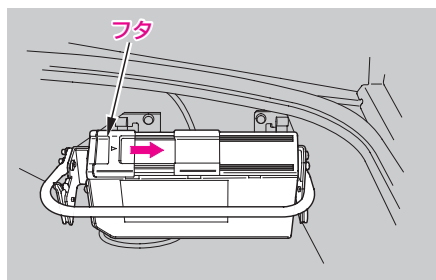
①バーを持ちながらロックレバーを手前に引いて、CDチェンジャー本体を手前に倒します。



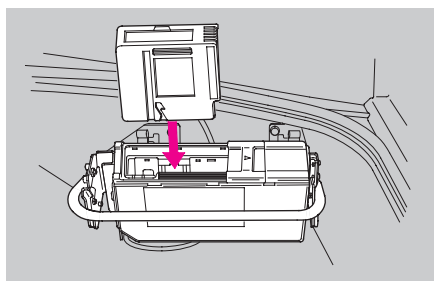
知識

- バーおよびロックレバーは熱くなっていることがありますので、取り扱いには気をつけてください。

②CDチェンジャーのフタを開けます。



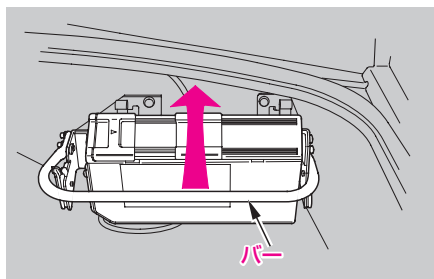
③図のような向きにして、マガジンをチェンジャーに挿入します。“カチッ”と音がするまでマガジンを押し込みます。



④CDチェンジャーのフタを閉めます。

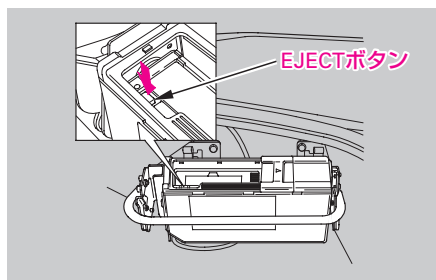
⑤バーを持ってCDチェンジャー本体を垂直の位置に戻します。

バーを手前に引いて、チェンジャー本体がロックされ動かないことを確認します。





マガジンを取り出すときは、セットするときと同様にCDチェンジャーを手前に倒し、フタを開けてEJECTボタンを押します。



知識

- 走行するときは、CDチェンジャーが確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと、音飛びや故障の原因となります。
- マガジンを出し入れするとき以外は、異物などが落ちないようにフタを閉めてください。
- ディスク演奏中にエンジンスイッチを“0”にした場合でも、EJECTボタンを押せばマガジンを取り出すことができます。

セキュリティーシステム

タイプ別装備

セキュリティー(盗難防止)システムは、お車を盗難から守るための装置です。

このシステムは、キーを使わずにドアを開けたり、ボンネットやトランクなどを開けたりすると警報装置が作動し、ホーンを鳴らし、同時に非常点滅表示灯を点滅させます。

警報装置について

警報装置は、システムがセットされているときに次のようなことのいずれかを行うと作動します。

- ドアをキーを使わずに開けようとした場合
- トランクをキーを使わずに開けようとした場合
- ボンネットをこじ開けようとした場合
- リヤガラスをこじ開けようとした場合
- ルーフをこじ開けようとした場合 (type Tのみ)
- カセットステレオを取り外そうとしたり、配線を切ったりした場合
- エンジンをかけた場合

警報装置が作動すると、ホーンが断続的に鳴り、非常点滅表示灯がすべて点滅します。

警報装置は、システムを止めるまで最大2分間作動します。(ホーンは最大30秒間鳴ります。)



知識

- トランクは、システム作動中でもマスターキーを使えば、警報装置を作動させずに開けることができます。

● 警報装置の止めかた

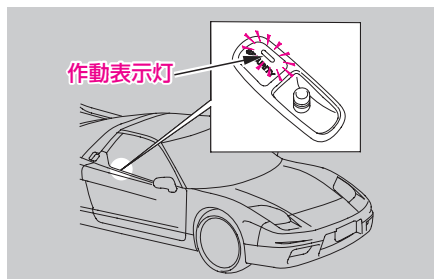
キーでどちらかのドアを解錠すればその時点で警報装置は止まります。

セットのしかた

次の操作がすべて行われると自動的にシステムがセットされます。

- ボンネット、リヤガラスを閉める。
- トランクを施錠する。
- **type T**はルーフサイドロックを左右共ロックにする。
取り外している場合はルーフホルダーに収納する。
- 左右のドアを閉め、運転席ドアをキーで施錠する。

上記がすべて行われると、運転席ドアにある作動表示灯が点滅を始めます。約15秒後に点滅間隔が変わり、システムがセットされたことを知らせます。作動表示灯は、システムがセットされている間は、点滅を続けます。



セットを解除するときは、キーでどちらかのドアを解錠します。



知識

- 車から離れるときは、セキュリティーシステムがセットされ、作動していることを表示灯で確認してください。
- ボンネット、リヤガラス、トランク、ドア (type Tは脱着式ルーフが完全にロックしているかルーフホルダーに収納していること) のすべてが閉まっていないと、セキュリティーシステムはセットされません。
メーター内のリヤガラス開閉警告灯、トランク開閉警告灯、ドア開閉警告灯、ルーフ開閉警告灯 (type Tのみ) で閉まっていることを確認してください。
ボンネットについては実際に手で押さえつけて確認してください。
メーター(セーフティーインジケーター) →84ページ
ボンネット →38ページ
- 作動表示灯が点滅を始めてから約15秒以内(システムがセットされる前)に、トランクを開けるとセットが中断され表示灯が消灯します。
この場合、トランクを閉めると表示灯が点滅し、自動的にシステムがセットされます。
- 車内に人が乗っている状態またはウィンドーが開いた状態でもセキュリティーシステムは作動します。警報装置の思わぬ作動を防ぐため、人が乗っている状態やウィンドーが開いた状態ではセキュリティーシステムをセットしないでください。
- セキュリティーシステムをセットしたあとに、バッテリーあがりなどでバッテリーの充電・交換をする際は、警報装置が作動する場合がありますので、キーでドアを解錠し、セキュリティーシステムを解除してください。

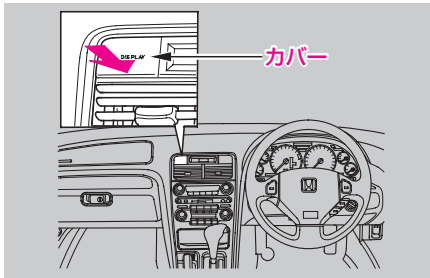
室内装備品

時計

ナビゲーションシステム非装備車

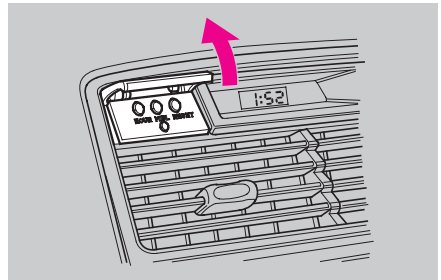
●時計表示

エンジンスイッチが“II”で表示されます。
エンジンスイッチが“0”または“1”では
カバーを押している間、表示されます。



●表示の合わせかた

カバーを開け、エンジンスイッチを“II”
にします。



「時」の調整…“HOUR” ボタンを押します。

「分」の調整…“MIN” ボタンを押します。

「時報合わせ」…時報と同時に“RESET”
ボタンを押します。

(例) 1:01 ~ 1:29の場合… 1:00
1:30 ~ 1:59の場合… 2:00



室内灯

“ON”

ドアの開閉に関係なく点灯します。

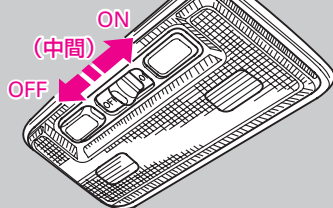
(中間)

ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。

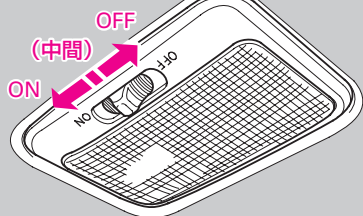
“OFF”

ドアの開閉に関係なく消灯します。

type T以外



type T

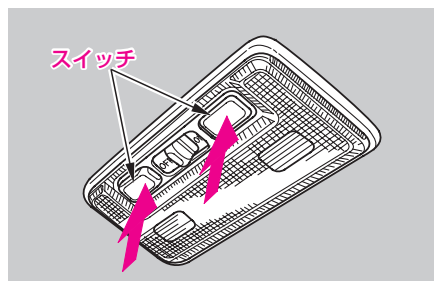


スポットランプ

タイプ別装備

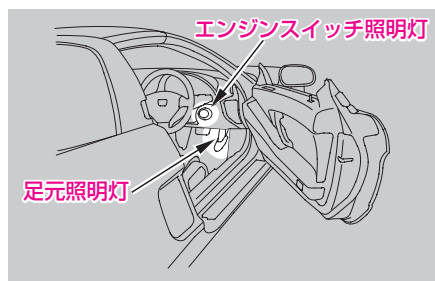
室内灯スイッチが“中間”のときにスイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

夜間、車を止めて地図などを見るときに便利です。



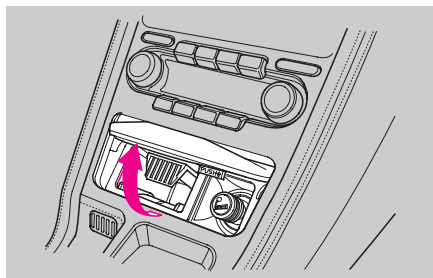
照明灯

運転席ドアを開けると、エンジンスイッチと足元の照明灯が点灯します。運転席ドアを閉めると数秒後に消灯します。

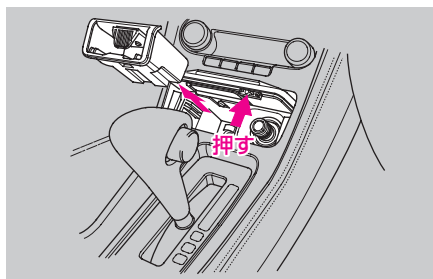


灰皿

ふたを開けて使います。



清掃するときは、ふたを押して手を離せば、取り出すことができます。



元に戻すときは、灰皿をしっかり押し込んでください。

⚠ 注意

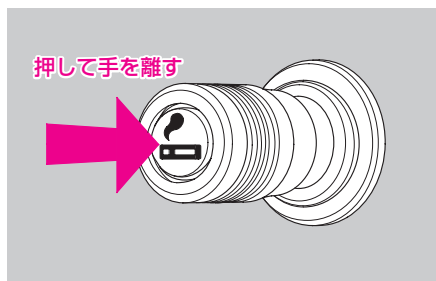
- タバコ、マッチなどは確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
また、吸いがらをためすぎたり、紙くすなどの燃えやすいものを入れないでください。
タバコなどの火が燃え広がるおそれがあります。



シガレットライター

灰皿のふたを開けると、シガレットライターがあります。
エンジンスイッチが“Ⅰ”または“Ⅱ”のときだけ使えます。

ライターを押し込んで、手を離し、元の位置に戻るまで待ちます。
ヒーター部が赤熱すると自動的に戻ります。



ライター使用後は灰皿で灰を落としてからすみやかに元に戻してください。

⚠ 注意

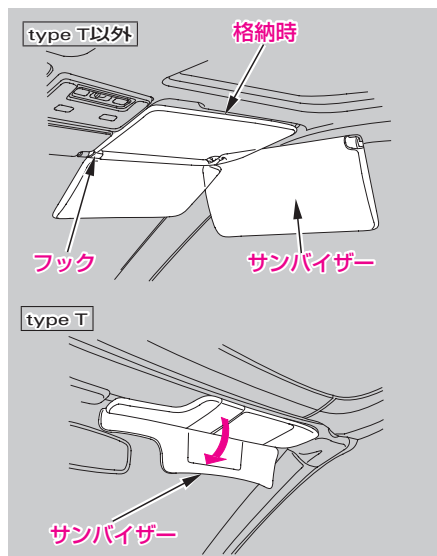
- シガレットライターの金属部分には触れないでください。
やけどをするおそれがあります。

🎓 知識

- シガレットライターの損傷を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・ライターを押し込んだあと、押さえ続けしないでください。
 - ・ヒーター部に灰や異物が付着したまま使用しないでください。
 - ・ライターのさし込み口からは、Honda純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。
- 他の車のライターを使ったり、自車のライターを修正したりしないでください。戻らなかったり、とび出したりするおそれがあります。
- ライターを押し込んでから、30秒以上たっても戻らないときは故障のおそれがありますので手で引き出し、ホンダベルノ店で点検を受けてください。

サンバイザー

サンバイザーを横にするときは、フックから外して行います。

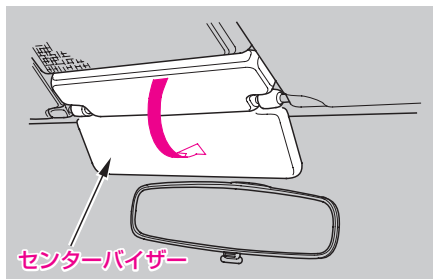


知識

● type T

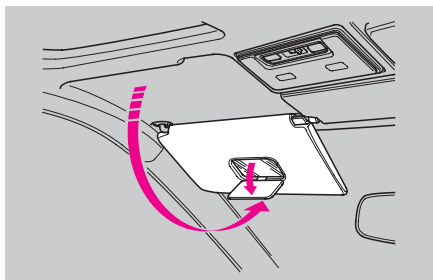
サンバイザーを横にすることはできません。

● センターバイザー タイプ別装備



● バニティミラー(化粧鏡) タイプ別装備

助手席のサンバイザーに鏡があります。お化粧のときなどに便利です。





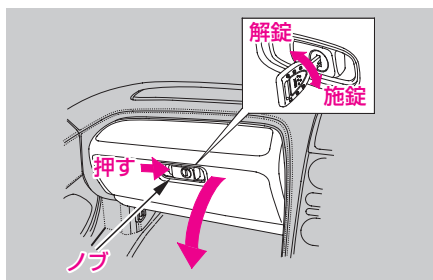
小物入れ

●グローブボックス

ノブを押すと開きます。

マスターキーを使えば施錠(解錠)できます。

ライトスイッチが“ON”のときグローブボックスのふたを開けると、照明灯が点灯します。

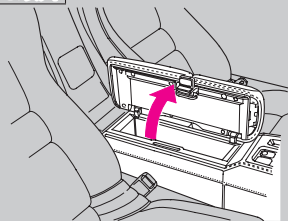


⚠ 警告

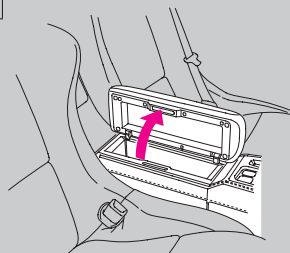
- 走行中は、グローブボックスのふたを必ず閉めてください。グローブボックスのふたが開いていると、衝突したときなどにふたにぶつかったり、内部の物がとび出したりして思わぬ事故につながります。

●コンソールボックス

type S以外

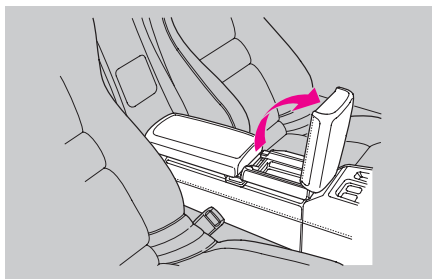


type S



●コインホルダー

タイプ別装備



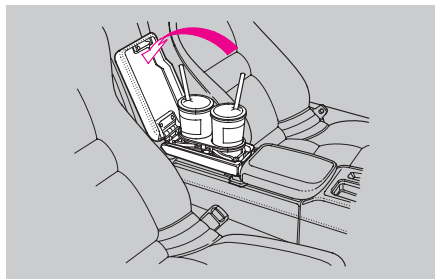
カップホルダー

タイプ別装備

知識

- ドアの開閉や走行中の振動、車の動きなどで飲み物がこぼれることがあります。
熱い飲み物などはやけどのおそれがありますので注意してください。
- 飲み物がスイッチ等にかかると、故障の原因となりますので注意してください。
- カップホルダーを取り外せば小物入れとして使えます。

アームレストの後側を開けると、カップホルダーがせり出てきます。



格納するときには、ふたを静かに押して閉めます。

5

万ーのとき

●工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所	184
工具の種類	185
発炎筒について	185

●故障したとき

踏切で動けなくなったとき	186
高速道路で故障したとき	186
道路で動けなくなったとき	187
故障の修理について	187

●事故が起きたとき

●けん引

けん引されるとき (ロープによるけん引)	190
動けなくなったとき	193

●パンクしたとき

ジャッキの取り扱い	194
応急用スペアタイヤ	196
タイヤ交換	197

●オーバーヒートしたとき

	206
--	-----

●電気系統が異常のとき

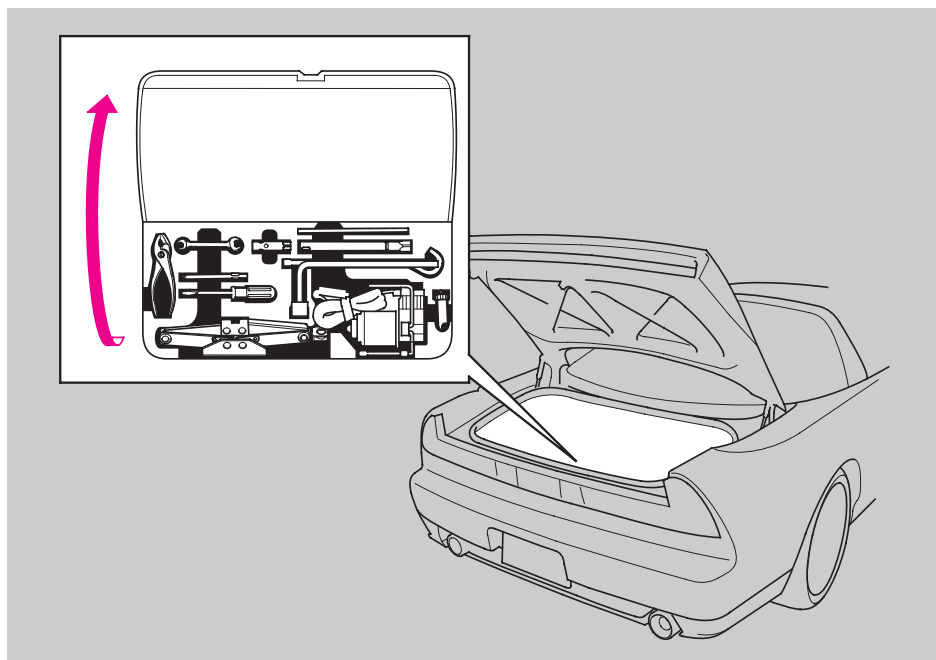
バッテリーあがりのとき	208
バッテリーの充電	211
ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき	213

* 全国のHonda販売店およびJAFの電話番号は別冊の「サービス網一覽」に記載してあります。

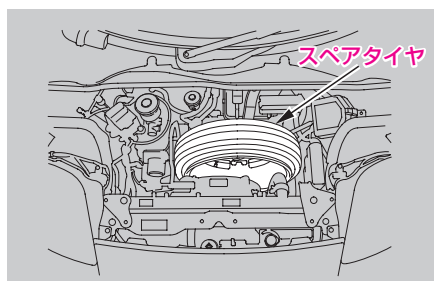
工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所

●工具

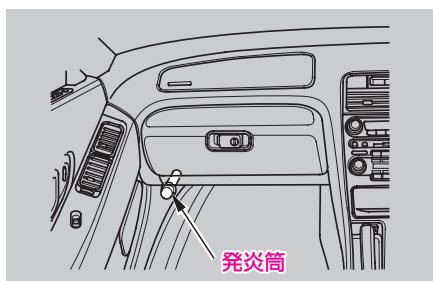


●スペアタイヤ



スペアタイヤはフロントコンパートメントに格納してあります。

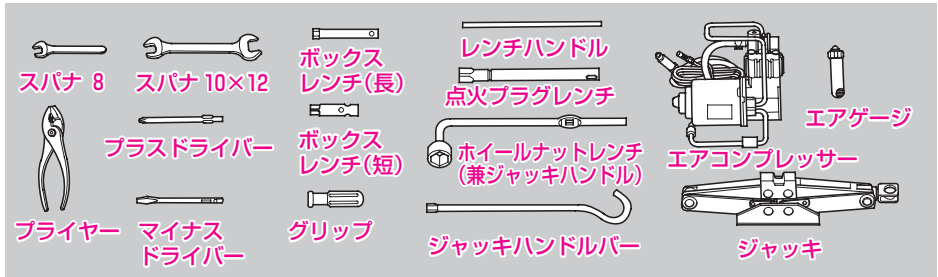
●発炎筒



発炎筒は助手席足元にあります。



工具の種類



知識

- 工具の種類、ジャッキ、発炎筒の使いかたなどは万一のとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- ジャッキ、工具類は熱くなっている場合がありますので、使用する際は注意してください。
- スペアタイヤ、ジャッキは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

発炎筒について

高速道路、踏切などの危険な場所で故障したときに使います。発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- ・ 使いかた ・ 使用上の注意
- ・ 発炎時間 ・ 有効期限

警告

- ガソリンなどの燃えやすいものそばでは使わないでください。火災や爆発のおそれがあります。

注意

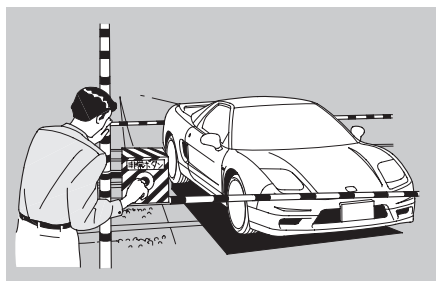
- お子さまにいじらせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 発炎筒を使うとき顔やからだに向けてとやけどなどをすることがあるのでおやめください。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

故障したとき

車を路肩に停め、非常点滅表示灯を点滅させます。必要に応じて停止表示板(または停止表示灯)、発炎筒を使い、後続する車に故障車とわかるようにします。

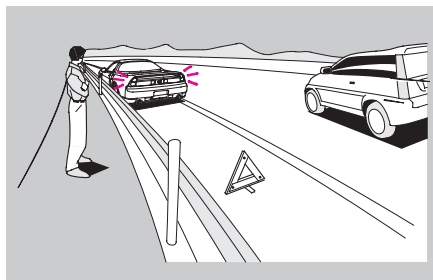
踏切で動けなくなったとき

脱輪などで踏切内で動けなくなったときは、踏切の非常ボタンを押してください。非常ボタンがわからず、緊急を要するときは、発炎筒で合図をしてください。



高速道路で故障したとき

車を路側帯に寄せ、非常点滅表示灯を点滅させ、車両後方に停止表示板(または停止表示灯)を置いて表示してください。法律で義務づけられています。



人は車からおりて、安全な場所に避難してください。



道路で動けなくなったとき

一般道路で動けなくなったときは、付近の人に安全な場所まで押ししてもらってください。



知識

- マニュアル車、オートマチック車ともにスターターを回して車を動かすことはできません。

クラッチ・スタートシステム

マニュアル車

→98ページ

故障の修理について

ホンダベルノ店へお申しつけください。



お持ちこみいただければ、簡単なものはその場で修理いたします。長くかかるものは、予定をお知らせします。

お持ちこみのむずかしいときには電話でご連絡ください。

遠出などのときは全国どこでもホンダベルノ店へご連絡ください。

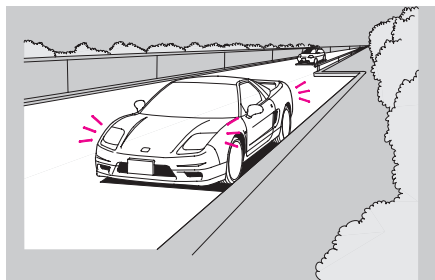
ホンダベルノ店およびJAFの電話番号については別冊の「サービス網一覧」をご覧ください。

事故が起きたとき

あわてずに次の処置をとります。

1 事故の続発を防ぐ。

他の交通のさまたげにならないような安全な場所(路肩、あき地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。



2 負傷者がいる場合は、応急手当を行う。

医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

この場合、とくに頭部に傷などがあるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしますが、後続事故の心配があるときは安全な場所に移動させます。



🎓 知識

- 外傷がなくても医師の診断を受けましょう。後になってから後遺症が出るおそれがあります。



3 警察へ連絡する。

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し、指示を受けます。



4 相手方、事故の状況をメモする。

5 ご購入された販売店や保険会社へ連絡する。

けん引

他車をけん引したり、前輪または後輪を持ち上げてけん引されることはできません。

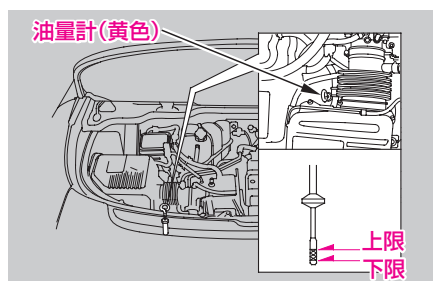
けん引は専門業者に依頼し、四輪とも持ち上げて行ってください。

けん引される時 (ロープによるけん引)

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合は、次の方法で行ってください。

① オートマチック車

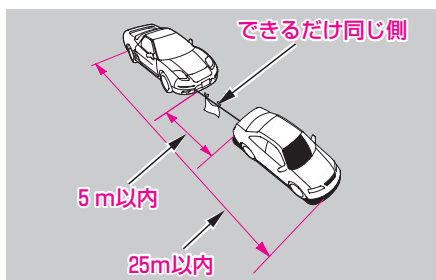
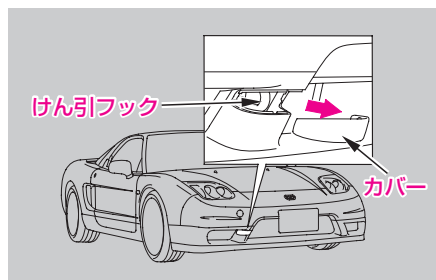
トランスミッションオイルの量が目盛りの上限と下限の間にあるかを点検します。



下限より下がっている場合は、四輪とも持ち上げてけん引してください。



- ②けん引フックのカバーを外します。
- ③ロープをけん引フックにかけ、ロープ中央部に白い布(0.3m平方以上)を付けます。



- ④エンジンをかけます。
エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを“Ⅰ”または“Ⅱ”にします。

⑤ **マニュアル車**

チェンジレバーをN(ニュートラル)にします。

オートマチック車

セレクタレバーを一度回してからRにします。

- ⑥パーキングブレーキを解除し、けん引されます。けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようにしてください。

⑦ **マニュアル車**

速度30km/h以下でけん引してください。

オートマチック車

速度30km/h以下、走行距離80km以内でけん引してください。



アドバイス

- オートマチック車は、トランスミッションを破損させないため、必ず⑤の操作をしてください。エンジンがかからなかったり、セレクトレバーが動かない場合は、けん引しないでください。

積載状態で行ってください。

- けん引フックにロープをかけるときは、車体やフックの破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。

- ・ けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
- ・ けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。
- ・ けん引ロープはできるだけ伸縮性のあるロープを使用してください。

- ワイヤロープや金属製のチェーンなどを使ってけん引されるときは、車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどして行ってください。

そのままけん引されると、バンパーに傷をつけるおそれがあります。



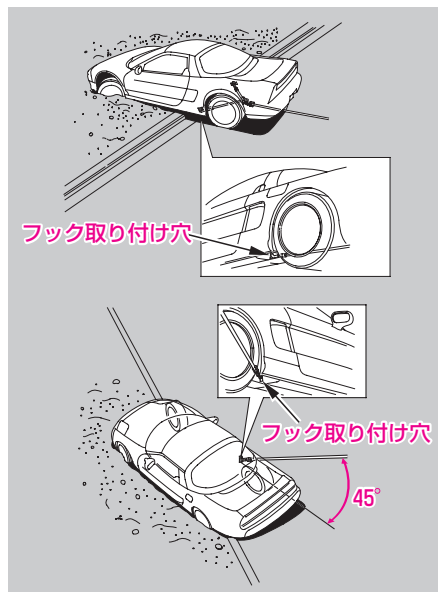
知識

- エンジンが停止している状態でのけん引は、次のことに気をつけてください。
 - ・ ブレーキの倍力装置がはたらかなくなるので、ブレーキのききが悪くなります。
 - ・ パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなるので、ハンドル操作が重くなります。
 - ・ マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にするとキーが抜けることがあり、ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり、事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂では、ブレーキ部の温度が上がってブレーキがきかなくなるおそれがあります。レッカー車にけん引してもらってください。
- 長距離の移動は積載状態で行ってください。



動けなくなったとき

脱輪などして後方へ引き出す場合は、フック取り付け穴を使用します。



知識

- 他車のけん引には使用しないでください。

パンクしたとき

ジャッキの取り扱い

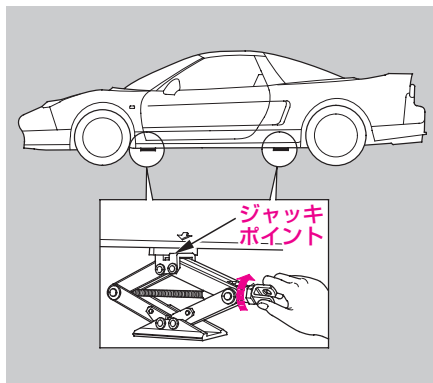
●ジャッキの取り出し

ジャッキは、トランクルーム内に格納してあります。

🎓 知識

- ジャッキ、工具類は熱くなっていることがありますので、使用する際は気をつけてください。

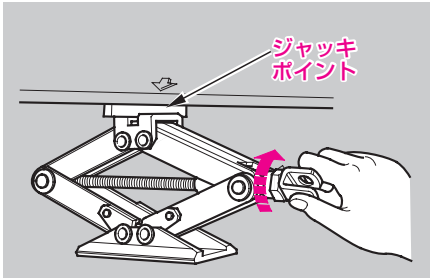
●ジャッキをかける位置



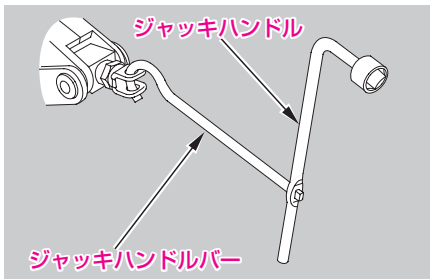


● ジャッキのかけかた

- ① 地面が固い平らなところに車を停めます。
- ② パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。
- ③ ジャッキを地面に置き、手で回してジャッキの溝がジャッキポイントに入るまで上げます。



- ④ ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを使って、タイヤと地面が少し離れるまで車体を上げます。



⚠ 警告

- 車がジャッキだけで支えられているときは、不安定な状態にあるので車の下に入ったりしないでください。
万一、ジャッキが外れると、思わぬ事故につながります。

⚠ 注意

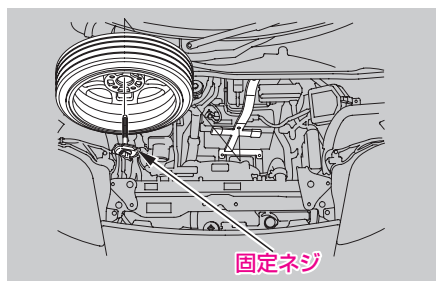
- ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守ってください。
 - ・ エンジンをかけたままにしない。
 - ・ 地面が固い平らなところ以外では使用しない。
 - ・ 指定された位置以外にかけない。
 - ・ 人や荷物をのせたままにしない。
 - ・ ジャッキの上や下に物をいれたりしない。
 - ・ タイヤ交換やタイヤチェーン着脱以外には使用しない。

📖 知識

- この車に搭載されているジャッキをお使いください。他のジャッキでは支えられる重量(呼荷重)が不足したり、形状が合わないことがあります。

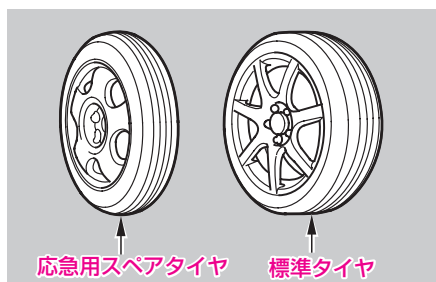
応急用スペアタイヤ

ボンネットを開け、固定ネジをゆるめて取り出します。



応急用スペアタイヤは、タイヤがパンクしたときの応急用としてのみに使うタイヤです。

応急用スペアタイヤは空気の入っていない状態で格納されています。お使いになるときは、備え付けのエアコンプレッサーで、指定空気圧に調整してください。応急用スペアタイヤの直径は標準タイヤの後輪と等しく、前輪に対してはやや大きくできています。



お使いになるときは次のことをお守りください。

知識

- 応急用スペアタイヤは、エンジンスイッチを“0”にした状態で取り出してください。
- 固定ネジ、ホイールは熱くなっている場合がありますので、取り出す際には手袋などをして、やけどに気をつけてください。
- 応急用スペアタイヤは必ずお車に取り付けてから、空気を入れてください。地面に置いたりすると、空気を入れるときにホイールとタイヤの間に石がはさまったりして、空気もれることがあります。
- 応急用スペアタイヤを装着したときは、100km/h以下で走行し、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
- この応急用スペアタイヤとホイールはこの車の専用品です。他のタイヤやホイールと組み合わせたり、他の車に使わないでください。
- 応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。
- 応急用スペアタイヤが損傷した場合、修理はできません。必ずホンダベルノ店で交換してください。



タイヤ交換

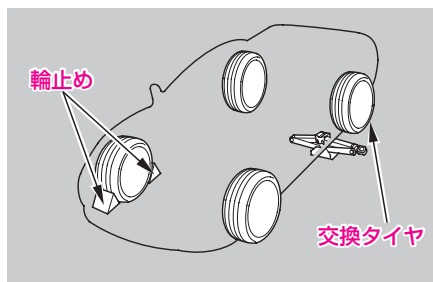
1 はじめに

①車を地面が固く平らで安全な場所に停め、工具類、応急用スペアタイヤを取り出します。

知識

- ジャッキ、工具類、固定ネジ、ホイールは熱くなっていることがありますので、取り出す際には気をつけてください。

②パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。

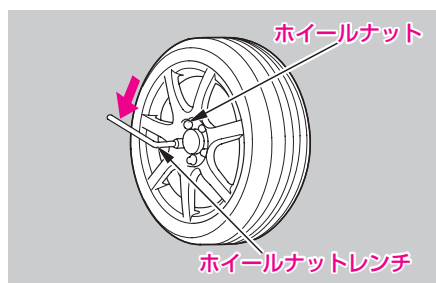


2 ジャッキで車体を上げる

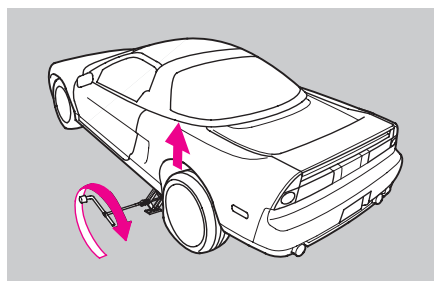
① ジャッキをセットします。

→194ページ

② ホイールナットをホイールナットレンチで少し(約1回転)ゆるめます。



③ タイヤと地面が少し離れるまでジャッキで車体を上げます。





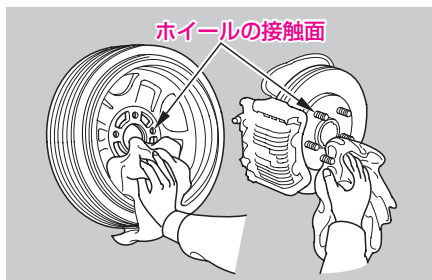
3 タイヤを交換する

① ホイールナットを外し、タイヤを外します。

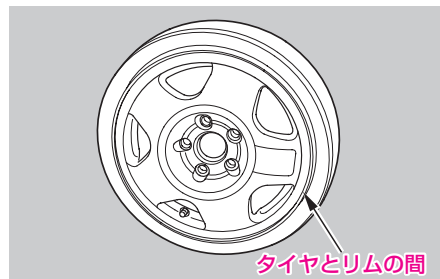
知識

- タイヤを取り外すとき、ホイールをブレーキキャリアにぶつけないように作業してください。ぶつけるとブレーキキャリアに傷がつくおそれがあります。
- 標準装着のタイヤを横にして地面に置くときは、下に布などを敷いてその上に置いてください。そのまま置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

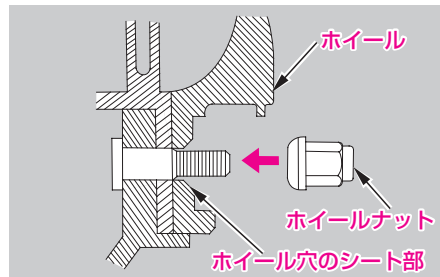
② 応急用スペアタイヤのホイールの接触面のよごれをふき取ります。



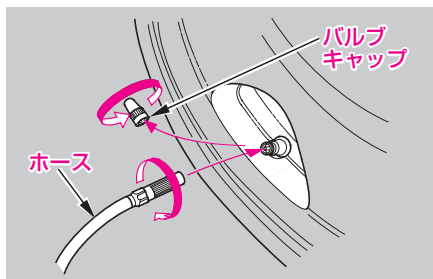
③ タイヤとリムの間に異物がないことを確認してから、取り付けます。



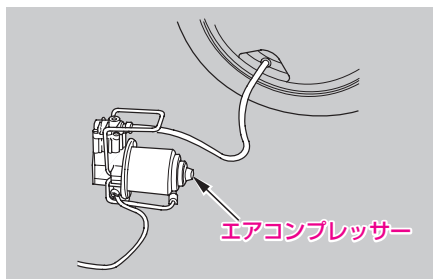
④ ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。



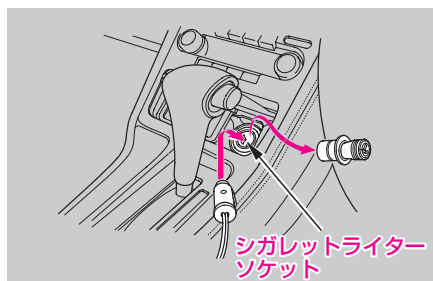
- ⑤バルブキャップを外し、バルブにエアコンプレッサーのホースを確実に取り付けます。



- ⑥矢印の向きを上にして、エアコンプレッサーを置きます。



- ⑦エアコンプレッサーの電源コードプラグをシガレットライターソケットに差し込み、エンジンスイッチを“I”にします。



知識

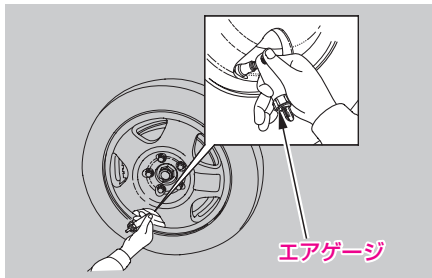
- 備え付けのエアコンプレッサーは、応急用のスペアタイヤの空気充填用です。
- エアコンプレッサーの電源は、自動車用12V専用です。他の電源には接続しないでください。
- 無給油設計になっていますので、オイル等を注油しないでください。
- 使用中、エアコンプレッサーの表面が熱くなります。15分以上連続して使用しないでください。再使用する場合は、エアコンプレッサーが冷えてからお使いください。



- ⑧約5分間で指定空気圧になります。エアゲージを使用して、空気圧を点検、調整します。

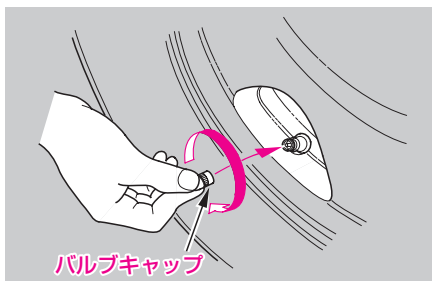
前輪：180 kPa (1.8 kgf/cm²)

後輪：230 kPa (2.3 kgf/cm²)



- ⑨エンジンスイッチを“0”にして、エアコンプレッサーの電源コードプラグをシガレットライターソケットから抜きます。

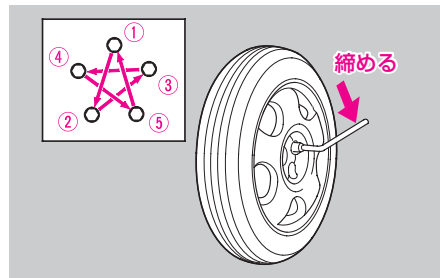
- ⑩バルブから空気漏れのしないことを確認してバルブキャップを締め付けます。



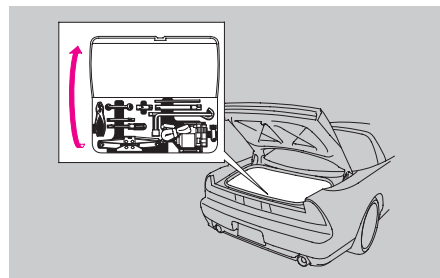
- ⑪ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかり締め付けます。

ホイールナット締め付けトルク：

98－118 N・m (10.0－12.0 kgf・m)

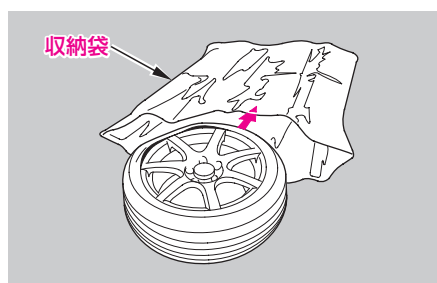


- ⑫ジャッキを取り外し、エアコンプレッサー、工具類をトランクにしまいます。

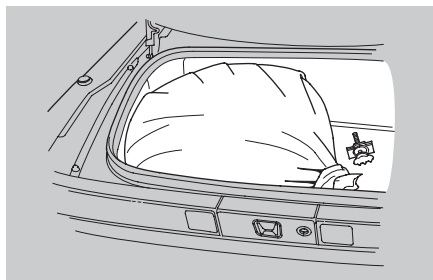


4 標準タイヤを収納する

①パンクした標準タイヤを収納袋に入れます。

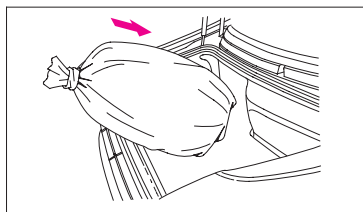


②パンクした標準タイヤ、応急用スペアタイヤ固定ネジはトランクにしまします。



知識

- フロントコンパートメントに、パンクした標準タイヤをしまうことはできません。

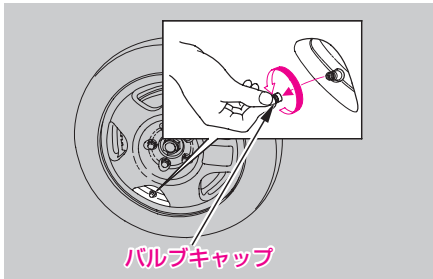


パンクした標準タイヤをトランクにしまうには、図のタイヤとトランクの接するところに傷をつけないように注意しながら収納します。

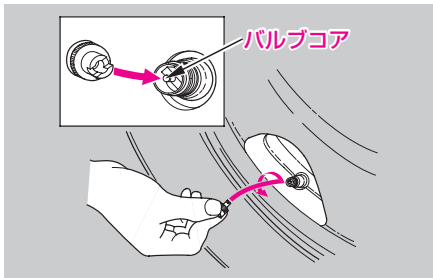


5 標準タイヤを取り付けるときは

- ①ホイールナットをゆるめ、車体をジャッキで持ち上げます。
- ②応急用スペアタイヤからバルブキャップを外します。



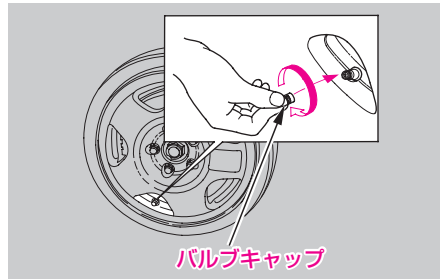
- ③バルブキャップのゴムカバーを外し、“シュー”という音がするまでバルブコアをゆるめて、タイヤが完全に折りたたまれるまで空気を抜きます。



知識

- バルブコアをゆるめすぎると、空気圧でとばされるおそれがあります。バルブコアを紛失しないよう、ゆるめすぎに注意してください。

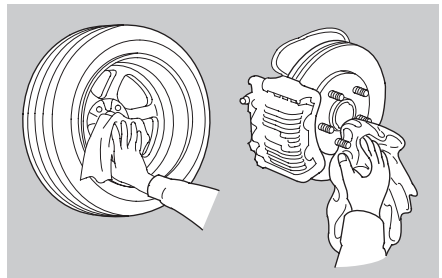
- ④空気が抜け、タイヤが完全に折りたたまれたらバルブコアを締め付け、バルブキャップを取り付けます。



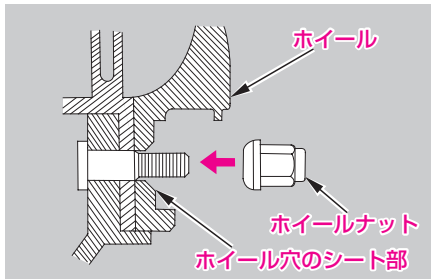
知識

- 折りたたまれるタイヤに、指などをはさまないように注意してください。

- ⑤応急用スペアタイヤを取り外します。
- ⑥標準タイヤのホイールと、ハブの接触面のごつれをふき取ります。



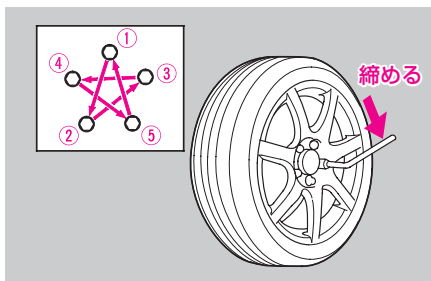
- ⑦標準タイヤを取り付けます。
- ⑧ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。



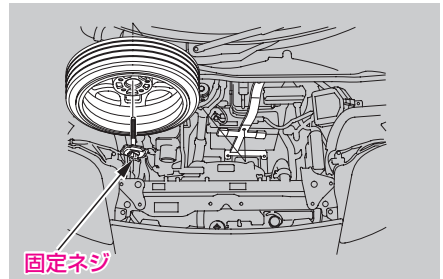
- ⑨ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかり締め付けます。

ホイールナット締め付けトルク：

98－118 N・m (10.0－12.0 kgf・m)



- ⑩取り外した応急用スペアタイヤをフロントコンパートメントにしまい、固定ネジで固定します。





知識

- この車専用のタイヤ、ホイールをお使いください。
専用以外のタイヤ、ホイールを使うと走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。タイヤ、ホイール交換に際しては、必ずホンダベルノ店にご相談ください。
- レンチを足で踏んだり、パイプなどを使って必要以上に締め付けしないでください。トルクがかかりすぎることがあります。
- パンク修理、タイヤの摩耗、リムの変形などでホイールバランスが狂うことがあります。車体の振動などの異常を感じたらホンダベルノ店で点検を受けてください。
- タイヤ交換は安全のため、地面の硬い平らな場所で、他の交通に十分注意して行ってください。必要に応じて停止表示板、非常点滅表示灯を使ってください。
- 必ず指定サイズ、同一種類のタイヤを使ってください。指定サイズ以外のタイヤや種類の異なるタイヤを使うと安全性を損ないます。
- パンク修理などでホイールを取り付け直したときには、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。

オーバーヒートしたとき

次のようなときは、オーバーヒートです。

- ・水温計の針が赤いマークに入ったり、エンジンの力が急に落ちる。
- ・フロントコンパートメントやエンジンルームから蒸気が立ちのぼっている。

⚠ 警告

- フロントコンパートメントやエンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットやエンジンカバーを開けないでください。

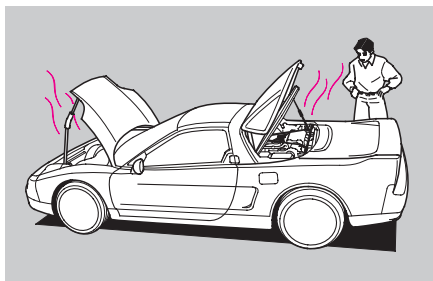
蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

- エンジンが十分に冷え、水温が下がるまでエキスパンションキャップを外さないでください。

冷却水には圧力がかかっているため、蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

●処置のしかた

- ①車を安全な場所に停めます。
- ②エンジンをかけたままボンネットとエンジンカバーを開けて風通しをよくします。

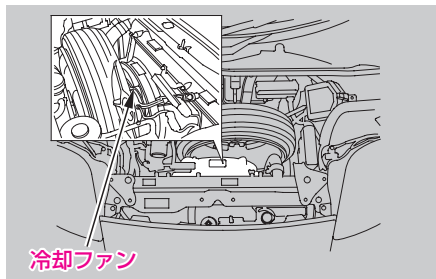


🎓 知識

- フロントコンパートメントやエンジンルームから蒸気が出ているときは、エンジンを止めます。蒸気が出なくなってからボンネットとエンジンカバーを開け、エンジンをかけてください。



- ③冷却ファンの作動を確認し、水温計の針が下がってきてからエンジンを止めます。
冷却ファンが作動していないときはすぐにエンジンを止めてください。



冷却ファン

 **アドバイス**

- 冷却ファンが作動していない場合は、故障が考えられますので、ホンダベルノ店へご連絡ください。

- ④エンジンが冷えてから、冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検します。

- ⑤冷却水量が不足していたらエキスパンションタンクから冷却水を補給します。冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。

 **アドバイス**

- エンジンが熱いときに冷却水を入れないでください。急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。冷却水はエンジンが冷えてからゆっくりと入れてください。

- ⑥なるべく早くホンダベルノ店で点検を受けてください。

電気系統が異常のとき

バッテリーあがりのとき

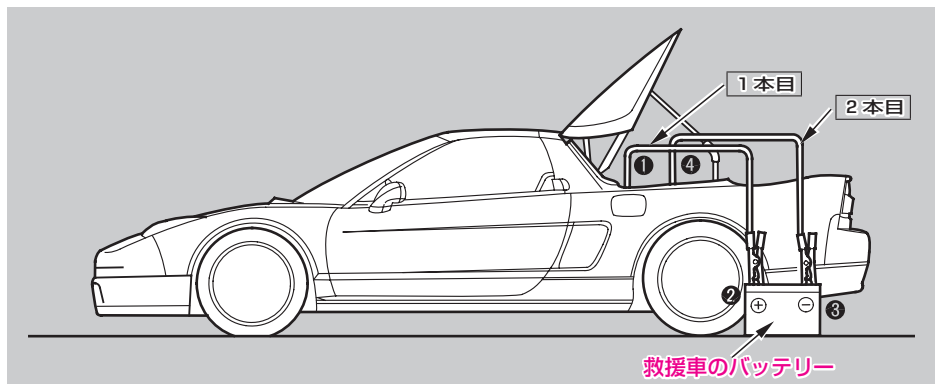
次のようなときは、バッテリーあがりです。

- ・スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからない。
- ・ライトがいつもより極端に暗かったり、ホーンの音が小さい。

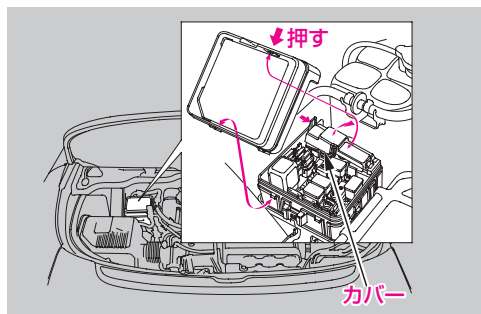
●処置のしかた

安全のため、押しがけはしないでください。

救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動させます。



①自車のエンジンルーム内にあるヒューズボックスを開け、カバーを外します。

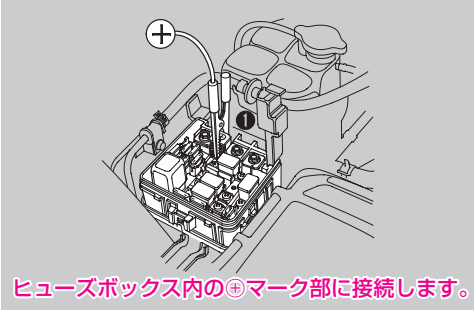




② ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1 本目

① ヒューズボックス内の⊕マーク部



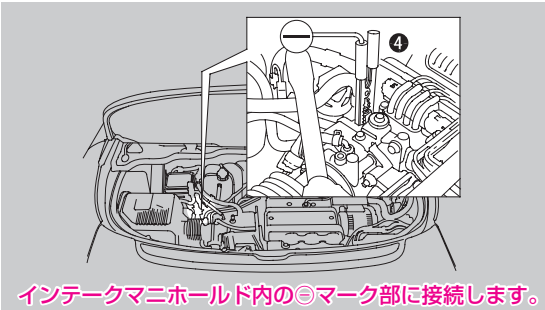
ヒューズボックス内の⊕マーク部に接続します。

② 救援車のバッテリーの⊕端子

2 本目

③ 救援車のバッテリーの⊖端子

④ 自車のインテークマニホールドの⊖マーク部



インテークマニホールド内の⊖マーク部に接続します。

③ 救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。

④ 自車のエンジンをかけます。

⑤ ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。

⑥ Honda販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。

⚠ 警告

- バッテリーを取り扱うときは次のことを必ず守ってください。
バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動または充電を行わないでください。
 - ・ 火気を近づけないでください。
 - ・ 帯電した体でバッテリーに触れないでください。
 - ・ 換気に十分注意し、換気の悪い場所では充電を行わないでください。
 - ・ バッテリーを充電するときは、すべてのキャップを外してください。
(密封式バッテリー装備車を除く)
- ブースターケーブルをつなぐときは次のことを必ず守ってください。火花が出て、バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ 自車のバッテリーの⊖端子に直接ケーブルをつながないでください。
 - ・ ⊕端子と⊖端子を間違えないでください。
 - ・ ケーブルの先端どうしを接触させないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに着くとその部分が侵されますので十分注意してください。
万一、付着したときはすぐに多量の水ですくなくとも5分間以上洗浄し、飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲んでください。応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

🎓 知識

- バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。
バッテリー内部の劣化の進行が促進するおそれがあります。
- ブースターケーブルのクリップは、エンジン始動時などの振動で外れたりしないように確実に固定してください。また、ブースターケーブルが冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分気をつけてください。
- 救援車には、12Vのバッテリーを装着している車を使用してください。
- バッテリー交換などでバッテリーケーブルを取り外すと、ラジオにセットされた周波数が消去されます。



バッテリーの充電

充電は、バッテリーを取り出してから行ってください。

①ボンネットを開けます。

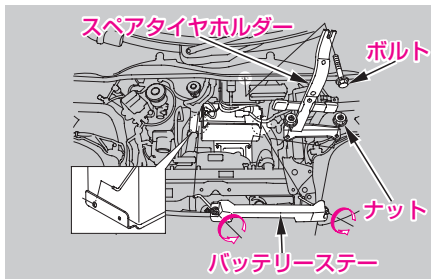
知識

- 固定ネジ、ホイール、スペアタイヤホルダーなどは熱くなっている場合がありますので、取り出す際には手袋などをして、やけどに気をつけてください。

②固定ネジを外し、応急用スペアタイヤを取り外します。

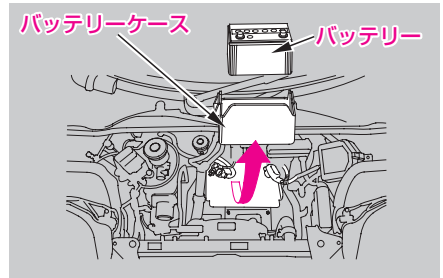
スペアタイヤの取り出し →196ページ

③ナットとボルトを外し、スペアタイヤホルダーとバッテリーステーを取り外します。



④バッテリーの \ominus 端子を外してから \oplus 端子を外します。

⑤バッテリーをケースごと取り出します。



⚠ 警告

- バッテリーを取り扱うときは次のことを必ず守ってください。
バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動または充電を行わないでください。
 - ・ 火気を近づけないでください。
 - ・ 帯電した体でバッテリーに触れないでください。
 - ・ 換気に十分注意し、換気の悪い場所では充電を行わないでください。
 - ・ バッテリーを充電するときは、すべてのキャップを外してください。
(密封式バッテリー装備車を除く)
- コードをつなぐときは次のことを必ず守ってください。火花が出て、バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ ⊕端子と⊖端子を間違えないでください。
 - ・ コードの先端どうしを接触させないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに着くとその部分が侵されますので十分注意してください。
万一、付着したときはすぐに多量の水ですくなくとも5分間以上洗浄し、飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲んでください。応急処置後は、専門医の診察を受けてください。



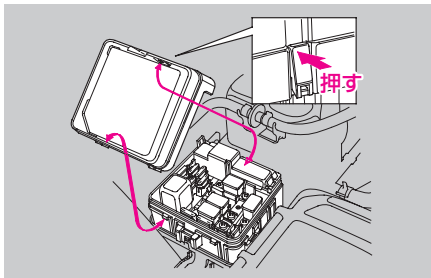
ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき

バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れや電球(バルブ)切れが考えられます。

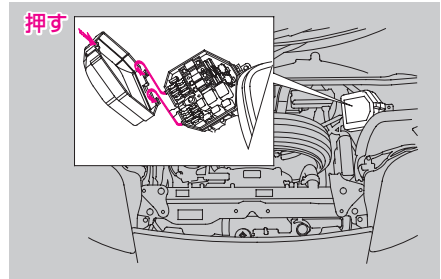
- ①エンジンスイッチを“0”の位置にします。
- ②ヒューズが切れていないかを点検します。
 - ・故障の状況から点検すべきヒューズをヒューズボックスの表示で確認し、点検します。
- ③必要に応じて、ヒューズや電球を交換します。

●ヒューズの点検、交換

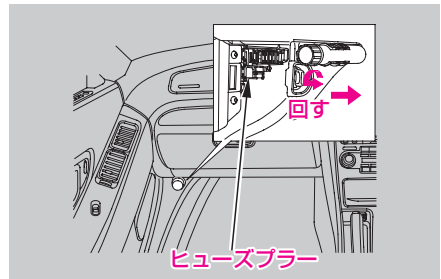
エンジンルーム内のヒューズボックス



フロントコンパートメント内のヒューズボックス

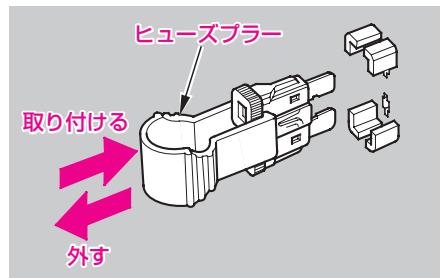


助手席足元のヒューズボックス

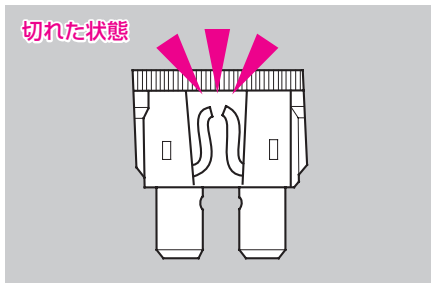


ヒューズの外しかた

備え付けのヒューズブラーでヒューズを外します。



ヒューズが切れているとき



ヒューズボックスの表示に従い規定容量のヒューズに交換します。

アドバイス

- 規定容量のヒューズ以外のものは絶対に使わないでください。配線コードなどを焼損させる原因となります。

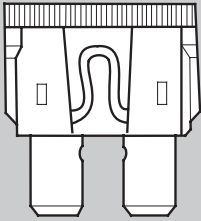
知識

- オーディオのヒューズが切れると、ラジオにセットされた周波数が消去されます。
- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダベルノ店で点検を受けてください。



ヒューズが切れていないとき

切れていない状態



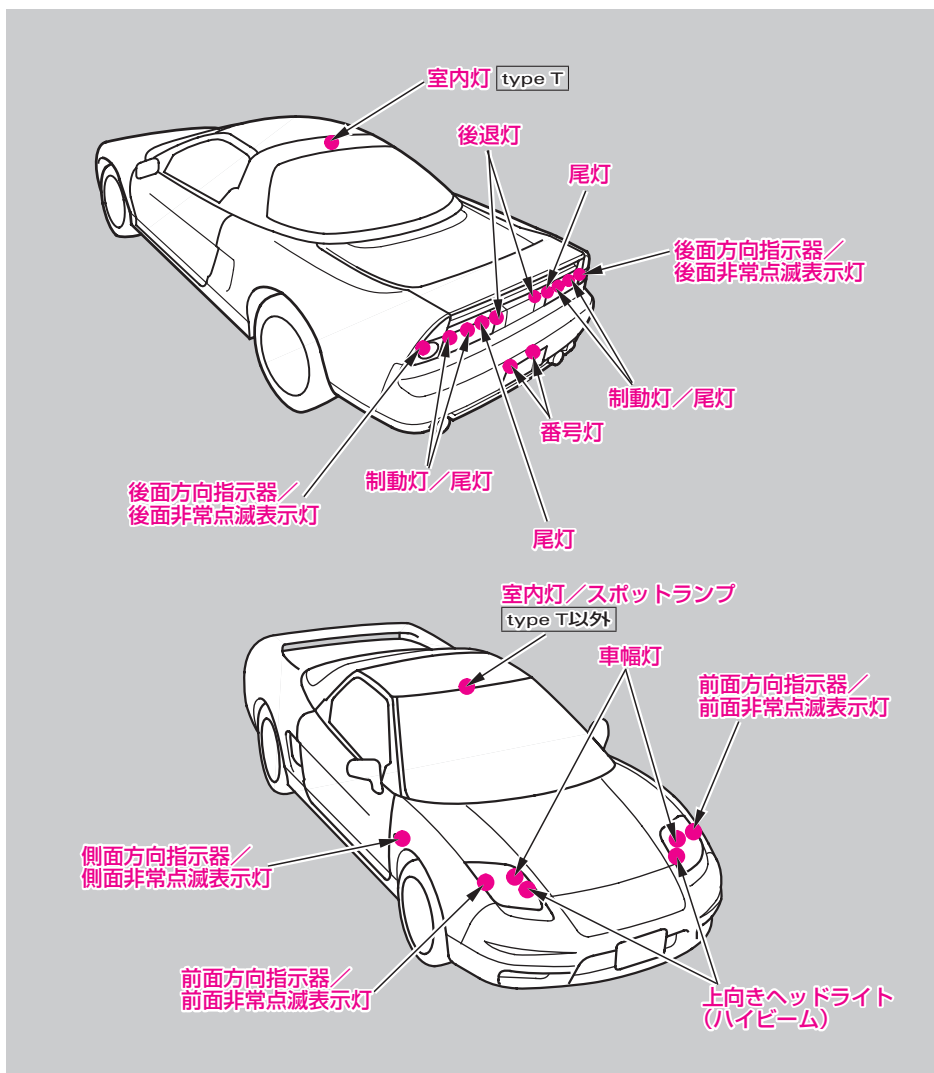
- ライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。
電球を点検し、切れているときは交換してください。

知識

- 電球が切れていない場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダベルノ店で点検を受けてください。
- ライト類以外の電気装置が作動しないときは、電気系統の異常が考えられますので、ホンダベルノ店で点検を受けてください。

●電球(バルブ)の交換

ヒューズが切れていないのにライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。





知識

- ランプ本体やレンズを外すときは、ボディに傷を付けないように注意してください。
- 電球を交換するときはワット(W)数の違うものを使わないでください。
電球のワット数 →258ページ
- ハロゲンバルブはガラス球内部の圧力が高いため、落したり、物をぶつけたり、傷をつけたりすると破損してガラスがとび散ることがあります。
取り扱いには十分に注意してください。
また、ハロゲンバルブの電球の表面に手などが、触れないようにしてください。
使用時電球が高温になるため、油などが付着すると寿命が短くなります。触れた場合は、中性洗剤の薄い水溶液を柔らかい布に含ませてよくふき取ってください。
- レンズを取り付けるときは、ネジを締めすぎないようにしてください。レンズを破損するおそれがあります。
- ヘッドライト、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありません。
ただし、レンズ内面に大粒の水滴がついているときやランプ内に水がたまっているときは、ホンダベルノ店にご相談ください。

ヘッドライト(ロービーム)

ヘッドライトの電球切れの点検、交換は必ずホンダベルノ店で行ってください。

⚠ 注意

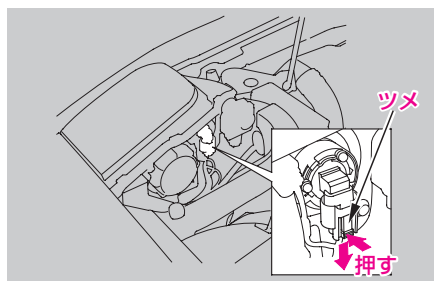
- ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しており、不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。

ヘッドライト(ハイビーム)

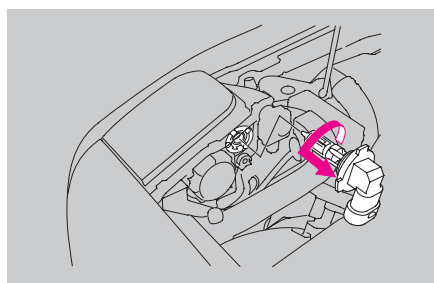
ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

ハロゲンバルブ →217ページ

- ①カプラーのツメを押しながらカプラーを外します。

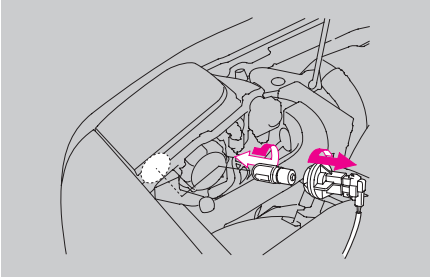


- ②ソケットを左へ回して外します。

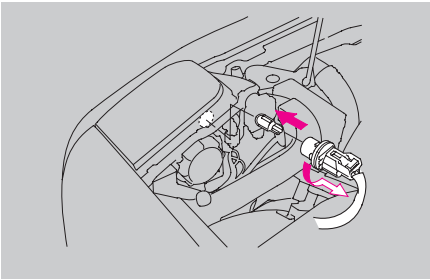


**前面方向指示器／前面非常点滅表示灯**

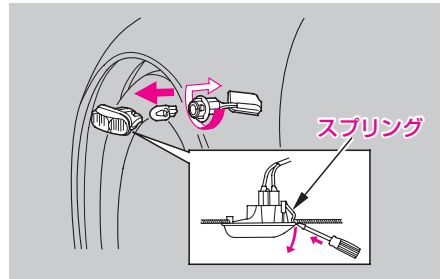
ソケットを左へ回して外し、電球を押しながら左へ回して抜き取ります。

**車幅灯**

ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

**側面方向指示器／側面非常点滅表示灯**

- ①ドライバー等でスプリングを押しながらランプ本体を外します。
- ②ソケットを左に回して外し、電球を抜き取ります。



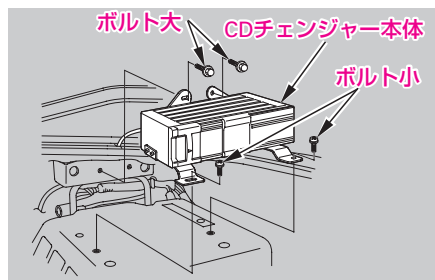
制動灯／尾灯、後面方向指示器／後面非常点滅表示灯、尾灯、後退灯

① トランクルームからスパナ 8、レンチハンドル、ボックスレンチ(長)(ナビゲーションシステム装備車)、スパナ 10×12(ナビゲーションシステム非装備車)を取り出します。

工具の種類 →185ページ

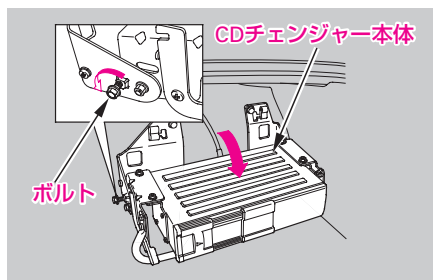
② **ナビゲーションシステム装備車**

スパナ 8 を使ってボルト小(2本)を、ボックスレンチ(長)とレンチハンドルを使ってボルト大(2本)を取り外し、CDチェンジャー本体を取り外します。

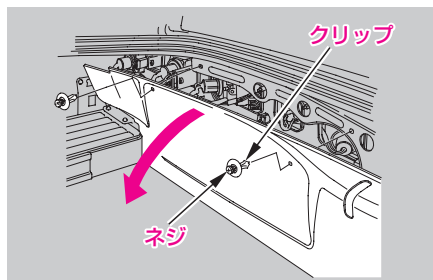


ナビゲーションシステム非装備車

スパナ10×12を使って図のボルトをゆるめて、CDチェンジャー本体を手前に倒します。

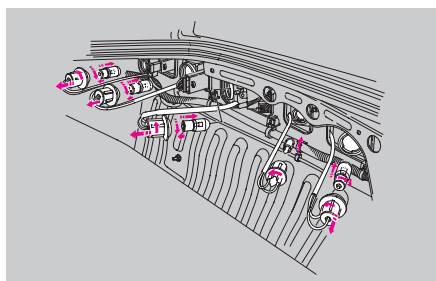


③ ネジをゆるめ、クリップを外し、カバーを開けます。



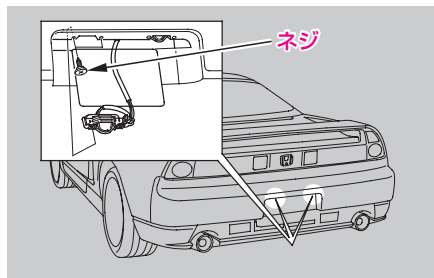


- ④ソケットを左へ回して外し、制動灯／尾灯、後面方向指示器／後面非常点滅表示灯、後退灯は電球を押しながら左に回して抜き取ります。尾灯は電球を抜き取ります。

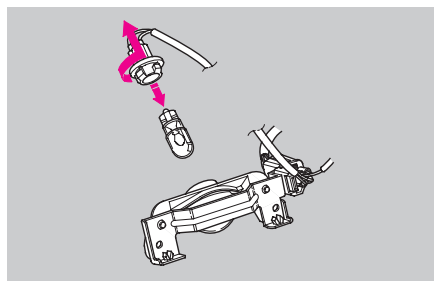


番号灯

- ①ネジを外し、ランプ本体を外します。

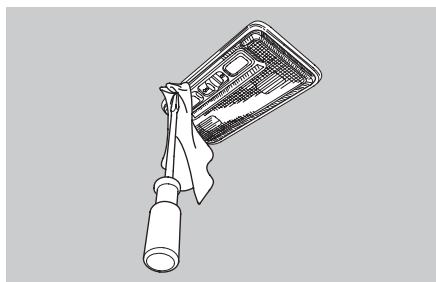


- ②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

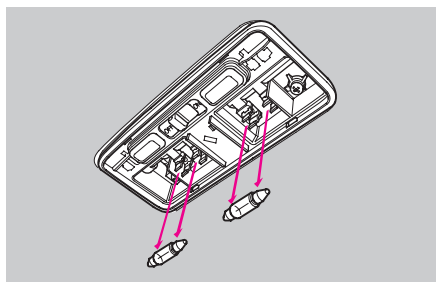


室内灯/スポットランプ type T以外

①ドライバーの先端に布などを巻き、レンズを外します。



②電球を抜き取ります。

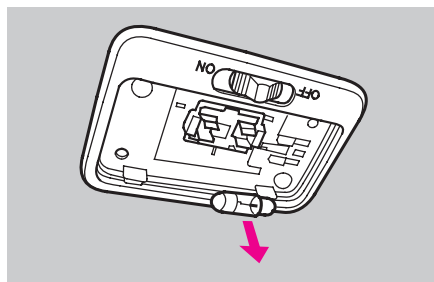


室内灯 type T

①ドライバーの先端に布などを巻き、レンズを外します。



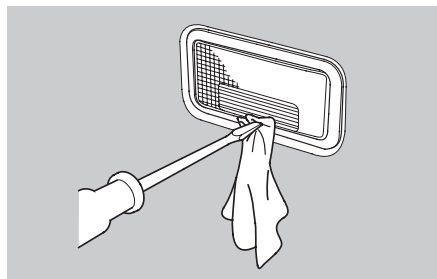
②電球を抜き取ります。



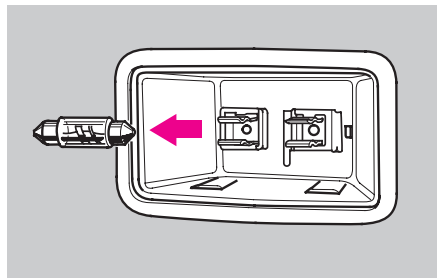


トランク照明灯、ドア開閉灯 (カーテシーランプ)

- ① ドライバーの先端に布などを巻き、レンズを外します。

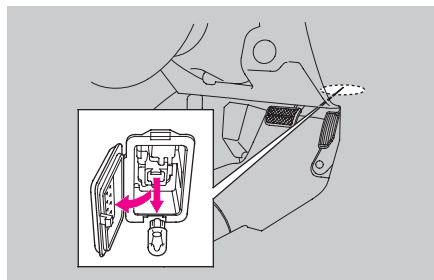


- ② 電球を抜き取ります。



足元照明灯

カバーを開け、電球を抜き取ります。



6

車の手入れ

- 点検・整備について …… 226

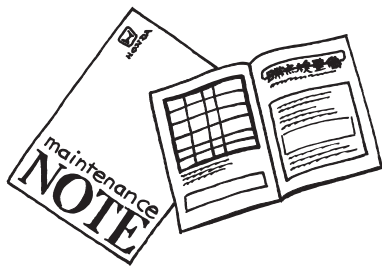
- 日常の手入れ …… 228
 - 外装の手入れ …… 229
 - 内装の手入れ …… 231
 - タイヤについて …… 233
 - アルミホイールについて …… 234

- 車にあった部品の使用 …… 236

点検・整備について

車は走行するにしたいが、また時間が経過するとともに部品の劣化や摩耗などが進んでいき、適切な点検整備を行わないと、安全・快適に乗っていただけなくなるばかりか大気汚染や騒音の増加などを引き起こすことがあります。

このようなことから点検整備が必要であり、ドライバー（運転者）は点検整備を実施することが法律でも義務づけられています。



詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載してありますので、よくお読みになり必ず点検整備を行ってください。

●点検整備の種類

日常点検

日常の車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

点検時期の目安としては長距離走行前や洗車時、給油時などに実施します。





法定定期点検

年間走行距離が10,000km程度の標準的な使用を前提に、12か月および24か月毎に実施する点検です。法律で定められているものと、Hondaが指定するものがあります。



その他

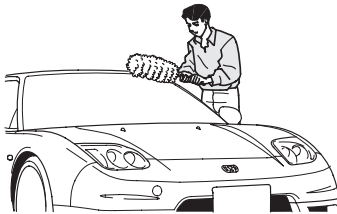
新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。



日常の手入れ

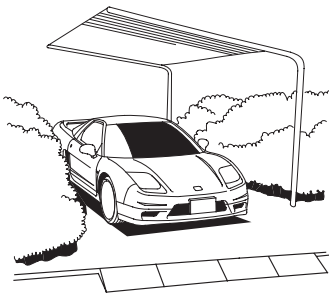
走行後は

- 塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としましょう。
- とび石などによる塗装面の傷は錆の原因となります。見つけたら早めに補修してください。



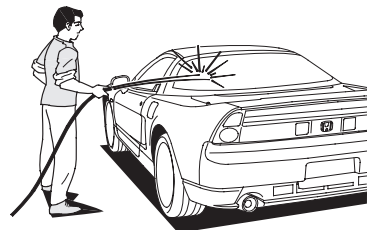
保管、駐車は

- 風通しのよい車庫や、屋根のある場所をおすすめします。



洗車を忘れずに

- 少なくとも月に一度は洗車しましょう。
- 次の場合は、必ず洗車してください。
 - ・ 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき、海岸地帯を走行したとき。
錆の原因となるので車体の下回り、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。
 - ・ コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などがついたとき。
化学変化で塗装面にむらができるので、中性洗剤で洗ってから水で完全に流し、必要に応じてポリシングワックス(ワックス乳液)で磨いてください。
ポリシングワックスは、**Honda純正ケミカル用品**をお使いください。



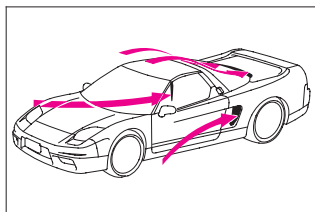


外装の手入れ

●洗車のしかた

- ①十分に水をかけながら、下回り、足まわりの汚れを落とします。
- ②塗装面は屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム皮のような柔らかいもので洗います。
- ③汚れがひどいところは中性洗剤で洗い、さらに水で完全に洗い落とします。
- ④水が乾かないうちに拭き取ります。

- エンジンフードは、水をかけて洗わないでください。
- ドアガラスまわりには、ホースの先端を絞るなどして水を強くかけないでください。室内へ水が侵入することがあります。
- 故意に空気取り入れ口やエンジンルーム内の電気部品に水をかけないでください。故障のもとになります。



自動洗車機を使うとき

- アンテナ(センターアンテナを除く)やドアミラーを格納して洗車してください。

- 自動洗車機を使うと、ブラシの傷がつき光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。
- センターアンテナ装備車は、アンテナを取り外してから洗車してください。

センターアンテナの外しかた
→153ページ

- リヤスポイラー装備車は洗車機によってはひっかかり、洗車できなかったり、車両を傷つけるおそれがあります。

コイン洗車機を使うとき

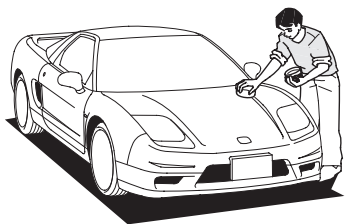
洗車ノズルと車体の距離を十分に離して洗車してください。

ドアガラスまわりは、特に注意して行ってください。近づけすぎると室内へ水が侵入することがあります。

●ワックスをかけるとき

月に一回程度または水をはじかなくなったときに行います。洗車したあと、日陰か車体表面が体温以下になっているときにワックスをかけます。

- ・ワックスはHonda純正ケミカル用品をお使いください。



- みがき粉(コンパウンド)入りのワックスは使わないでください。

塗装面に細かい傷が残ることがあります。

●type T

ルーフにWAXをかけないでください。

塗装面にWAXが残り白くなることがあります。

WAXが白く残った場合は、中性洗剤で洗い流してください。

●樹脂塗装部品 (バンパーなど)の手入れ

ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着すると、しみの発生や塗膜がはがれる原因となります。

すみやかに柔らかい布で拭き取ってください。

- 樹脂塗装部品の傷の補修をする場合は、ホンダベルノ店にご相談ください。不適當な塗料を使うと塗膜を傷めます。

●ガラスの手入れ

ガラスの油膜を取るときは、ガラスクリーナーをお使いください。

- ・ガラスクリーナーはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

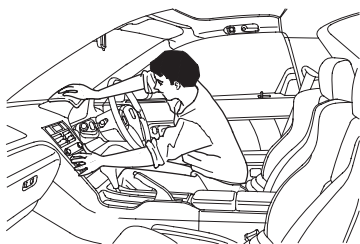
リヤガラスの清掃をするとき

リヤガラスの内側に電熱線やアンテナ線が装着されていますので、これに沿って柔らかい布で拭いてください。



内装の手入れ

- ① 中性洗剤の水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。
 - ・ 飲食物などをこぼしたときは、すぐに汚れを落としてください。
- ② 真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいに拭き取ります。
- ③ 直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。



- 室内に水をかけないでください。電気部品に水がかかると故障の原因となります。

●ケミカル類、 液体芳香剤について

ケミカル類、液体芳香剤はその成分によっては、樹脂部品、布材、本革の変色、しみ、ひび割れを起こすことがあります。

取り扱いには十分にご注意ください。

- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶剤は使わないでください。また、ケミカル類には、これらの成分が含まれているおそれがあります。ご使用前に確認してください。
- ケミカル類を使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取ってください。また、使用した布はそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。
- 液体芳香剤はこぼさないように、容器を確実に固定してください。芳香剤の使用にあたっては固形タイプのものでおすすめます。

●本革の取り扱い

- ①ウール用中性洗剤の5%水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。
- ②真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいにふき取ります。
- ③直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。

知識

- 本革部分に油污れなどが付くとカビなどの原因となるので、早めに落としてください。
- 本革部分を直射日光に長時間さらすと、変質、縮みの原因となります。駐車するときは、日よけに心がけてください。
- 夏期などは、ビニール類を本革部分の上に置かないでください。
室内が高温になっていると、ビニールが変質して本革部分に付着するおそれがあります。



タイヤについて

タイヤの異常摩耗、亀裂、損傷および指定外の空気圧は、乗り心地、操縦性、タイヤの寿命を損ないます。また、摩耗したタイヤは雨天時の高速走行で通常よりもハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

・安全のため、こまめに点検を行ってください。

また、必ず指定サイズ、同一種類のタイヤをお使いください。

⚠ 警告

● 次のようなタイヤは使わないでください。

コントロールを失うことがあり、思わぬ事故につながります。

- ・ 摩耗限度を超えたタイヤ
- ・ 指定空気圧に調整されていないタイヤ

タイヤの空気圧

→261ページ

⚠ 注意

● タイヤの空気圧を調整するときは、規定圧力を守ってください。

空気を入れ過ぎると、タイヤが破裂しけがをするおそれがあります。

摩耗限界表示 (ウェアインジケーター)

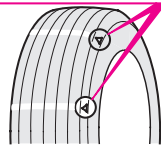
ウェアインジケーターが表れたらタイヤを交換してください。

- ・ ウェアインジケーターは、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が1.6mmだけ浅くなっています。

ウェアインジケーターの位置を示すマークの代表例です



ウェアインジケーターが表れたとき(タイヤの溝がなくなったとき)は交換



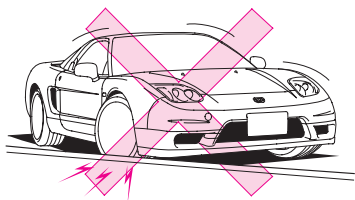
● 位置交換 (タイヤローテーション)

前後輪で、タイヤサイズが異なります。また、回転方向が指定されている上、構造的にも左右のタイヤが異なります。したがって、前後、左右、それぞれ専用タイヤとなっていますので、タイヤの位置交換はできません。

アルミホイール について

アルミホイールは一般的なスチールホイールと取り扱いかたが異なります。

アルミホイールの特性を維持するため、必ず次のことをお守りください。



●取り扱い

- この車専用のホイールをお使いください。
専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。
ホイール交換に際しては、必ずホンダベルノ店にご相談ください。
- パンク修理などでホイールを取り付け直した際には、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。
- アルミホイールは傷つきやすいので歩道の縁石などに乗り上げたり、すり当てたりすることを避けてください。
- バランスウェイトやバルブはHonda純正のアルミホイール専用部品をお使いください。ホイールに傷をつけたり、機能を損なうことがあります。
- タイヤチェーンを装着するときは、正しく装着してください。ホイールに対して片寄ったり、ゆるかったりするとホイールに傷をつけるおそれがありますので注意して装着してください。



●手入れ

- アルミホイールは、塩分や汚れを嫌いますので、海水や道路凍結防止剤などが付いたときには、スポンジに中性洗剤を含ませ、汚れを早めに落とししてください。
- ホイールの光沢を維持するため、時々ワックスがけをしてください。
- アルミホイールは傷つきやすいので、砂入り石鹼や硬いブラシを使わないでください。高速洗車機（ホイール専用ブラシ付きのもの）によるホイールの洗浄は避けてください。
- スチーム洗浄などで、熱湯がホイールに直接かからないようにしてください。
光沢を失うおそれがあります。

車にあった部品の使用

車の性能、品質を維持するために、Honda車に最も適したHonda純正部品をお使いください。

純正部品は厳しい検査を実施し、Honda車に適合するように作られています。お求め、装着に際しては、ホンダベルノ店にご相談ください。

- 純正部品には下のマークがついています。



- Honda純正部品以外の車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。
適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
- 車の改造はしないでください。
不正改造は、法律に触れることはもちろん思わぬ事故を起こす場合があります。

7

車との上手なつきあいかた

●積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ	238
運転するとき	240
駐車するとき	244
冬期の手入れ	246

●こんなときは

雨の日の運転	248
夏場の取り扱い	250

●環境にやさしい

省エネドライブを するために	252
-------------------	-----

積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ

●車に積もった雪や着氷は取り除く

屋根に積もった雪

走行時にガラス面に落ちた雪が視界のさまたげとなり危険です。走行するまえに取り除いてください。

- ・氷結している部分を無理に取り除くと塗装などを傷めます。氷が溶けてから取り除いてください。



ガラス面の雪や霜

雪や霜を落として視界を確保してください。

- ・プラスチックの板などを使うとガラスに傷をつけずに落とすことができます。

足まわりの着氷

足まわりなどに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないように十分注意して取り除いてください。

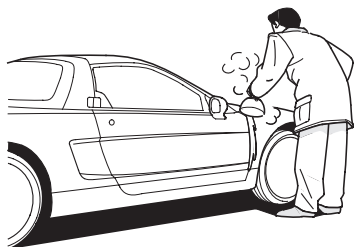


●凍結しているとき

ドアの凍結

無理に開けるとドアまわりのゴムがはがれたりするので、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。

- ・ドアキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結すると、キーが差し込めなくなります。



お湯をかけたあとは、凍結防止のために水分をよく拭き取ってください。

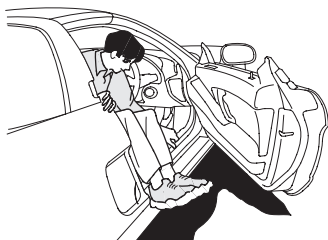
ワイパーの凍結(ガラス面が着氷、積雪しているとき)

ワイパーブレード(ゴム部)を損傷したり、モーターの故障となりますので、氷や雪を取り除いてから動かしてください。

●乗車するとき

靴にこびりついた雪をよく落としてから、乗車してください。

- ・ペダル類を操作するときに滑ったり、室内の湿気が多くなりガラスが曇ったりすることがあります。

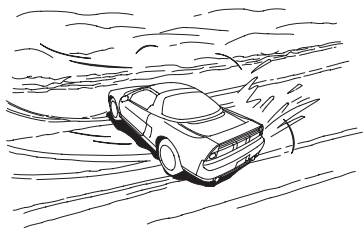


運転するまえに

ペダル類やハンドルの動きが円滑かどうか確認してください。

運転するとき

- 雪道や凍結路では、たいへん滑りやすくなっているので、速度を落とし車間距離を十分とって運転しましょう。
また、ハンドルやブレーキの操作は特に慎重にしてください。
 - ・急加速、急減速、急ブレーキや急ハンドルは横すべりを起こして方向性を失います。



- 冬用タイヤ、タイヤチェーンを装着して走行してください。

タイヤチェーンについて

→242ページ

- ・ 冬用タイヤを装着するときは、四輪とも同じ種類で標準タイヤと同じサイズのものに交換してください。
- ・ 地区条例により違いがありますので、その地区の条例に従ってください。

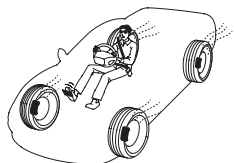
- 冬用タイヤを装着したときには、安全のため高速走行は避けてください。



●ブレーキのききについて

ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキのききが悪くなることがあります。

その際には、前後の車に十分注意して、ブレーキペダルを軽く踏みながら低速で走行し、ブレーキのしめりを乾かしてください。



- ブレーキのききが回復しないときは、ブレーキ系統に異常が考えられますので、ただちにホンダベルノ店で点検を受けてください。

●ウォッシャー液を噴射するとき

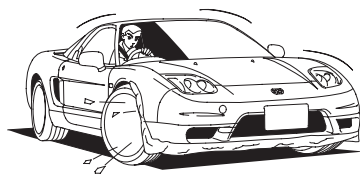
先にヒーターを使ってフロントガラスを暖めてからウォッシャー液を噴射します。

⚠ 注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。ウォッシャー液が凍りついて視界のさまたげとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

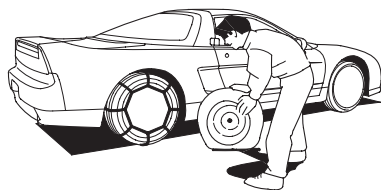
●ハンドルのきれについて (タイヤまわりの着氷)

フェンダー裏側に付着した雪が氷結し、次第にたい積してハンドルのきれが悪くなる場合があります。ときどき確認し、着氷が大きくなる前に取り除いてください。



●パンクしたとき (タイヤチェーン装着時)

応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。前輪には、後輪用タイヤチェーンを装着することはできません。



●タイヤチェーンについて

推奨タイヤチェーン

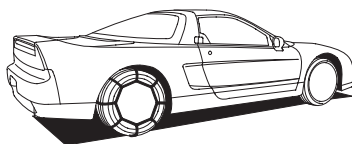
この車は、一般の車に比べタイヤとフェンダーの間がせまくなっておりまた、標準装着されているタイヤは、扁平率が小さく側面がせまくなっています。そのため、タイヤサイズにあったタイヤチェーンであっても、取り付けられないことやホイールなどに傷がつくおそれがありますので、**Honda純正スチール製チェーン**をお使いください。

ご購入、ご使用に際しては、ホンダベルノ店にご相談ください。

- タイヤチェーンはタイヤに合った適正なものをお使いください。
推奨タイヤチェーン以外のものを使うと、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

タイヤチェーンの取り付けかた

タイヤチェーンは、駆動輪の後輪に装着してください。
前輪にはタイヤチェーンを装着しないでください。





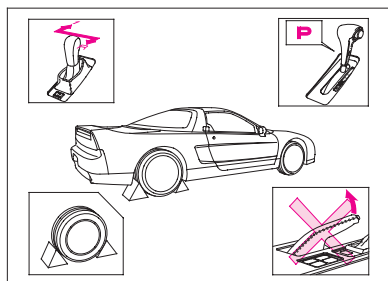
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書にしたがって、正しく取り付けてください。
- タイヤチェーンは平らな所で他の交通に十分注意して取り付けてください。
必要に応じて非常点滅表示灯などを使ってください。
- 応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。
- タイヤチェーンを取り付けたときには、安全のため雪道、凍結路では30km/h以下の速度で運転してください。
なお乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したままで走行するのは避けてください。チェーンの摩耗を早めます。

駐車するとき

パーキングブレーキの凍結を防ぐために、パーキングブレーキは使わないでください。

マニュアル車はギヤをR(後退)か1に、オートマチック車は回に入れます。

石などで輪止めをしておきます。



●屋外に駐車するとき

- エンジンの冷えすぎを防ぐために、車の後部を風下や日の当たる方向に向けて停めてください。
 - ・エンジンが冷えすぎると始動しにくくなることがあります。
- 落雪や積雪を避けるために、軒下や樹木の下などには停めないでください。
 - ・車の屋根などがへこむことがあります。

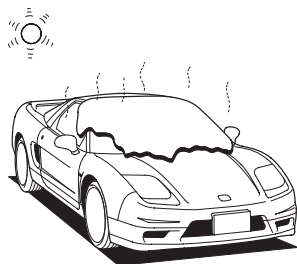


●長期間使わないで 屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

⚠注意

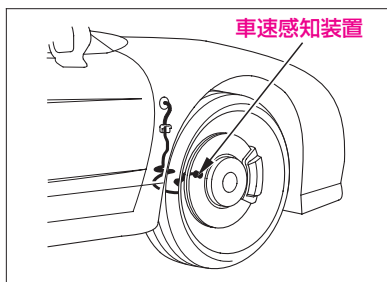
- 格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、フロントグリル内側やエンジンルームのエアインレット内側に段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。そのまま走行すると、火災のおそれがあります。



冬期の手入れ

●雪道走行後の手入れ

- フェンダー裏側や足まわりに付着した泥、雪は周囲の部品を損傷しないように取り除いてください。足まわり(前、後輪の4か所)に車速感知装置が取り付けられていますので、傷をつけないように特に注意してください。



- 積雪時には道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。錆の原因になりますので、走行後はすぐに洗車してください。特に下回りは念入りに行ってください。

●点検・整備

バッテリーについて

気温が下がるとバッテリーの性能が低下し、エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や充電をしてください。

エンジンオイルについて

冬期はオイルの劣化が激しくなります。冬期に主として短距離、または市街地を運転される方は、早めに交換してください。



冷却水について

冷却水の凍結を防ぐために点検してください。

ウォッシャー液について

ウォッシャー液の凍結を防ぐために、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

- 点検方法はメンテナンスノートを参照し、交換はホンダベルノ店にご相談ください。

こんなときは

雨の日の運転

雨の日は視界が悪くなるうえ、窓ガラスが曇ったり、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なるので通常より注意深い運転が必要です。

- 急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、晴れの日よりも速度を落とし、車間距離を十分にとって運転しましょう。
- ハイドロプレーニング現象に注意しましょう。
- 雨の降り始めの舗装道路は滑りやすいので特に気を付けましょう。
- 冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。

エンジンの破損や電装品の故障および車両故障につながるおそれがあります。

⚠ 警告

- 滑りやすい路面では、急加速、急ブレーキや急ハンドルは避けてください。
車のコントロールを失い思わぬ事故につながります。

ハイドロプレーニング現象とは

路面が水でおおわれているところを高速で走行しようとしたときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になることをいいます。

- このような状態になると、ハンドルやブレーキがきかなくなり、非常に危険です。

**● ガラスの曇りをとりたいとき**

ガラスが曇って外が見にくいときは、エアコンのデフロスターを使って曇りをとります。

リヤガラスの曇りは

リヤデフロスタースイッチを押して、曇りをとります。

● ガラスの油膜をとりたいとき

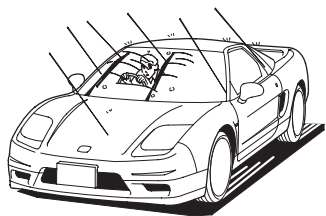
油膜があると、雨の夜は対向車のライトなどが乱反射します。ガラスクリーナーを使ってガラスの表面をきれいにします。

- ・ ガラスクリーナーはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

● ワイパーのふきむらがあるとき

ワイパーブレードのラバーが傷んでいると、ふきむらが出て視界のさまたげとなります。また、ガラス面を傷つけることがありますので、早めに交換してください。

ラバーの交換 →92ページ

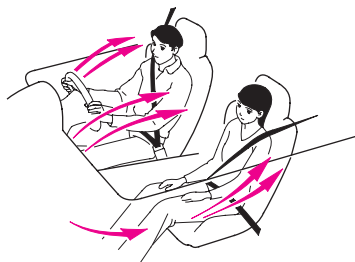


夏場の 取り扱い

● エアコンの上手な使いかた

- 冷媒(ガス)が不足していると、冷房性能が低下します。
夏になる前に点検、補充をしておきましょう。
- 室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。
- エアコンの冷やしすぎは健康上良くありません。

- この車の冷媒は、環境保護のため、新冷媒HFC-134a (R-134a)を使用しています。
補充・交換が必要な場合は、ホンダベルノ店にご相談ください。



**●炎天下に駐車するときは**

- ボディーに覆いをかけたり、ハンドルやシートにタオルなどをかけて、室内温度の上昇を抑えましょう。
- フロントガラスにアルミ光沢性の日除けバイザーを使うと、反射光が集光し、インストルメントパネルなどが変色、変形することがあります。

●海から帰ってきたときは

海に出かけた後は車も塩分を浴びています。錆の原因になりますので早めに洗車してください。下回りも念入りに洗いましょう。

●オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足しないように、こまめに点検します。

- 走行中、水温計の針が赤いマークに入った場合は、オーバーヒートのおそれがあります。安全な場所に停車してエンジンを冷やしてください。

オーバーヒートしたとき

→206ページ

環境にやさしい省エネドライブをするために

●点検整備をきちんとし、タイヤの空気圧を適正にしましょう。

■適正空気圧で50km走ると50kPa {0.5kgf/cm²} 減

のときに比べてガソリン 150ccの節約。

▲CO₂ 1250g削減(650km/月)



●タイヤの空気圧が低下すると走行抵抗が増加し、燃費に大きく影響します。また、冬用タイヤや幅広タイヤを装着したときも同様に燃費に影響します。

● unnecessary 荷物は降ろして走行しましょう。

■10kgの荷物を降ろして50km走ると、

ガソリン 15ccの節約。

▲CO₂ 130g削減(650km/月)



●エアコンは少し控えめにしましょう。

室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。

■エアコンを6分停止して、ガソリン 70ccの節約。

▲CO₂ 1340g削減(3時間/月)

●エアコンは冷媒を循環するため、コンプレッサーをエンジンで駆動しており、エンジンに大きな負荷が発生します。それを補うため、燃料消費が多くなります。

●ヘッドライトやリヤデフロスターは電力を多く消費するため、不必要なときはスイッチを“OFF”にしてください。

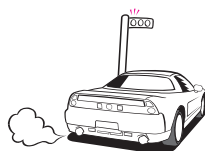
●発電機はエンジンで駆動しており、消費電力が増加すると発電量が増加し、エンジンの負荷が大きくなり、それを補うため、燃料消費が多くなります。



●空ぶかしはしないようにしましょう。

■空ぶかしを1回やめて、ガソリン 6 ccの節約。

▲CO₂ 1150g削減(300回/月)

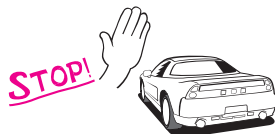


●長時間停車するときは、エンジンを停止してください。

また、長すぎる暖機運転をしないようにしましょう。

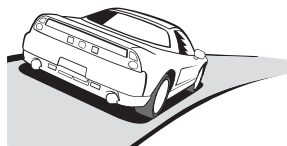
■5分間のアイドリングを止めて、ガソリン 65ccの節約。

▲CO₂ 420g削減(10回/月)



●変速位置の選択は、走行速度や坂の勾配に合わせて適切に行ってください。

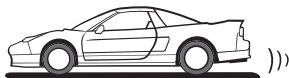
- ・オートマチック車は通常は回で走行します。
- ・下り坂で速度が出すぎてしまうときは、オートマチック車はⅢまたはⅡにしさらに強いブレーキ力が必要なときはⅠを使います。マニュアル車はギヤを一段ずつ落として、エンジンブレーキを使います。



- 下り坂などでエンジンブレーキを使う目的で、より低速のギヤを有効に使うと、燃料供給の停止時間が長くなり、燃費が良くなる場合があります。

●経済速度について

- ・高速道路では100km/hを80km/hにして燃費10～30%の節約。
- ・一般道路では法定速度(40～60km/h)の範囲で一定走行すると燃費は良くなります。



参考資料* 社団法人日本自動車工業会：「あしたへECO-MOTION参照

《対象車種2.0L 乗用(AT)の燃費=11.7km/l(10・15モード)が計算ベース》

●10・15モード燃費について

10・15モード燃費とは

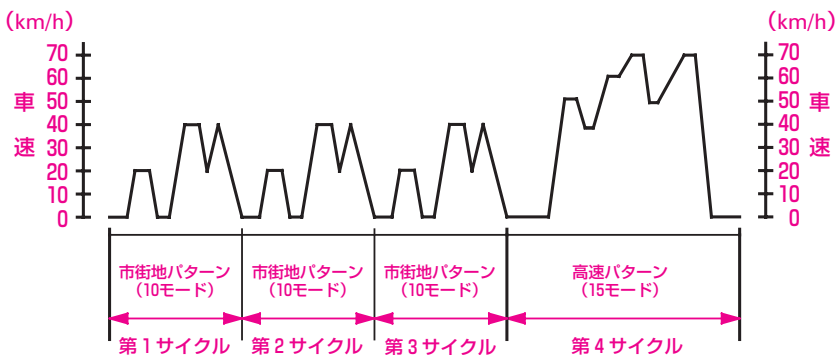
東京都内の幹線道路における平均的な走行形態の10モードと、高速走行や渋滞など大都市における走行形態を反映させた15モードを図のように

- ・市街地パターン(10モード)を3回
- ・高速パターン(15モード)を1回

の計4サイクルで走行したときの排出ガス量(g/km)を測定します。

このときに消費した燃料を10・15モード燃費(km/l)として表示しています。

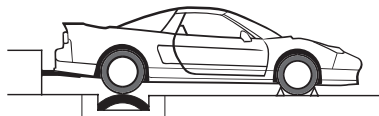
*計測走行距離 4.2km、平均時速 23km/h



10・15モード燃費と実走行燃費との違い

10・15モード燃費は図のようにシャーシダイナモーター上で定められた試験条件のもとで行われた燃費値です。

実際の走行時には気象、道路、車両、運転、整備などの状況が異なってきますので、それに応じて燃費が異なります。

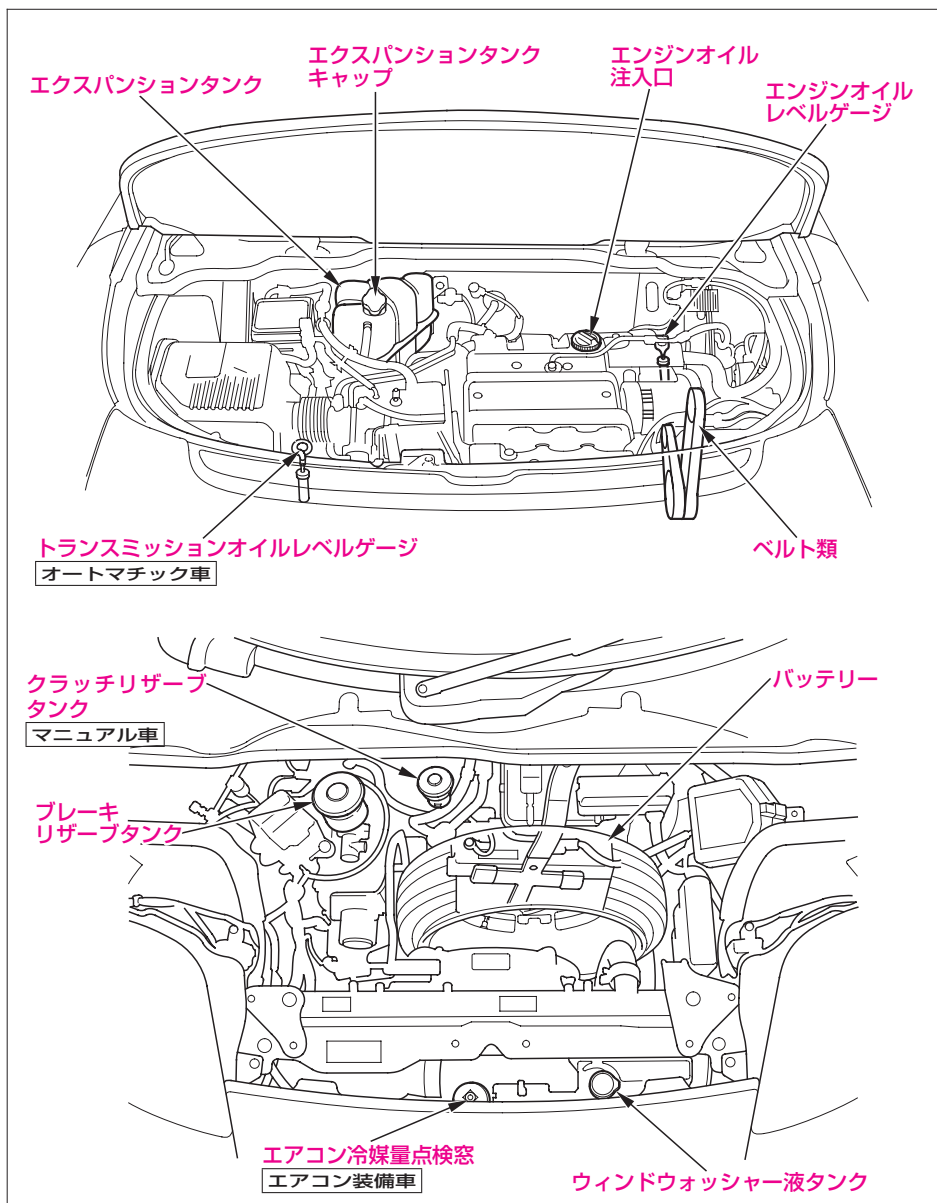




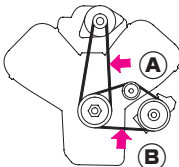
10・15モード燃費の計測方法(国土交通省認可時 測定条件)

- 3,000km慣らし走行後の車両
- 完全暖機状態 60km/h 15分暖機後モード測定
- 走行抵抗設定 車両(空車)状態+110kg(2名乗車分)
- 搭載電気機器“OFF”状態
- エアコン“OFF”で測定

サービスデータ



点検整備については「メンテナンスノート」も合わせてご覧ください。

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
ベルトのたわみ量		 <p>↓の位置を押す</p> <p>A：発電機ベルト B：エアコンディショナーベルト(エアコン装備車)</p>	
	発 電 機 ベ ル ト	エアコン装備車	11.0～13.5 mm {約98N(10kgf)の力}
	エアコンディショナー ベ ル ト	エアコン非装備車	12.0～14.0 mm {約98N(10kgf)の力}
		10.0～12.0 kg {約98N(10kgf)の力}	
点 火 プ ラ グ *	タ イ プ	NGK	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">PFR6G-11</div> PFR7G-11
		DENSO	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">PK20PR-L11</div> PK22PR-L11
	電 極 の す き 間	1.0～1.1 mm(限界値1.3 mm)	

 ：標準装備

※：ISO(国際標準化機構)規格品を使用しています。のマークがついています。

白金プラグを使用していますので、次のことに注意してください。

- ・白金チップの微粒子膜を損傷するおそれがあるので、ワイヤーブラシ等による清掃は行わないでください。
- ・プラグギャップは調整できません。限度値をこえているものは交換してください。(清掃はクリーナーにて20秒以下で行ってください。)

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
ブレーキペダル	遊 び	1-5 mm	
	床板とのすき間	108 mm 以上 {約196N (20kgf) の力}	
	カーペットとのすき間 (参考値)	87 mm 以上 {約196N (20kgf) の力}	
クラッチペダル	遊 び	9-15 mm	
	床板とのすき間	92 mm 以上 (クラッチが切れたとき)	
	カーペットとのすき間 (参考値)	71 mm 以上 (クラッチが切れたとき)	
パーキングブレーキ	引 き し ろ	10~14回 {約196N (20kgf) の力}	
バ ッ テ リ ー	容 量 / タ イ プ	マニュアル車	52AH(5)/70D23L
		オートマチック車	55AH(5)/80D26L
電 球 (バ ル ブ)	W(ワット)CP(キ ャンドルパワー) 数 [CP(キャンドル パワー):光度の 単位]	ヘッドライト	
		(外側).....	12V-35W ^{※1}
		(内側).....	12V-60W ^{※2}
		前面方向指示器/前面非常点滅表示灯	12V-21W
		車幅灯.....	12V-5W
		側面方向指示器/側面非常点滅表示灯	12V-5W
		後面方向指示器/後面非常点滅表示灯	12V-45CP(27W)
		番号灯.....	12V-8W
		制動灯/尾灯.....	12V-21/5W
		尾灯.....	12V-5W
		後退灯.....	12V-21W
		室内灯.....	12V-5W
		室内灯 (type T).....	12V-8W
		ドア開閉灯.....	12V-3.4W
トランク照明灯.....	12V-3.4W		
足元照明灯.....	12V-5W		

※1 : ディスチャージヘッドライト

※2 : ハロゲンバルブ

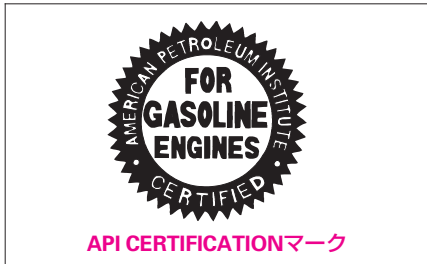
⚠ 注意

- ディスチャージヘッドライトのバルブを交換する場合は、必ずホンダベルノ店で行ってください。
ディスチャージヘッドライトは高電圧を使用しており、不適切な取り扱いや分解を行うと感電するおそれがあります。

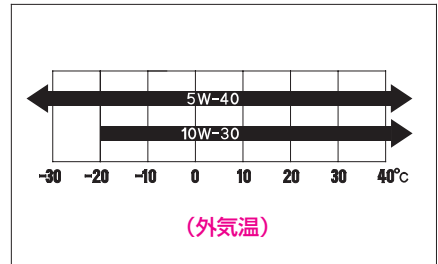
項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
エアクリナー エレメント	タ イ プ	乾式	
エンジンオイル	推 奨 オ イ ル	Honda純正オイル(4サイクル四輪車用) ウルトラGOLD SL(API SL級SAE 5W-40) ウルトラMILD SL(API SL/GF-3級SAE 10W-30)	
		オイル交換時	4.3 ℓ
	規 定 量	オイル、オイルフィルター同時 交換時	5.0 ℓ

推奨エンジンオイル

Honda純正エンジンオイルまたはAPI S J 級以上か、オイル缶にAPI CERTIFICATION(エーピーアイ サーフィケーション)マークの入ったエンジンオイルをお使いください。



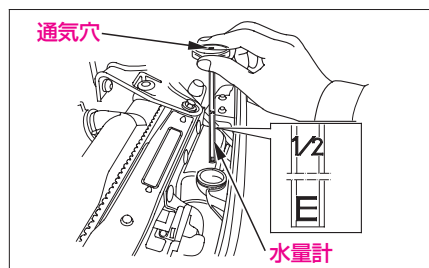
市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。



項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
燃 料	指 定 燃 料	無鉛プレミアムガソリン(無鉛ハイオク)	
	タ ン ク 容 量	70 ℓ	
	指 定 オ イ ル	マニュアル	Honda純正オイルウルトラMTF-II
トランスミッション オ イ ル	指 定 液	オートマチック	Honda純正ウルトラATF
	規 定 量	マニュアル (交換時)	2.65 ℓ
		オートマチック (交換時)	2.9 ℓ
冷 却 水	指 定 液	Honda純正ウルトラクーラント	
	規 定 濃 度	50%	
	規 定 量 (交換時エクス パンションタンク 2.0ℓ含む)	12.0 ℓ	
ブ レ ー キ 液	指 定 液	Honda純正ウルトラブレーキフルードDOT 3 または DOT 4	
ク ラ ッ チ 液	指 定 液	Honda純正ウルトラブレーキフルードDOT 3 または DOT 4	
ウ オ ッ シ ャ ー 液	タ ン ク 容 量	2.5 ℓ	

ウォッシャー液の量の点検

ウォッシャー液の量は、タンクキャップの通気穴を指で押さえながら、キャップを外して水量計で確認します。



項目 タイヤサイズ	タイヤ空気圧 [空車時：kPa(kgf/cm ²)]				※リムサイズ	タイヤの 溝の深さ (mm)
	前輪		後輪			
	一般	高速	一般	高速	アルミホイール	
標準タイヤ	215/40R17 83Y	230 (2.3)		17×7JJ		1.6 mm 以上
	255/40R17 94Y	280 (2.8)		17×9JJ		
折りたたみ式 応急用スペア タイヤ	165/75D 16 87M FS	180 (1.8)	230 (2.3)	16×5J		

※：この車専用のタイヤ、ホイールをお使いください。

専用以外のタイヤ、ホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。

タイヤ、ホイール交換に際しては、必ずホンダベルノ店にご相談ください。

名称	排気量(cm ³)	車体形状	乗車定員(人)	タイプ	
NSX	2,977	2 ドアクーペ	2	オートマチック車	type T (オープン ルーフ)
					type T (オープン ルーフ)
	3,179			マニュアル車	type S

さくいん

ア

足元照明灯	
電球の交換	223
W(ワット数)	258
雨の日の運転	248
アルミホイール	234
アンチロックブレーキシステム(ABS)	
運転のしかた	134
ABSのしくみ	134
警告灯	83・135
取り扱いについて	135
アンテナ	152

イ

イグニッション(エンジン)	
キー	32
スイッチ	86
イモビライザーシステム	34
表示灯	77
イルミネーションコントロール	94

ウ

ウィンカー	
スイッチ	89
電球の交換	219・220
表示灯	76
W(ワット)数	258
ウィンドー	46
ウォッシュャー液	
スイッチ	92
タンクの容量	260
冬期の手入れ	247
補給	260
運転のしかた	96

エ

エアクリナーエレメント	259
エアコン	140
ベルト	257
エアコンプレッサー	200
AM/FMラジオ一体式カセットステレオ	156
SRSエアバッグシステム	
SRSエアバッグの効果を十分に 発揮させるために	128
SRSエアバッグシステムのしくみ	124
お子さまを乗せるときは	129
警告灯	83・131
作動しないとき	127
作動するとき	126
取り扱いについて	130
エレクトリックパワーステアリング(EPS)	
警告灯	84
エンジンオイル・フィルター	
オイル量	259
冬期の手入れ	246
エンジンキー(キー)	32
エンジンスイッチ	86
エンジンのかけかた	96
エンジンブレーキ	18
エンジンルーム	42

オ

応急用スペアタイヤ	
格納場所	184
空気圧	261
サイズ	261
スペアタイヤについて	196
オーディオ	
インデックス	154
上手な使いかた	150
オートアンテナ	152
オートエアコン	144
インデックス	142
使いかた	144
吹き出し風の調節	141
オートドアロック	37
オートマチックトランスミッション	
運転のしかた	108
オイル	260
警告灯	82
シフトスイッチ	104
セレクトレバー	102
マニュアルモード	104
オーバーヒートしたとき	206
オドメーター	71
温度感知装置	149

カ

外装の手入れ	229
学童用(ジュニア)シート	15・67
カセットプレーヤーの使いかた	160
カップホルダー	182
ガラスアンテナ	153
ガラスの手入れ	230
換気	13
環境にやさしい省エネドライブを するために	252
寒冷時の取り扱い	238

キ

キー	32
キー抜き忘れ警告ブザー	87
キックダウン	20

ク

曇り取り(デフロスター)	148
クラッチスタートシステム	98
クラッチペダル	258
クリーブ現象	20
クルーズコントロール	118
作動表示灯	77
車にあった部品の使用	236
グローブボックス	181

ケ

警告灯	
警告灯類	78
電球切れの点検	85
けん引	
動けなくなったとき	193
けん引されるとき	190

コ

コインホルダー	181
工具(ツール)	
格納場所	184
種類	185
高速道路で故障したとき	186
後退灯(バックランプ)	
電球の交換	220
W(ワット)数	258
故障したとき	186
故障の修理について	187
小物入れ	181
コンソールボックス	181

サ

サービスデータ	256
三点式シートベルト	66
サンバイザー	180

シ

シート	56
シートベルト	64
警告灯	82
種類	66
着用のしかた	68
シートベルトプリテンショナー	
シートベルトプリテンショナーの	
しくみ	132
取り扱いについて	133
CDチェンジャー	167
CDチェンジャーコントローラーの	
使いかた	163
シガレットライター	179
事故が起きたとき	188
室内灯/スポットランプ	
使いかた	177
電球の交換	222
W(ワット)数	258
シフトロック装置	23・103・111
霜取り・曇り止め	
前面/側面ガラス	148
ジャッキの取り扱い	194
車幅灯(ポジションランプ)	
電球の交換	219
W(ワット)数	258
充電警告灯	81
樹脂塗装部品	230
ジュニア(学童用)シート	15・67
純正部品	236
照明灯	
エンジンスイッチ	178
足元	178

ス

水温計	72
スイッチの使いかた	86
スノータイヤ(冬用タイヤ)	240
スパークプラグ(点火プラグ)	257
スピードメーター	71
スペアタイヤ	
格納場所	184
空気圧	261
サイズ	261
スペアタイヤについて	196
スポットランプ	
使いかた	177
電球の交換	222
W(ワット)数	258

セ

セーフティインジケータ	84
制動灯(ブレーキランプ)	
電球の交換	220
電球切れ警告灯	85
W(ワット)数	258
整備	226
積雪・寒冷時の取り扱い	
運転するとき	240
運転するまえ	238
駐車するとき	244
冬期の手入れ	248
セキュリティシステム	
警報装置について	172
セットのしかた	174
セレクトレバー	
操作	102
ポジション表示灯	77
洗車	229
前照灯(ヘッドライト)	
上向きと下向きの切り換え	88
上向き表示灯	76
追越合図(パッシング)	88
スイッチ	88
電球の交換	218
W(ワット)数	258
センターアンテナ	153
センターパイザー	180

ソ

速度計	71
速度範囲	101・106
その他の安全装備	138

タ

タイヤ	
位置交換(ローテーション)	233
ウェアインジケータ	233
応急用スペアタイヤ	196
空気圧	261
交換	197
サイズ	261
スノータイヤ	240
チェーン	242
点検	233
タコメーター	71
正しい運転姿勢	56
脱着式ルーフ	48

チ

チェーン	242
チャイルド(幼児用)シート	15・67
駐車	
坂道	25
積雪・寒冷時の取り扱い	244
駐車ブレーキ(パーキングブレーキ)	
警告灯	80
積雪・寒冷時の取り扱い	244
操作	99
チルトステアリング	60

テ

テレスコピックステアリング	60
デフロスター	148
電圧計	72
点火プラグ	257
電気系統が異常のとき	208
電気装置が作動しないとき	213
電球(バルブ)	
交換	216
W(ワット)数	258
点検・整備について	226
電動トランクオープナー	40
電動リモコンドアミラー	62

ト

ドア	
開閉警告灯	84
施錠・解錠	36
積雪・寒冷時の取り扱い	239
ドア開閉灯	
電球の交換	223
W(ワット)数	258
ドアミラー	62
冬期の手入れ	248
盗難防止システム	
警報装置について	172
セットのしかた	174
道路で動けなくなったとき	187
時計	176
塗装の手入れ	218
トラクションコントロールシステム(TCS)	
運転のしかた	136
警告灯	83・137
TCSのしくみ	136
取り扱いについて	137
トランク	
開閉	40
開閉警告灯	85
トランク照明灯	
電球の交換	223
W(ワット)数	258
トランスミッション	
オイルの容量	260
警告灯	82
トリップメーター	71

ナ

内装の手入れ	231
夏場の取り扱い	250

ニ

日常の手入れ	228
乳児用(ベビー)シート	15・67

ネ

燃料(ガソリン)	
指定燃料	44・260
タンク容量	44・260
燃料計	72
燃料残量警告灯	82
補給口	44

ハ

パーキングブレーキ	
警告灯	80
積雪・寒冷時の取り扱い	244
操作	99
灰皿	178
ハイドロブレーニング現象	248
ハイビーム表示灯	76
ハイマウントストップランプ	138
ハザードランプ(非常点滅表示灯)	
スイッチ	89
電球の交換	219・220
W(ワット)数	258
発炎筒	
格納場所	184
発炎筒について	185
バックミラー(後写鏡)	
使いかた	61
バッテリー	
充電	211
冬期の手入れ	246
バッテリーあがり	208
容量/タイプ	258
発電機ベルト	257
バニティミラー(化粧鏡)	180
ハロゲンバルブについて	217
パワーウィンドー	46
パワーステアリング(EPS)警告灯	84
パワードアロック(オートドアロック)	37
パンク	
積雪・寒冷時の取り扱い	241
パンクしたとき	194
番号灯(ライセンスランプ)	
電球の交換	221
W(ワット)数	257

ヒ

PGM-FI警告灯	81
非常点滅表示灯(ハザードランプ)	
スイッチ	89
電球の交換	219・220
W(ワット)数	258
尾灯	
電球の交換	220
W(ワット)数	258
ヒューズ	213
表示灯	74

フ

吹き出し風の調節	141
踏切で動けなくなったとき	186
フューエルリッド	45
プラグ	257
ブレーキ	
警告灯	80
積雪・寒冷時の取り扱い	241
倍力装置	18
ペダル	258

フ

ヘッドライト	
上向きと下向きの切り換え	88
上向き(ハイビーム)表示灯	76
追越合図(パッシング)	88
スイッチ	88
電球の交換	218
W(ワット)数	258
ベビー(乳児用)シート	15・67
ベルトのたわみ量	257

ホ

ホーンスイッチ	94
ホイールサイズ	261
芳香剤	231
方向指示器(ウィンカー)	
スイッチ	89
電球の交換	219・220
表示灯	76
W(ワット)数	258
本革の取り扱い	232
ボンネット	38

マ

窓ガラスアンテナ 153
マニュアルモード 104
万一のとき 183

ミ

ミラー
ドアミラー 62
ルームミラー 61

ム

無線装置 27

メ

メーター(計器類) 70

ユ

油圧計 72
油圧警告灯 80
雪道走行後の手入れ 246

ヨ

幼児用(チャイルド)シート 15・67

ラ

ライト消し忘れ警告ブザー 88
ライトスイッチ 88
ライト類が点灯しないとき 213
ラジオの使いかた 158
ランバーサポート 58

リ

リムサイズ 261
リモートコントロールドアミラー 62
リヤガラス開閉警告灯 85
リヤデフロスター 93

ル

ルーフ開閉警告灯 55・84
ルームミラー(防眩式室内後写鏡) 61

レ

冷却水
水量 260
冬期の手入れ 247

ワ

ワイパー
スイッチ 90
積雪・寒冷時の取り扱い 239
ワックスかけ 230

A

ABS(アンチロックブレーキシステム)	
運転のしかた	134
ABSのしくみ	134
警告灯	83・135
取り扱いについて	135
A/C(エアコン)	
インデックス	142
使いかた	144
吹き出し風の調節	141
ベルト	257
AM/FMラジオ一体式カセットステレオ	
AT(オートマチックトランスミッション)	
運転のしかた	108
オイル	260
警告灯	82
シフトスイッチ	104
セレクトレバー	102
マニュアルモード	104

E

ELR付三点式シートベルト	66
EPS(エレクトリックパワーステアリング)	
警告灯	84

H

HFC-134a(エアコン冷媒)	250
------------------	-----

I

INT(間欠ワイパー)	91
-------------	----

M

MT(マニュアルトランスミッション)	
オイル	260
チェンジレバー	100

P

PGM-FI警告灯	81
PRESS(シートベルトバックル)	68

S

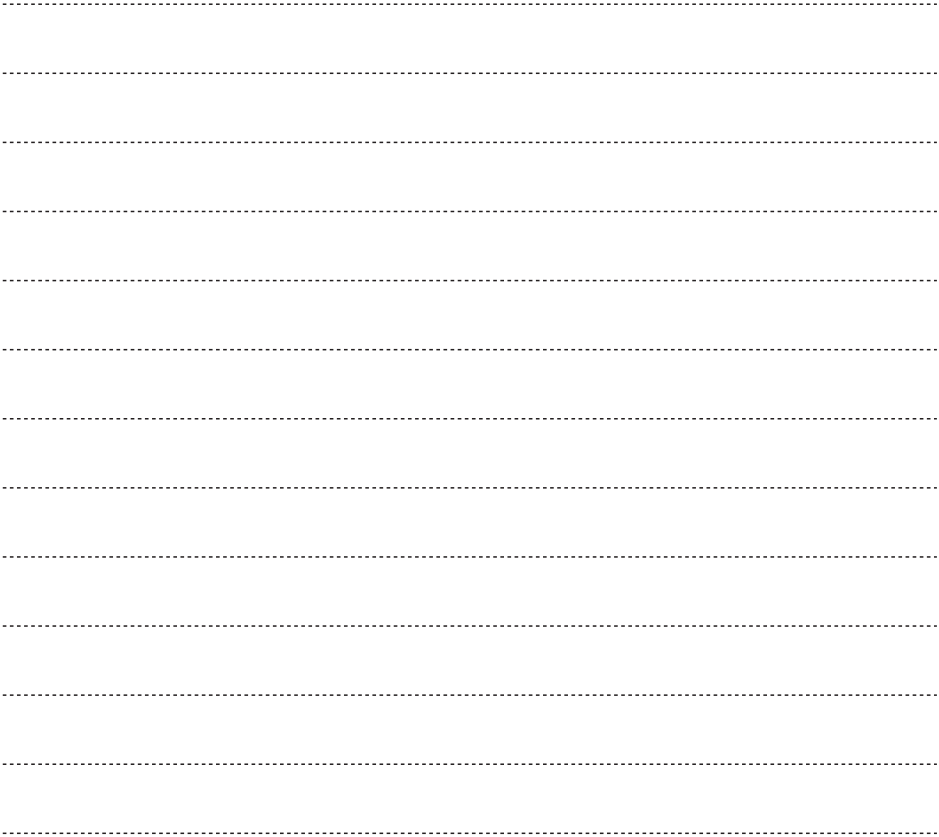
SRSエアバッグシステム	
SRSエアバッグの効果を十分に	
発揮させるために	128
SRSエアバッグシステムのしくみ	124
お子さまを乗せるときは	129
警告灯	83・131
作動しないとき	127
作動するとき	126
取り扱いについて	130

T

TCS(トラクションコントロールシステム)	
運転のしかた	136
警告灯	83・137
TCSのしくみ	136
取り扱いについて	137
TRIP(トリップメーター)	71

W

W数(ライト類の電球のワット数)	258
------------------	-----



お問い合わせ、ご相談は、お買い求めのベルノ店もしくは全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターがお受け致します。

フリーダイヤル

0120-112010

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00

〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1

・所在地、電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。

こんなことでお困りのとき

●キーが回せない

“0”から“1”に回らないとき

- ・ハンドルを左右に動かしながらキーを回してください。

エンジンスイッチ →86ページ

“1”から“0”に回らないとき **オートマチック車**

- ・セレクトレバーが回に入っていますか。

キーを抜くとき →86ページ

●エンジンがかからない

- ・オートマチック車は、セレクトレバーが回か回に入っていますか。
- ・イモビライザー表示灯が点滅していませんか。

イモビライザーシステム →34ページ

- ・ガソリンが入っていますか。(メーター内の燃料計で確認してください。)
- ・バッテリーがあがっていませんか。

バッテリーあがりのとき →208ページ

- ・マニュアル車はクラッチペダルをいっぱい踏み込んでいますか。

クラッチ・スタートシステム →98ページ

●セレクトレバーが回から動かせない **オートマチック車**

- ・ブレーキペダルを踏んでから操作していますか。
(操作できないときは、キーをシフトロック解除穴に差し込み、押しながらセレクトレバーを動かしてください。)

セレクトレバーが動かないとき →111ページ

- ・エンジンスイッチを“II”にしてから操作していますか。

シフトロック装置の正しい理解を →23ページ

● ドアを開けるとブザーが鳴る

- キーをエンジンスイッチに差し込んだままになっていませんか。
キーを抜き忘れ警告ブザー →87ページ
- ライトを消し忘れたままになっていませんか。
ライト消し忘れ警告ブザー →88ページ

● キーを閉じ込めてしまった

- Honda販売店またはJAFへご連絡ください。

● 水温計の針が赤いマークに入った

● フロントコンパートメントやエンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

- オーバーヒートのおそれがあります。
(安全な場所に停車して、エンジンを冷やしてください。)
オーバーヒートしたとき →206ページ

● 走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がする

- ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。
(ホンダベルノ店で点検を行ってください。)

● チェンジレバーがRに入らない マニュアル車

- 停車してもRに入らないときは、一度Nへ戻し、1、2側に倒してからRに入れてください。

Rに入らないとき →100ページ

HONDA

The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
ホンダベルノ店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。